
600号記念特別附録

『資料室報』～『大原社会問題研究所雑誌』総目次

解題と凡例

1. この総目次は、戦後、法政大学大原社会問題研究所が月刊で発行してきた『資料室報』第1号から、『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次である。
2. 『資料室報』は、法政大学大原社会問題研究所資料室編として、1953年2月20日に第1号が発行され、1979年12月25日発行の第261号まで続いた。
3. 後継誌は、『資料室報』を改題した『研究資料月報』であった。編集は、法政大学社会労働問題研究センターと法政大学大原社会問題研究所の共同編集となり、1980年1月25日発行の第262号から、1986年3月25日発行の第328号までであった。この雑誌名の改題の背景には、大原社会問題研究所に関わる組織変更があったが、その点、ここでは省略する（さしあたり、『大原社会問題研究所雑誌』494・495合併号の「大原社会問題研究所の80年」を参照されたい）。
4. 1986年3月、多摩キャンパス移転と同時に、財団法人法政大学大原社会問題研究所は解散し、1986年4月、大原社会問題研究所は法政大学の付置研究所として発足した。
5. その発足を契機に、1986年4月25日発行の4月号、第329号から、雑誌名は法政大学大原社会問題研究所編の『大原社会問題研究所雑誌』と改題され、現在に至っている。
6. このたび、第599・600号を発行するにあたり、『資料室報』第1号から『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次を掲載することとした。
7. 総目次の作成にあたっては、表紙目次から作成するのではなく、内容に即した総目次＝現物主義を原則とした。ただし、現物主義といっても、若干の修正ないし補正を行った場合がある。
 - ①ジャンルなどで、本体部分には表記がなく、逆に表紙の目次が正確な場合は、それによって補った場合もある。
 - ②漢数字やローマ数字は、それが論文などのタイトルに使われている場合はそのままとし、年月日や連載などの表記の場合は、算用数字の1, 2, 3…に置き換えた。
 - ③論文などの執筆者名は、終わりに（ ）などで示されている場合があるが、それらは分かる限りで、論文タイトルの後に、執筆者名として表記した。
8. 雑誌の紙数の関係で、『資料室報』から『研究資料月報』の時期までは二段組みとし、『大原社会問題研究所雑誌』については一段組みとした。
9. なお、大原社会問題研究所の公式Webサイト、<http://oisr.org/>で、この総目次を見る場合のため、総目次については全1個のファイルのほか、一段組みと二段組みとでそれぞれ別々のファイルに分けたものを掲げた。
10. この総目次は、早川征一郎・松尾純子・大平佳男の各研究員が、作成の原則および具体的な事例について、随時、協議しつつ、分担して作成し、それを統合した。（早川征一郎 記）

『資料室報』第1号～『研究資料月報』第328号

『資料室報』

【1号 1953年3月】

はしがき 法政大学大原社会問題研究所資料室
資料紹介

民労連の結成と総評

「秋田県農村二・三男対策調査結果報告書」

大島 清

戦前基準CPIの改訂

資料目録（1月分）

労働組合関係

官公庁刊行物

機関紙目録

通信類目録

労働組合の調査月報として

労働日誌（1953年1月）

【2号 1953年3月】

資料紹介

春季賃金闘争の特質

舟橋尚道

資料目録（2月分）

労働組合関係

官公庁刊行物

機関紙目録（追加）

通信類目録（追加）

労働日誌（1953年2月）

【3号 1953年4月】

資料紹介

昭和電工川崎工場の争議——農民との共同闘争とロツク・アウト

資料目録（3月分）

労働組合関係

官公庁刊行物

雑誌目録

機関紙目録（追加）

労働日誌（3月）

【4号 1953年5月】

資料紹介

鉄鋼業における企業合理化——経営者の合理化の主張

資料目録（4月分）

労働組合関係

官公庁刊行物

労働日誌（4月）

【5号 1953年6月】

資料紹介

日産化学のストライキから——最近の争議の特徴と労働提携の問題提起

資料目録（5月分）

労働組合関係

官公庁刊行物

労働日誌（5月）

【6号 1953年9月】

労働情勢

田沼 肇

資料紹介

炭鉱の企業合理化と反対闘争

労働日誌（6・7・8月）

後記

【7号 1953年11月】

労働情勢（1953年9月-10月）

資料紹介

組合運動における民主主義と職場組織——統一行動がどう具体化されているか

資料目録（6～10月）

労働組合関係

その他

労働日誌（9・10月）

【8号 1954年1月】

労働情勢（1953年11-12月）

石島 忠

資料紹介

今年の賃金要求にみられる統一行動

資料目録（定期刊行物）1月現在

雑誌

官庁資料

労組諸団体資料

労働日誌（11・12月）

【9号 1954年3月】

労働情報（1-2月）

資料紹介

炭労の部分ストと賃金カット——統一闘争への過渡期の闘い

資料目録

労働組合関係
官公庁刊行物
労働日誌（1・2月）

【10号 1954年5月】

労働情勢（3～4月）

資料紹介

三鉱連「経営」の社会化方針の経緯——いわゆる経営
参加の問題点

資料目録

労働組合関係
官公庁刊行物
労働日誌（3～4月）

【11号 1954年7月】

労働情勢（5～6月）

資料紹介

労働組合のいわゆる「不況対策」——不況についての
考え方とその方針

資料目録

労働組合関係
官公庁刊行物
労働日誌（5～6月）

【12号 1954年9月】

労働情勢（7・8月）

資料紹介

中小企業労働者の危機対策

資料目録

労働組合関係
官公庁刊行物
労働日誌（7・8月）

【13号 1954年11月】

労働情勢（9～10月）

資料紹介

- 1 総評の労働プランについての調査部案
- 2 三鉱連の経営方針変革について
- 3 全金属大会における討論
- 4 海員の賃金闘争方針

資料目録

官公庁刊行物
労働日誌（9～10月）

【14号 1955年4月】

資料紹介

労働生産性にかんする最近の諸資料

資料目録（定期刊行物）

1 機関紙（誌）

2 通信類

3 雑誌類

4 官公庁刊行物

労働日誌（1954年11・12月、1955年1・2月）

お知らせ

【15号 1955年5月】

資料紹介

社会保障とくに労働者の医療・健康対策をめぐる最近
の動き——健康保険法改正問題を中心として

資料目録

労働組合関係
官公庁資料
労働日誌（3～4月）

お知らせ

【16号 1955年10月】

資料紹介

組合の分析した産業情勢
中小企業労組の争議と組織

資料目録

生産性向上運動ならびに労働生産性にかんする資料目
録（7月以降）
中小企業労働組合運動にかんする資料目録（7月以降）
労働組合関係（5・6・7・8月）
官公庁刊行物（不定期）
労働日誌（5・6・7・8月）

【17号 1956年2月】

資料紹介

春の賃金闘争に関する各組合の方針・要求・および考
え方・その他の批判

資料目録（不定期）

労働日誌（1955年9～12月）

当研究所資料室受入定期刊行物（機関紙・誌、通信類、
雑誌、調査資料、統計資料、新聞等）総目録 1956年
1月現在

【18号 1956年4月】

労働関係資料目録（1956年1月～2月）

官公庁刊行物（前年度分の残り）

労働日誌（1～2月）

【19号 1956年5月】

労働関係資料目録（1956年3～4月）

労働日誌（3～4月）

戦後10年の賃金変遷表（年表）

【20号 1956年10月】

労働日誌（5～8月）
労働関係資料目録（5・6・7・8月）

【21号 1956年12月】

砂川事件（10月）に関する資料について
砂川日誌
砂川事件関係資料目録
労働日誌（9・10月）
労働関係資料目録（9・10月）

【22号 1957年3月】

戦後労働組合運動史文献目録について
永田利雄・田沼肇
文献目録の説明
戦後労働組合運動史文献目録
労働日誌（11・12月）
労働関係資料目録（11・12月）

【23号 1957年5月】

労働日誌（1～3月）
労働問題関係資料目録（1957年1月分）

【24号 1957年6月】

労働日誌（4～5月）
労働問題関係資料目録（1957年2,3月分）

【25号 1957年7月】

戦時労働問題文献目録（その1）
労働日誌（6月）
労働問題関係資料目録（1957年4,5月分）

【26号 1957年8月】

労働日誌（7月）
労働問題関係資料目録（1957年6月分）

【27号 1957年9月】

労働日誌（8月）
労働問題関係資料目録（1957年7,8月分）

【28号 1957年10月】

労働日誌（9月）
労働問題関係資料目録（1957年9月分）

【29号 1957年11月】

労働組合組織強化の問題点——組織点検運動の提唱のため
舟橋尚道
労働日誌（10月）
労働問題関係資料目録（1957年10月分）

【30号 1957年12月】

統一に向う農民組合と地主団体 大島 清
労働日誌（11月）
労働問題関係資料目録（1957年11月分）

【31号 1958年1月】

以西底曳網漁船々員の家計調査結果について——労働力の性格に関する一試料 齊藤泰明
労働日誌（12月）
労働問題関係資料目録（1957年12月分）

【32号 1958年2月】

最近の生活調査資料について 原 薫
書評
『日本労働年鑑』第30集について思う 沼田稻次郎
十年の反省の友 藤田若雄
労働日誌（1958年1月）
労働資料目録（1958年1月分）

【33号 1958年3月】

日教組の「学校白書」運動——最近の労働組合調査活動の一例 田沼 肇
労働日誌（1958年2月）
労働資料目録（1958年2月分）

【34号 1958年4月】

労働組合の職務給対策——最近の傾向について 石島 忠
労働日誌（1958年3月）
労働資料目録（1958年3月分）

【35号 1958年5月】

ソ連の世界経済研究所—外国の研究めぐり（1） 宇佐美誠次郎
労働日誌（1958年4月）
労働資料目録（1958年4月分）

【36号 1958年6月】

「社史」について——社史・行史・経営者団体史の紹介 宇佐美誠次郎・永田利雄
付：社史文献（戦後刊行）目録一覧（昭和33年5月現在）
労働日誌（1958年5月）
労働資料目録（1958年5月分）

【37号 1958年8月】

定期昇給制度の問題点 舟橋尚道
労働日誌（1958年6・7月）

労働資料目録（1958年6,7月分）

【38号 1958年9月】

わが国人口の社会的構成——雇用労働者の数量上の地位
齊藤泰明

労働日誌（1958年8月）

労働資料目録（1958年8月分）

【39号 1958年10月】

不換銀行券論争における問題点——不換銀行券の本質規定について
原 薫

労働日誌（1958年9月）

労働資料目録（1958年9月分）

【40号 1958年11月】

農地改革史文献解説 大島清・永田利雄
付：農地改革史文献目録一覧—1958年2月現在

労働日誌（1958年10月）

労働資料目録（1958年10月分）

【41号 1958年12月】

労働問題研究と「社史」の利用 田沼 肇

労働日誌（1958年11月）

労働資料目録（1958年11月分）

【42号 1959年1月】

ブラハの経済研究所と経済大学——外国の研究所めぐり
(2) 宇佐美誠次郎

労働日誌（1958年12月）

労働資料目録（1958年12月分）

【43号 1959年2月】

業者間協定の実態分析 舟橋尚道
『日本労働年鑑』第31集への書評

労働日誌（1959年1月）

労働資料目録（1959年1月分）

【44号 1959年3月】

農家兼業と中小工業労働力——三重県桑名市鋳物工業の事例
齊藤泰明

資料

戦前・戦後のメーカー・スローガン

労働日誌（1959年2月）

労働資料目録（1959年2月分）

【45号 1959年4月】

不換銀行券の流通における問題点——不換銀行券論争によせて
原 薫

労働日誌（1959年3月）

労働資料目録（1959年3月分）

【46号 1959年5月】

職業技術教育と労働問題（I）——主な文献および資料について
田沼 肇

労働日誌（1959年4月）

労働資料目録（1959年4月）

【47号 1959年6月】

職業技術教育と労働問題（II）——主な文献および資料について
田沼 肇

労働日誌（1959年5月）

労働資料目録（1959年5月分）

【48号 1959年8月】

ベルリンの経済研究所—外国の研究めぐり（3）
宇佐美誠次郎

労働日誌（1959年6・7月）

労働資料目録（1959年6・7月分）

【49号 1959年9月】

高野岩三郎先生略年譜と著作目録 久留間鮫造

労働日誌（1959年8月）

労働資料目録（1959年8月分）

【50号 1959年10月】

農家の租税公課諸負担について 大島 清

労働日誌（1959年9月）

労働資料目録（1959年9月分）

『日本労働年鑑』第32集出版案内

【51号 1959年11月】

賃金綱領の問題点 舟橋尚道

労働日誌（1959年10月）

労働資料目録（1959年10月分）

【52号 1959年12月】

中小工業の存立形態に関する資料——自1958年1月至59年12月
齊藤泰明

労働日誌（1959年11月）

労働資料目録（1959年11月分）

【53号 1960年1月】

農家出身就業者の一性格（1）——三重県松阪市、桑名市の実態調査
原 薫

労働日誌（1959年12月）

労働資料目録（1959年12月刊行分）

【54号 1960年2月】

農家出身就業者の一性格(2)——三重県松阪市、桑名市の実態調査 原 薫
労働日誌(1960年1月)
労働資料目録(1960年1月刊行分)
労働資料目録収録誌一覧(雑誌・通信類)

【55号 1960年3月】

職業技術教育と労働問題(III)——主な文献および資料について 田沼 肇
労働日誌(1960年2月)
労働資料目録(1960年2月刊行分)

【56号 1960年4月】

職業技術教育と労働問題(IV)——主な文献および資料について 田沼 肇
労働日誌(1960年3月)
労働資料目録(1960年3月刊行分)

【57号 1960年5月】

西ドイツと日本の労働者階級構成の比較のために 宇佐美誠次郎
労働日誌(1960年4月刊行分)
労働資料目録(1960年4月刊行分)

【58号 1960年6月】

労農提携運動の現状 大島 清
労働日誌(1960年5月)
労働資料目録(補遺)

【59号 1960年8月】

最近における賃金体系及び形態の特質 舟橋尚道
労働日誌(1960年6月)
社史文献目録一覧(2)——戦後刊行分(1960年5月現在)

【60号 1960年9月】

わが国産業における中小・零細工業の地位——家内工業労働者とその労働 齊藤泰明
労働日誌(1960年7・8月)
調査内容別-労働問題統計調査ならびに資料目録(その1)

【61号 1960年10月】

火力発電における技術革新と労働者の変化——東京電力における実態調査 宇佐美誠次郎・原薫

【62号 1960年11月】

三池炭鉱争議に関する資料・文献目録 田沼 肇

【63号 1960年12月】

病院ストに関する資料——組織・統一闘争までの争議・要求状況・文献資料目録 資料室編
労働日誌(1960年9・10月)
調査内容別-労働問題統計調査ならびに資料目録(その2)

【64号 1961年1月】

戦時労働年鑑の編纂のために——『日本労働年鑑』の変遷と戦時年鑑編纂用の資料について 宇佐美誠次郎
労働日誌(1960年11・12月)
調査内容別-労働問題統計調査ならびに資料目録(その3)

【65号 1961年3月】

戦前労農運動関係雑誌・機関紙・通信類目録
労働日誌(1961年1・2月)

【66号 1961年4月】

年功序列賃金に対する資本と労働の対策 舟橋尚道
労働日誌(1961年3月)
調査内容別-労働問題統計調査ならびに資料目録(その4・完)

【67号 1961年5月】

炭鉱災害と鉱山保安監督制度 齊藤泰明
附1 石炭鉱山重大災害一覧
附2 上清炭鉱災害調査報告(1 通産省鉱山保安局, 2 総評調査団)
労働日誌(1961年4月)
資料室報総索引(第1号~第67号)

【68号 1961年6月】

中・高年齢層の労働移動の実態(1)——富士自動車離職者の再就職状況 原 薫
労働日誌(1961年5月)

【69号 1961年8月】

中・高年齢層の労働移動の実態(2)——富士自動車離職者の再就職状況 原 薫
労働日誌(1961年6月)

【70号 1961年9月】

労働市場と農家労働力 大島 清
労働日誌(1961年7・8月)
戦後・労働組合の経済政策ならびに関連運動に関する年表

【71号 1961年10月】

戦時下の文化運動とその弾圧などにかんする諸資料——戦時労働年鑑編纂のために(その2) 宇佐美誠次郎
労働日誌(1961年9月)

戦後・労働組合の経済政策ならびに関連運動に関する文献資料目録（その1）——産業復興闘争と経済復興運動に関して

【72号 1961年11月】

労働問題研究と「社史」の利用——事業内職業訓練について（1） 永田利雄・田沼肇

労働日誌（1961年10月）

戦後・労働組合の経済政策ならびに関連運動に関する文献資料目録（その2）——生産管理と経営協議会、国有国営・社会化に関して

【73号 1961年12月】

労働問題研究と「社史」の利用——事業内職業訓練について（2） 田沼肇・永田利雄

労働日誌（1961年11月）

労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その3）——石炭復興闘争（1946～49年）の1

【74号 1962年1月】

最近の物価動向について——公共料金・サービス料金値上げと消費者物価 齊藤泰明

労働日誌（1961年12月）

労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その4）——石炭復興闘争の2

【75号 1962年2月】

農業労働力の流出とその波紋 大島 清

労働日誌（1962年1月）

労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その5）——石炭復興闘争の3

【76号 1962年3月】

インフレーション期における物価変動——戦争直後のインフレーション期を例として 原 薫

労働日誌（1962年2月）

労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その6）——石炭復興闘争の4

【77号 1962年4月】

戦争末期における労働者の食生活についての資料——戦時労働年鑑編纂のために（その3） 宇佐美誠次郎

労働日誌（1962年3月）

労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その7）——石炭復興闘争の5

【78号 1962年5月】

日本は低賃金か 舟橋尚道

労働日誌（1962年4月）

労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その8）——石炭復興闘争の6

【79号 1962年7月】

職業訓練政策と労働組合——第3回職業技術教育研究会をめぐる資料紹介 田沼 肇

労働日誌（1962年5月）

本年上半期における労働問題文献の傾向——項目別の特徴と主要文献紹介 石島 忠
付：石炭政策転換闘争に関する文献目録

【80号 1962年8月】

わが国人口の社会的構成——1960年 齊藤泰明

労働日誌（1962年6・7月）

【81号 1962年9月】

最近の雇用と企業整備 原 薫

労働日誌（1962年8月）

所蔵農民運動史資料目録（第2部）-その1 日本農民組合総本部（1922年4月～1926年2月）

【82号 1962年10月】

戦後の恐慌論におけるいくつかの問題点——最近の読書メモからの抜萃 久留間敏造

労働日誌（1962年9月）

所蔵農民運動史資料目録（第2部）-その2 日本農民組合総本部（1926年3月～1926年10月）

【83号 1962年11月】

最近における労働組合の賃金政策 舟橋尚道

労働日誌（1962年10月）

所蔵農民運動史資料目録（第2部）-その3 日本農民組合総本部（1926年11月～1928年5月）

【84号 1962年12月】

在米日本人社会主義者の機関紙『平民』について

労働日誌（1962年11月）

所蔵農民運動史資料目録（第2部）-その4 日本農民組合関東同盟・地方協議会・青年部（1923年～1928年）

【85号 1963年1月】

統計的認識における集団観察と個別事例観察——統計的因果研究の課題 齊藤泰明

1962年下半年の主要労働問題文献

労働日誌（1962年12月）

【86号 1963年2月】

小企業における最近の労働力需給事情 原 薫

昨年度（1962年）における賃金問題に関する文献——主

として賃金水準をめぐって
1月の労働日誌 (1963年)

【87号 1963年3月】
貨幣商品・金の価値変動と物価——貨幣の諸機能に及ぼす影響についての覚書 齊藤泰明
2月の労働日誌 (1963年)

【88号 1963年5月】
1962年中に発表された賃金問題に関する文献 (2) ——主として賃金体系をめぐって
3月の労働日誌 (1963年)
4月の労働日誌 (1963年)

【89号 1963年6月】
戦時労働力としての中国人捕虜の資料 (1) ——戦時労働年鑑編纂のために (その4) 宇佐美誠次郎
新日本室素水俣争議・日誌と資料目録
5月の労働日誌 (1963年)

【90号 1963年8月】
戦時労働力としての中国人捕虜 (2) ——戦時労働年鑑編纂のために (その5) 宇佐美誠次郎
6月の労働日誌 (1963年)
7月の労働日誌 (1963年)

【91号 1963年9月】
松川事件と労働組合 田沼 肇
8月の労働日誌 (1963年)
大原社研蔵のプロレタリア文学関係の充実した内容について 小田切秀雄
プロレタリア文学関係所蔵文献目録 (その1) -1893年～1929年

【92号 1963年10月】
資料室報特別号
中小企業における労働力需給事情と労働移動——機械器具工業並に印刷業の実態
法政大学大原社会問題研究所
(舟橋尚道・原薫・齊藤泰明)

【93号 1963年11月】
社会民主主義と社会ファシズムについての覚え書 大島 清
9月の労働日誌 (1963年)
10月の労働日誌 (1963年)
プロレタリア文学関係所蔵文献目録 (その2) ——1930年

【94号 1963年12月】

会社史からみた戦時中の労働者状態 (その1)
田沼 肇

11月の労働日誌
プロレタリア文学関係所蔵文献目録 (その3・了)
——1931年～1939年

【95号 1964年1月】
高野岩三郎年譜 大島清・永田利雄
“資料室”整備の一方途——当研究所資料室の経験から——その1・分類整理を中心に 石島 忠
12月の労働日誌 (1963年)

【96号 1964年2月】
太平洋戦争下における労働人口の動員と配置 (1) 齊藤泰明
最近の労働問題の特徴点を文献から探る 石島 忠
労働日誌 (1964年1月)

【97号 1964年3月】
太平洋戦争下における労働人口の動員と配置 (2) 齊藤泰明
“資料室”整備の一方途 (続) ——その2・収集と管理について 石島 忠

資料紹介
今年の最低賃金闘争の進め方に関する論点
労働日誌 (1964年2月)

【98号 1964年4月】
インフレーション・物価変動に関する文献、資料 (1) ——戦争直後のインフレーション期を対象とする 原 薫

資料紹介
統一行動の前進をめぐってくい違ふ社共の見解から
労働日誌 (1964年3月)

【99号 1964年6月】
太平洋戦争下の労務管理 徳永重良
反合理化闘争の改良的側面について 石島 忠
労働日誌 (1964年4月)

【100号 1964年7月】
資料室報特別号
1963年度調査報告
中小企業における賃金決定事情
法政大学大原社会問題研究所
(大島清・原薫・齊藤泰明)

【101号 1964年8月】
技術的進歩と雇用の変動

—アメリカと西ドイツの場合 宇佐美誠次郎
 労働日誌 (1964年5月)
 『資料室報』索引68号～100号

【102号 1964年9月】

第二次大戦中における労働者の抵抗 田沼 肇
 労働日誌 (1964年6・7月)
 戦後労働組合産業別組織変遷図 (その1) — 鉱業, 金属産業

【103号 1964年10月】

死亡率低下の社会的要因について—青年層死亡率の戦前・戦後比較 齊藤泰明
 労働日誌 (1964年8・9月)
 戦後労働組合産業別組織変遷図 (その2)
 —化学産業, 交通運輸

【104号 1964年11月】

インフレーション下の賃銀変動に関する資料—わが国戦争直後のインフレ物価変動に関する資料 (2) 原 薫
 労働日誌 (1964年10月)

【105号 1964年12月】

企業別組合と企業内闘争の位置づけ 石島 忠
 労働日誌 (1964年11月)

【106号 1965年1月】

労働組合運動の創始者・高野房太郎 大島 清
 労働日誌 (1964年12月)
 法政大学大原社会問題研究所図書資料閲覧規程

【107号 1965年3月】

資料室報特集107号
 1964年度調査報告
 中小企業における賃金決定事情 (2)
 法政大学大原社会問題研究所
 (大島清・原薫・齊藤泰明)

【108号 1965年4月】

資料室報特別号
 法政大学大原社会問題研究所創立45周年記念特集
 はしがき 法政大学大原社会問題研究所
 四十五年間の思い出 久留間敏造
 高野岩三郎博士と日本の労働運動 河野 密
 大原研究所創立の頃 森戸辰男
 世界経済の中の日本 大内兵衛

【109号 1965年5月】

イギリスの初期労働運動にかんする新しい解釈について 中林賢二郎

労働日誌 (1965年1・2月)
 「太平洋戦争下の労働者状態」に対する書評 (転載)
 隅谷三喜男・孫田良平

【110号 1965年6月】

軍事化と雇用—ホルガー・マイヤの論文紹介 宇佐美誠次郎
 労働日誌 (1965年3, 4月)

【111号 1965年8月】

欧米のホワイト・カラーの賃金 舟橋尚道
 労働日誌 (1965年5, 6月)

【112号 1965年9月】

中小工業における年少労働者の就業形態もしくは「徒弟制度」—徒弟制教育について 齊藤泰明
 付: 「徒弟制度」および徒弟制教育に関する論文・文献目録
 労働日誌 (1965年7, 8月)

【113号 1965年10月】

機械・金属工業における労働移動 (1) 原 薫
 労働日誌 (1965年9月)
 大原社研蔵 労働争議・小作争議・治安維持法関係等裁判記録目録—大正8年～昭和5年
 法政大学大原社会問題研究所資料室

【114号 1965年11月】

不況下の労働市場と農家労働力の移動 大島 清
 労働日誌 (1965年10月)

【115号 1965年12月】

E.J.ホプスバウム「一八五〇年以後のイギリス労働運動の諸潮流」について 中林賢二郎
 労働日誌 (1965年11月)

【116号 1966年1月】

特別号
 太平洋戦争下の労働者状態・労働運動を回顧する会
 大原社研について 久留間敏造
 戦争下の労働者・労働運動について 宇佐美誠次郎
 私は戦争下の労働運動を語る資格はないが 加藤勘十
 労働組合と産報運動 西尾末広
 労働階級の根強い抵抗が各所で組織されていた 金子健太
 教訓をかみしめ自らの姿勢を匡す 沼田稲次郎
 大原社研のまな板の上に堂々とのって 高野 実

現代の合理化と産報化にたいする闘い
きびしい教訓を生かして
戦時下の労働運動と今日の労働運動
大原社研と労働年鑑

灰原茂雄
栗山益夫
塩田庄兵衛
大内兵衛

社会科学専門図書館における図書分類の問題——東ドイツにおける分類法を中心に 宇佐美誠次郎
労働日誌 (1966年11月)
“Die Neue Zeit” Inhaltsverzeichnis (I) 1883-1885

【117号 1966年2月】

岡谷・諏訪工業地帯における労働力の需給と移動の実態 (1) 舟橋尚道・中林賢二郎
労働日誌 (1965年12月, 1966年1月)

【118号 1966年4月】

特別号
岡谷・諏訪工業地帯における労働力の需給と移動の実態 (2) 舟橋尚道・中林賢二郎
労働日誌 (1966年2・3月)

【119号 1966年5月】

北九州筑豊炭鉱閉山地帯失業者調査中間報告——田川市郡失業者の諸類型

【120号 1966年5月】

岡谷・諏訪工業地帯における労働力の需給と移動の実態 (3) 舟橋尚道・中林賢二郎
岡谷・諏訪工業地帯における労働市場の概況 舟橋尚道・中林賢二郎
労働日誌 (1966年4月)

【121号 1966年7月】

機械・金属工業における労働移動 (2) 原 薫
労働日誌 (1966年5月)

【122号 1966年8月】

中小企業労働組合研究の課題 小林謙一
労働日誌 (1966年6月)

【123号 1966年9月】

大原社会問題研究所所蔵の戦前資料について 二村一夫
労働日誌 (1966年7月)

【124号 1966年10月】

労働組合運動の創始者・高野房太郎 (2) 大島 清
労働日誌 (1966年8・9月)

【125号 1966年12月】

コミンテルン第一三回プレナムの資料について 中林賢二郎
労働日誌 (1966年10月)

【126号 1967年1月】

【127号 1967年2月】

資本制家内労働について——家庭内職工賃の決定事情 齊藤泰明
労働日誌 (1966年12月)
所蔵定期刊行物目録 (1) ——労働組合機関誌紙

【128号 1967年3月】

神戸地区労働市場の一般概況 舟橋尚道・町田隆男
労働日誌 (1967年1月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (2) ——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (II) 1886-1890

【129号 1967年4月】

特集 所蔵図書資料の紹介
大原社会問題研究所とその蔵書 久留間鮫造
ズユースミルヒ「神の秩序」初版本の復刻 有沢広巳
大原社研所蔵のヨーロッパ関係図書資料について
良知 力
大原社研蔵のプロレタリア文学関係文献の充実した内容について 小田切秀雄
戦前資料について 二村一夫
戦後労働関係資料の蒐集整理状況について 石島 忠
訪問記
法政大学大原社会問題研究所資料室 内山 和

【130号 1967年5月】

インフレーション下の賃銀変動——わが国戦後インフレ期を例とする 原 薫
労働日誌 (1967年2・3月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (3) ——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (III) 1890-1892

【131号 1967年6月】

鉄鋼下請企業における労働力の需給と移動の実態 舟橋尚道・二村一夫
所蔵定期刊行物目録 (2) ——XI 統計 (1)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (4) ——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (IV) 1892-1894

【132号 1967年8月】

「資本論」とドイツ労働運動——ドゥルーベック教授の論文の紹介 宇佐美誠次郎
労働日誌 (1967年4・5月)
所蔵定期刊行物目録 (3) ——XI 統計 (2)

【133号 1967年9月】
四日市工業地帯における産業構造の概況
小林謙一・亀山直幸
労働日誌（1967年6月、7月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（5）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (V) 1894-1895

【134号 1967年10月】
ウィリアム・ベンボウとその「グランド・ナショナル・ホリデー」について
中林賢二郎
労働日誌（1967年8月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（6）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (VI) 1895-1896

【135号 1967年11月】
エレンア・マルクスの手紙
都築忠七
ノイエ・ツァイト誌総目次（7）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (VII) 1896-1897

【136号 1967年12月】
わが国の産業構成と労働者
付、社会階級構成表
別表① 大橋隆憲氏表
別表② 江口英一氏表
齊藤泰明
労働日誌（1967年9・10月）
所載定期刊行物目録（その4）——VII 官公庁年報・白書 VIII 一般年鑑・年報
付録 『日本労働年鑑』第38集、1968年版

【137号 1968年1月】
労働市場問題に関する地方資料
原 薫
労働日誌（1967年11、12月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（8）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (VIII) 1897-1898

【138号 1968年3月】
亀戸事件小論
資料
二村一夫
自由法曹団作成
亀戸労働者殺害事件調査（21通）
官憲ノ検東者ニ対スル暴状（6通）
検査される迄の記
神道久三

【139号 1968年4月】
労働組合運動の創始者・高野房太郎（3）
大島 清
書評
『高野岩三郎伝』（「朝日新聞」, 「朝日ジャーナル」より転載）
労働日誌（1968年1、2月）

【140号 1968年5月】
特別号
労働組合の組織にかんする調査報告（1）
全国金属労組の組織の発展とその組織活動の現段階
法政大学大原社会問題研究所
（中林賢二郎・原薫）

【141号 1968年6月】
特別号
労働組合の組織にかんする調査報告（2）
全国金属労組の支部組織の実態——企業別支部
法政大学大原社会問題研究所
（中林賢二郎・原薫）

【142号 1968年7月】
一〇〇年来の世界各国の実質賃銀と搾取率の推移——ク
チンスキー教授の推計
宇佐美誠次郎
労働日誌（1968年3・4・5月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（9）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (IX) 1898-1899

【143号 1968年8月】
石油化学工業における労働市場——四日市石油化学コン
ビナート調査覚書
齊藤泰明
労働日誌（1968年6月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（10）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (X) 1899-1900

【144号 1968年9月】
開拓地における農業構造——構造問題の一事例として
小林謙一
労働日誌（1968年7月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（11）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XI) 1900-1901

【145号 1968年10月】
高野房太郎生誕100年記念号
高野房太郎生誕100年記念号発行に当って
法政大学大原社会問題研究所
日本における労働運動
高野房太郎
日本のオルガナイザーから（通信）
高野房太郎
日本における新しい労働組合
高野房太郎
兄高野房太郎を語る
高野岩三郎
職工組合に就て
高野岩三郎
高野房太郎君を憶ふ
天涯茫茫生
労働組合の誕生 ——高野房太郎生誕百年に寄せて
大島 清
高野房太郎関係文献目録

【146号 1968年11月】

労働力不足と労使関係 舟橋尚道
労働日誌 (1968年8・9月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (12) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XII) 1901-1902

【147号 1968年12月】

労働組合の組織にかんする調査報告 (3)
全国金属労組の支部組織の実態——地域支部
法政大学大原社会問題研究所 (原 薫)

【148号 1969年2月】

新人会機関誌の執筆者名調査 二村一夫
付：新人会機関誌総目次
労働日誌 (1968年10・11・12月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (13) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XIII) 1902-1903

【149号 1969年3月】

コミンテルン・イギリス支部を形成した諸潮流 中林賢二郎
労働日誌 (1969年1月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (14) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XIV) 1903-1904

【150号 1969年4月】

クチンスキーの「労働者状態史」全四〇冊が生れるまで 宇佐美誠次郎

研究所行事報告

高野岩三郎・櫛田民蔵両先生を追憶し研究所創立五〇周年を祝賀する会
労働日誌 (1969年2月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (15) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XV) 1904-1905

【151号 1969年5月】

技能労働者の養成と職業訓練法——職業訓練法の改変について 齊藤泰明
労働日誌 (1969年3月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (16) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XVI) 1905-1906

【152号 1969年6月】

大企業における雇用制度とその変貌 小林謙一
労働日誌 (1969年4月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (17) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XVII) 1906-1907

【153号 1969年8月】

特別号

大原社会問題研究所創立50周年記念講演会
はしがき——記念講演会と“社会運動の半世紀”展法
政大学大原社会問題研究所
挨拶 中村 哲
社会運動の半世紀と大原研究所 大島 清
私と大原研究所 美濃部亮吉
世界の中の日本——一九七〇年社会運動の展望 大内兵衛

【154号 1969年9月】

年功賃金について 舟橋尚道
労働日誌 (1969年5, 6, 7月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (18) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XVIII) 1907-1908

【155号 1969年10月】

三月前期ドイツ急進主義者たちの手紙 (I)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (19) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XIX) 1908-1909
労働日誌 (1969年8・9月)

【156号 1969年11月】

三月前期ドイツ急進主義者たちの手紙 (II)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (20) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XX) 1909-1910
労働日誌 (1969年10月)

【157号 1969年12月】

初期の政治研究会と無産政党組織問題 大野節子
労働日誌 (1969年11月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (21) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XXI) 1910-1911

【158号 1970年1月】

わが国における女子労働者の地位——結婚退職制および女子若年停年制について
付：住友セメント事件判旨 (東京地裁昭和41年12月20日判決) 齊藤泰明
労働日誌 (1969年12月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (22) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XXII) 1911~1912

【159号 1970年2月】

全国坑夫組合の組織と活動 (I) 二村一夫
労働日誌 (1970年1月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (23) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XXIII) 1912~1913

【160号 1970年3月】

1922年4月開催の三つのインタナショナルのベルリン協議会について 中林賢二郎

労働日誌 (1970年2月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (24) —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXIV) 1913～1914

【161号 1970年5月】

四日市工業地帯における労働市場の概況 (上) —— 職安統計の分析を中心として 小林謙一

労働日誌 (1970年3月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (25) —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXV) 1914～1915

【162号 1970年6月】

日本旅行記 クチンスキー

『マルクス経済学レキシコン』書評2つ

マルクス主義の不可欠の参考書

クチンスキー (訳: 宇佐美誠次郎)

「レキシコン」に学ぶ

遊部久蔵

労働日誌 (1970年4月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (26) —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXVI) 1915～1916

クチンスキーの『レキシコン』書評 (原文)

【163号 1970年7月】

特別号 建設者同盟特集

はしがき

法政大学大原社会問題研究所

故浅沼社会党委員長を偲ぶ会 (1960年10月20日)

亡き浅沼稲次郎君を祭る文——弔辞

第一回建設者同盟の集い (1960年12月15日)

建設者同盟懐旧懇談会 (1962年2月25日)

建設者同盟関係年表

旧建設者同盟会員名簿

【164号 1970年8月】

四日市工業地帯における労働市場の概況 (下) —— 職安統計の分析を中心として 小林謙一

労働日誌 (1970年5月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (27) —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXVII) 1916～1917

【165号 1970年9月】

日本人労働者の状態 高野房太郎

日本の典型的労働者 高野房太郎

解説

大島 清

労働日誌 (1970年6・7月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (28) —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXVIII) 1917～1918

【166号 1970年10月】

賃金管理の日本の特質について

舟橋尚道

労働日誌 (1970年8, 9月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (29) —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXIX) 1918～1919

【167号 1970年12月】

日本銀行勘定の動き

原 薫

労働日誌 (1970年10月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (30) —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXX) 1919～1920

【168号 1971年1月】

全国坑夫組合の組織と活動 (2)

二村一夫

労働日誌 (1970年11月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (31) —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXXI) 1920～1921

【169号 1971年2月】

文献研究・日本労働運動史

二村一夫

労働日誌 (1970年12月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (32) —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXXII) 1921～1922

【170号 1971年3月】

アムステルダムの国際社会史研究所にて 中林賢二郎

労働日誌 (1971年1月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (33) 完 —— “Die Neue Zeit”

Inhaltsverzeichnis (XXXIII) 1922～1923

【171号 1971年4月】

わが国における労働者災害補償制度の端緒——鉱業労働者に対する「救恤」もしくは「扶助」 斉藤泰明

労働日誌 (1971年2月)

法政大学大原社会問題研究所図書資料分類法

【172号 1971年5月】

日本の同盟罷業 (3編) 高野房太郎／解説: 大島 清
研究所行事報告

高野岩三郎・櫛田民蔵両先生追憶会

櫛田民蔵著・大内兵衛補修『「共産党宣言」の研究』についての書評

労働日誌 (1971年3月)

【173号 1971年6月】

幕末の倉敷知識人たち——大原社会問題研究所の「夜明け前」 中村 哲

【174号 1971年7月】

最近の労働判例（上）——1970年6月～1971年4月
解説：秋田成就

労働日誌（1971年4月）

【175号 1971年8月】

最近の労働判例（下）——1970年6月～1971年4月
解説：秋田成就

労働日誌（1971年5月）

【176号 1971年10月】

国家論としての社会政策論 舟橋尚道
労働日誌（1971年6・7・8月）

【177号 1971年11月】

雑誌『マルクス主義』の執筆者名調査 二村一夫
『マルクス主義』総目次
労働日誌（1971年9・10月）

【178号 1971年12月】

コミンテルンのアムステルダム・サブビューローと1920
年2月の国際協議会について 中林賢二郎
議事録 1920年2月3～8日アムステルダム開催の第
三インタナショナル協議会
労働日誌（1971年11月）

【179号 1972年1月】

タクシー運転者の労働基準と労働時間——8時間労働制
の擬制 斉藤泰明
労働日誌（1971年12月）

【180号 1972年2月】

創成期の日本農民組合——日本農民組合創立50周年を記
念して 大原勇三
労働日誌（1972年1月）

【181号 1972年3月】

『帝国主義論』の刊行と邦訳の諸版 宇佐美誠次郎
労働日誌（1972年2月）

【182号 1972年4月】

日本におけるわがオルガナイザー
高野房太郎／翻訳・解説 大島 清
日本労働運動の展望
高野房太郎／翻訳・解説 大島 清
労働日誌（1972年3月）

【183号 1972年6月】

OECD（経済協力開発機構）の対日意見書について
舟橋尚道

労働日誌（1972年4月）

【184号 1972年7月】

吾孫子豊『公共企業体労働関係法制定経過概要』について
早川征一郎

労働日誌（1972年5月）

【185号 1972年8月】

全国坑夫組合の組織と活動（3） 二村一夫
労働日誌（1972年6月）

【186号 1972年9月】

個別賃金要求をめぐる若干の問題 白井泰四郎
労働日誌（1972年7月）

【187号 1972年10月】

ハイヤー・タクシー・観光バス運転手の労働移動
中林賢二郎
労働日誌（1972年8月）

【188号 1972年11月】

職業訓練と労働組合——フランスにおける経験
斉藤泰明
付・「職業訓練に関する国際シンポジウム」（1971年7
月）におけるフランス労働総同盟（CGT）代表の報告
労働日誌（1972年9月）

【189号 1972年12月】

クチンスキーの「労働者階級」論 宇佐美誠次郎
労働日誌（1972年10月）

【190号 1973年2月】

高野房太郎の賃金論（上）——G.ガントン理論との関連
大島 清
労働日誌（1972年11・12月）

【191号 1973年3月】

高野房太郎の賃金論（下）——G.ガントン理論との関連
大島 清
労働日誌（1973年1月）

【192号 1973年4月】

日本の雇用政策の特質 舟橋尚道
労働日誌（1973年2・3月）

【193号 1973年5月】

特別号
金属機械労働者実態調査報告（1）
法政大学大原社会問題研究所金属機械労働者調査班

- 【194号 1973年6月】
 金属機械労働者実態調査報告(2) 法政大学大原社会問題研究所金属機械労働者調査班
- 【195号 1973年7月】
 金属機械産業の展開と総評全国金属労働組合 相田利雄
 金属機械労働者実態調査報告(3) 法政大学大原社会問題研究所金属機械労働者調査班
- 【196号 1973年9月】
 アメリカ労働組合運動の動向(上) 白井泰四郎
 労働日誌(1973年4・5・6月)
- 【197号 1973年10月】
 アメリカ労働組合運動の動向(下) 白井泰四郎
 労働日誌(1973年7・8月)
- 【198号 1973年11月】
 現代イギリス労働組合運動の新しい傾向とジャック・ジョーンズ 訳：中林賢二郎
 70年代の労働組合運動
 ジャック・ジョーンズ 訳：中林賢二郎
 民主主義は成長する組合の活力
 ジャック・ジョーンズ 訳：中林賢二郎
 労働日誌(1973年9月)
- 【199号 1973年12月】
 アダム・スミスゆかりの地訪問記——エジンバラ・カーコーディネー 斉藤泰明
 労働日誌(1973年10・11・12月)
- 【200号 1974年1月】
 200号記念特集
 座談会
 戦後の大原社会問題研究所と労働年鑑
 出席者：上杉捨彦・田沼肇・中林賢二郎・斉藤泰明・石島忠・二村一夫・早川征一郎／司会：舟橋尚道／紙上参加：宇佐美誠次郎・大島清
 「資料室報」索引第101～200号
- 【201号 1974年2月】
 英国建設業の交渉機構(上)——運輸一般労組拡大の制度的背景 岡本秀昭
 労働日誌(1974年1月)
- 【202号 1974年3月】
 英国建設業の交渉機構(下)——運輸一般労組拡大の制度的背景 岡本秀昭
 労働日誌(1974年2月)
- 【203号 1974年5月】
 雑誌「マルクス主義」の五年間(1) 二村一夫
 労働日誌(1974年3月)
- 【204号 1974年6月】
 大原研究所蔵の「資本論」初版本とクーゲルマン文庫、ハースバハ文庫など(上) 宇佐美誠次郎
 労働日誌(1974年4月)
- 【205号 1974年7月】
 日本における労働運動家の経験 高野房太郎
 日本の大鉄道ストライキ 高野房太郎
 日本からの労働通信 高野房太郎
 解説 大島清
 労働日誌(1974年5月)
- 【206号 1974年8月】
 大原研究所蔵の『資本論』初版本とクーゲルマン文庫、ハースバハ文庫など(下) 宇佐美誠次郎
 労働日誌(1974年6月)
- 【207号 1974年9月】
 賃金上昇と企業福祉 舟橋尚道
 労働日誌(1974年7月)
- 【208号 1974年10月】
 母性保護と婦人部活動(上)——繊維、合成化学婦人労働者調査をつうじて 早川征一郎・川島美保
 労働日誌(1974年8月)
- 【209号 1974年12月】
 母性保護と婦人部活動(下)——繊維、合成化学婦人労働者調査をつうじて 早川征一郎・川島美保
 労働日誌(1974年9月)
- 【210号 1975年1月】
 西ドイツ労使関係の動向 白井泰四郎
 労働日誌(1974年10月)
- 【211号 1975年2月】
 第2半インタナショナルの「政綱」と「決議」 中林賢二郎
 労働日誌(1974年11月)
- 【212号 1975年3月】
 大原社研蔵『東芝労連資料』について 山本潔
 労働日誌(1974年12月)
- 【213号 1975年4月】

英国第1回人口調査(1801年)以前の人口推計(上) —
—アダム・スミスのウィリアム・イーデン宛書簡
(1786年1月3日付)でとりあげられた「ウェブスター・センサス」について
齊藤泰明
労働日誌(1975年1月)

【214号 1975年5月】

英国第1回人口調査(1801年)以前の人口推計(下)
齊藤泰明

研究所行事報告

高野岩三郎・櫛田民蔵両先生追憶会
労働日誌(1975年2月)

【215号 1975年7月】

雑誌『マルクス主義』の五年間(2) 二村一夫
雑誌『マルクス主義』の執筆者名調査補正 二村一夫
労働日誌(1975年3月)
労働日誌(1975年4月)

【216号 1975年8月】

現在の世界経済恐慌についてのベルリン・シンポジウム
宇佐美誠次郎
労働日誌(1975年5月)

【217号 1975年9月】

農民運動史資料(1)
農業綱領(綱領委員会草案)
『農業綱領(綱領委員会草案)』について
解説 大島 清
労働日誌(1975年6月)

【218号 1975年10月】

全国一律最賃制に関する資料 舟橋尚道
Book List of Oyama Bunko (Foreign Book)
労働日誌(1975年7・8月)
お願い

【219号 1975年11月】

日本労働運動史参考文献案内 是枝洋・二村一夫
労働組合史所蔵文献目録(1)
労働日誌(1975年9月)

【220号 1975年12月】

『出版警察報』所載の『無産者新聞』に関する調査について
二村一夫
資料 無産者新聞の戦術に関する調査
労働組合史所蔵文献目録(2)
労働日誌(1975年10月)

【221号 1976年2月】

最近に於ける無産者新聞の宣伝組織と、その活動
労働日誌(1975年11・12月)

【222号 1976年3月】

アメリカのILO脱退について 白井泰四郎
労働日誌(1976年1月)

【223号 1976年4月】

『東芝労連印刷』目録および解題 大原社研資料室
『東芝労連印刷』目録
労働日誌(1976年2月)

【224号 1976年5月】

労働・社会主義インタナショナル規約 中林賢二郎
労働・社会主義インタナショナル規約
資料
第二無産者新聞の創刊と其の準備闘争に就て
研究所行事報告
高野岩三郎・櫛田民蔵両先生追憶会
労働日誌(1976年3月)

【225号 1976年6月】

英国の職業訓練——1973年雇用および訓練法と英国労働
組合会議(TUC)の対応 齊藤泰明
労働組合史所蔵文献目録(3) —官公庁・経営者団体
労働日誌(1976年4月)

【226号 1976年7月】

『資本論』ドイツ語諸版の装本とアイケ・コプフ君の研究
宇佐美誠次郎
労働日誌(1976年5月)

【227号 1976年9月】

農民運動史資料(2)
農民委員会の任務、組織および運動
『農民委員会の任務・組織および運動』について
大島 清
労働日誌(1976年6月)

【228号 1976年10月】

家内労働最低賃金関係資料 舟橋尚道
労働組合機関紙・誌所蔵目録——戦後篇(1)
労働日誌(1976年7・8月)

【229号 1976年11月】

国鉄労働者意識調査結果について(1) 早川征一郎
労働組合機関紙・誌所蔵文献目録——戦後篇(2)
労働日誌(1976年9月)

【230号 1976年12月】
アメリカ労働組合の財政 白井泰四郎
『資本論』ドイツ語諸版の装本とアイケ・コプフ君の研究
への補遺 宇佐美誠次郎
労働組合機関紙誌所蔵文献目録——戦後篇 (3)
労働日誌 (1976年10月)

【231号 1977年1月】
英国の職業訓練 (2) ——Release制の適用状況—産業訓
練委員会活動の継続教育 (Further Education) との連
携上における寄与 齊藤泰明
労働日誌 (1976年11月・12月)

【232号 1977年2月】
資料紹介
VILEM KAHANの研究によるコミンテルン最高諸機関
の構成員 中林賢二郎
労働日誌 (1977年1月)

【233号 1977年4月】
英国の職業訓練 (3) ——英国労働組合同会議 (TUC) の
“産業訓練”にたいする政策的基盤と課題 齊藤泰明
労働組合史, 争議記録・闘争記録所蔵目録 (4)
労働日誌 (1977年2月)

【234号 1977年5月】
新「メガ」第2部刊行開始記念のミュールハウゼン・シン
ポジウム 宇佐美誠次郎
研究所事業報告
高野岩三郎・榊田民蔵両先生追憶会
労働日誌 (1977年3月・4月)

【235号 1977年6月】
農民運動史資料 (3)
農業農民問題に関する一報告
『農業農民問題に関する一報告』について 大島 清
労働組合機関誌・紙所蔵目録——戦前篇 (1)
労働日誌 (1977年5月)

【236号 1977年7月】
研究所々蔵資料紹介
社会・労働関係資料 (戦前の部) 早川征一郎
付: 中央労働学院 (旧協調会) よりの受入原資料一覧
労働日誌 (1977年6月)

【237号 1977年8月】
企業別組合の国際的評価について 白井泰四郎
労働日誌 (1977年7月)

【238号 1977年9月】
研究所々蔵資料紹介
社会・労働関係資料 (戦後の部) 早川征一郎
高野岩三郎文庫について 齊藤泰明
社会・労働関係資料 (洋書の貴重本一斑)
宇佐美誠次郎
労働日誌 (1977年8月)

【239号 1977年11月】
世界労連開催の1953年の国際社会保障会議に関する資料
中林賢二郎
高野岩三郎文庫目録
労働日誌 (1977年9月)

【240号 1977年12月】
英国の職業訓練 (4) ——戦後における継続教育
(Further Education) の展開と昼間就業免除 (Day
Release) 制 齊藤泰明
高野岩三郎文庫目録 (2)
労働日誌 (1977年10月)

【241号 1978年1月】
榊田民蔵顕彰碑建立さる
榊田民蔵顕彰碑建立の記 大島 清
榊田民蔵顕彰碑建設趣意書
榊田民蔵の生涯と業績 大内兵衛
榊田民蔵顕彰碑除幕式
各新聞紙報道
労働日誌 (1977年11月)

【242号 1978年2月】
春闘史における官公労——その国民的意義と課題
早川征一郎
労働日誌 (1977年12月・1978年1月)

【243号 1978年3月】
クチンスキー文庫 (1) 宇佐美誠次郎
労働組合史, 労働争議・闘争記録所蔵目録 (5)
労働日誌 (1978年2月)

【244号 1978年4月】
英国の職業訓練 (5) ——「高等教育」の二元制—大学と
継続教育 (Further Education) 施設 齊藤泰明
ロビンズ報告における勧告事項の一覧
労働日誌 (1978年3月)

【245号 1978年6月】
労働組合の経営参加について 白井泰四郎

研究所事業報告

高野岩三郎・櫛田民蔵両先生追憶会

労働日誌 (1978年4月)

【246号 1978年7月】

アレン・ハット「イギリス労働組合運動小史」第6版の増補部分について 中林賢二郎

労働日誌 (1978年5月)

【247号 1978年8月】

『無産者新聞』小史(上) 二村一夫

【248号 1978年9月】

クチンスキー文庫(2) 宇佐美誠次郎

労働日誌 (1978年6月)

【249号 1978年10月】

『無産者新聞』小史(下) 二村一夫

労働日誌 (1978年7月・8月)

【250号 1978年11月】

農民運動史資料(4)

「農業農民問題に関する一報告」に関する若干の批判要綱覚え書き

解説 『「農業農民問題に関する一報告」に関する若干の批判要綱覚え書き』について 大島 清

労働日誌 (1978年9月)

【251号 1979年1月】

国鉄労働者意識調査結果について(2) 早川征一郎

労働日誌 (1978年10・11月)

【252号 1979年2月】

国鉄労働者意識調査結果について(完) 早川征一郎

労働日誌 (1978年12月)

【253号 1979年3月】

英国の職業訓練(6)——鉄鋼業における具体的事例 齊藤泰明

大原社会問題研究所故関係者名簿

労働日誌 (1979年1月)

【254号 1979年4月】

「ブロック報告」と国際比較 岡本秀昭

労働日誌 (1979年2月)

【255号 1979年5月】

横浜市とデトロイト市の労働移動 舟橋尚道

労働組合史, 労働争議・闘争記録所蔵目録(6)

労働日誌 (1979年3月)

【256号 1979年6月】

労働運動の前進・停滞をめぐるイギリス左派内の論争 中林賢二郎

研究所事業報告

高野岩三郎先生外研究所関係物故者追憶会

労働日誌 (1979年4月・5月)

【257号 1979年8月】

新メガの編集をめぐる(1) 宇佐美誠次郎

労働日誌 (1979年6月)

【258号 1979年9月】

農民運動史資料(5)

農民委員会運動方針(1932年1月) 全農全国会議

農民委員会と農民組合 大島 清

労働日誌 (1979年7月, 8月)

【259号 1979年10月】

片山潜の未発表書簡について——「パーマ・レイド」前後とモスクワ便り 二村一夫

労働日誌 (1979年9月)

【260号 1979年11月】

定年延長問題に関する資料 早川征一郎・大野喜実

【261号 1979年12月】

「行政整理」(1949年)に関する基本資料——行政管理庁『行政機構年報・第1巻』について 早川征一郎

『研究資料月報』

【262号 1980年1月】

労働者家計の現状と諸特徴——国鉄労働組合家計調査結果「1978年、国鉄労働者の家計簿」 齊藤泰明

研究所事業報告

- 1 法政大学創立100周年・大原研究所創立60周年記念秘蔵貴重書・書簡特別展示会のこと 二村一夫
- 2 座談会・秘蔵貴重書・書簡特別展示の意義
宇佐美誠次郎・松川七郎・良知力・二村一夫
- 3 大原社会問題研究所創立60周年・「日本労働年鑑」第50集刊行記念パーティ

労働日誌 (1979年10～11月)

【263号 1980年3月】

賃金決定における労使関係要因——小林謙一教授に答える
舟橋尚道
産別会議発行定期刊行物総目次(1)——“情報”“週刊情報”“調査資料”

【264号 1980年4月】

60 Years of Ohara Institute for Social Research
NIMURA Kazuo
労働日誌 (1979年12月～1980年2月)

【265号 1980年5月】

労働市場と雇用政策——スウェーデンの事例(上)
岡本秀昭
労働日誌 (1980年3月～4月)

【266号 1980年6月】

新メガの編集をめぐって(2) 宇佐美誠次郎
大内兵衛先生への弔辞 中村 哲
社会労働問題研究センター利用案内・所報
社会労働問題研究センター利用案内
法政大学大原社会問題研究所所報(1980年1～3月)
付 「産別会議および全労連に関する基本資料の集成とその分析」依頼文書
労働日誌 (1980年5月)

【267号 1980年7月】

経済統計学演習要綱 高野岩三郎
統計学史ノ一節 高野岩三郎
東京市勢調査に就て 高野岩三郎
先決問題を解決せよ 高野岩三郎
経済的民治主義 高野岩三郎
統計家の任務 高野岩三郎
来るべき国勢調査に就て 高野岩三郎
現時に於る統計学の任務に就て 高野岩三郎

解説

統計学者としての高野先生の姿勢——八編の小論を読んで 大島 清

労働日誌 (1980年6月)

【268号 1980年8月】

人事院の最近の動向と役割——公務員制度見直し論との関連において 早川征一郎
新メガの編集をめぐって(2)への補遺 宇佐美誠次郎
労働日誌 (1980年7・8月)

【269号 1980年9月】

わが国の賃金構造と中高年労働者賃金——いわゆる“年功賃金”の内実 齊藤泰明
付 製造業年齢階級別現金給与額・労働時間・労働者数表 (1978年6月)

【270号 1980年11月】

低成長下の賃金決定 舟橋尚道
労働日誌 (1980年9月)

【271号 1980年12月】

労働市場と雇用政策——スウェーデンの事例(中)
岡本秀昭
労働日誌 (1980年10月)

【272号 1981年1月】

カーネギー平和財団と大内兵衛＝榊田民蔵
宇佐美誠次郎
労働日誌 (1980年11月)

【273号 1981年2月】

足尾銅山における労資関係の史的分析(1)——「足尾暴動の基礎過程」再論 二村一夫
労働日誌 (1980年12月)

【274号 1981年3月】

日本における工場法案 高野房太郎
日本における工場法制定 高野房太郎
日本の工場立法 高野房太郎

解説

労働組合期成会の工場法案修正運動と高野房太郎 大島 清

労働日誌 (1981年1月)

【275号 1981年4月】

いわゆる民間準拠問題について——若干の資料提示を中心として 早川征一郎

労働日誌 (1981年2月, 3月)

【276号 1981年6月】

わが国の賃金構造と中高年労働者賃金(2)——大企業男子労働者と公務員の賃金 齊藤泰明
法政大学大原社会問題研究所業務報告(1980年4月~81年3月)
法政大学社会労働問題研究センター業務報告(1980年4月~81年3月)
社会労働問題研究センター利用案内
労働日誌(1981年4月)

【277号 1981年7月】

60歳定年制の一般化のために——定年延長の経過と問題点 舟橋尚道
労働日誌(1981年5月)

【278号 1981年8月】

イギリス労働組合運動における職場組織と職場委員 中林賢二郎
寄稿 研究ノート
用語・訳語の難しさ 「スペイン戦争」をめぐる 川成 洋
労働日誌(1981年6月~7月)

【279号 1981年9月】

IMLBの蔵書とその歴史 宇佐美誠次郎
産別会議発刊定期刊行物総目録(2)——「調査旬報」
労働日誌(1981年8月)

【280号 1981年10月】

労働市場と雇用政策——スウェーデンの事例(下) 岡本秀昭
産別会議発刊定期刊行物総目次(3)——“働くなかま”(「調査旬報」改題)
労働日誌(1981年9月)

【281号 1981年11月】

足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の基礎過程」再論(2) 二村一夫
産別会議発刊定期刊行物総目次(4)——“産別情報”(1) No.1~58号

【282号 1982年1月】

日本における婦人労働 高野房太郎
日本人労働者の生活状態 高野房太郎
産業資本確立期の労働者状態 解説 大島 清
産別会議発刊定期刊行物総目次(5)——“産別情報”(2) No.59~112号
労働日誌(1981年10月)

【283号 1982年2月】

経済復興会議の組織と運動(上) 早川征一郎・吉田健二
労働組合史, 労働争議, 闘争記録所蔵目録(7)
産別会議発刊定期刊行物総目次(6)~「労働者」1949年3月~11月号
労働日誌(1981年11, 12月)

【284号 1982年3月】

経済復興会議の組織と運動(中) 早川征一郎・吉田健二
労働日誌(1982年1月)

【285号 1982年4月】

労働者の賃金と生活——インフレと不況, 実質増税下での労働者生活 齊藤泰明
研究ノート
「ジャック・白井」文献学的研究序説 川成 洋
労働日誌(1982年2・3月)

【286号 1982年5月】

プロレタリア科学研究所の活動と『プロレタリア科学』 梅田俊英
足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の基礎過程」再論(3) 二村一夫

【287号 1982年6月】

日本の経営と雇用・賃金 舟橋尚道
労働日誌(1982年4月)

【288号 1982年8月】

イギリスにおける社会民主党結成と労働党 中林賢二郎
労働運動史文献目録——1979年 是枝 洋

【289号 1982年9月】

原蕃期における鉱山労働者数——明治前期産業統計の吟味(上) 二村一夫
労働運動史文献目録——1979年(2) 是枝 洋

【290号 1982年10月】

原蕃期における鉱山労働者数——明治前期産業統計の吟味(下) 二村一夫
労働日誌(1982年5月)(1982年6月)

【291号 1982年11月】

日本における戦争と労働 高野房太郎
上海の中国人裁縫師のストライキ 高野房太郎
日本の農民 高野房太郎
解説
ナショナリスト・高野房太郎の一面 大島 清
労働日誌(1982年7・8月)

【292号 1982年12月】
 経済復興会議の組織と運動（下） 早川征一郎・吉田健二
 労働日誌（1982年9月）

【293号 1983年1月】
 労働者の賃金と生活（2）——賃金とライフステージ別
 「実態生計費」 齊藤泰明
 資料紹介
 『権田保之助研究』創刊される 大島 清
 木村定氏の逝去を悼む 大島 清
 労働日誌（1982年10～11月）

【294号 1983年3月】
 特集 久留間鮫造先生追悼号
 まえがき
 追悼の言葉 有沢広巳
 追悼の言葉 櫛田ふき
 久留間先生と共に 中村 哲
 弔辞 大島 清
 弔辞 原 薫
 久留間先生と『レキシコン』が出るまでのこと 大谷禎之介
 資本論研究会と久留間先生 相原 茂
 久留間先生との触れ合い 杉本俊朗
 久留間鮫造先生追悼会でしゃべるはずであったこと 上杉捨彦
 久留間鮫造先生の思い出 前畑憲子
 久留間先生の学問上のお仕事など 宇佐美誠次郎
 久留間鮫造先生年譜 二村一夫
 久留間鮫造先生著作目録 是枝 洋作成

【295号 1983年4月】
 職業訓練の国際比較——最近20年間の動向 岡本秀昭
 労働組合史、労働争議・闘争記録所蔵目録（8）
 労働日誌（1982年12月、1983年1～2月）

【296号 1983年5月】
 「全造船三菱資料」について
 「全造船三菱資料」目録
 労働日誌（1983年3月）

【297号 1983年6月】
 足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
 基礎過程」再論（4） 二村一夫
 「全造船三菱資料」目録（その2）
 労働日誌（1983年4・5月）

【298号 1983年7月】
 櫛田民蔵蔵書に関連して 宇佐美誠次郎

労働日誌（1983年6月）

【299号 1983年8月】
 人事院の公務員制度見直し案について 早川 征一郎
 参考資料

【300号 1983年10月】
 法政大学・富士セミナーハウス開設記念学術シンポジウ
 ム 80年代の雇用と賃金
 はじめに
 OECD主要国の労働経済と労使関係 舟橋尚道
 スタグフレーション試論 増田寿男
 労働力需給基調の変化をうかがわせる雇用・賃金変動
 田中博秀
 二重構造論争と雇用・失業問題 小林謙一
 総括討論 司会 中林賢二郎
 総括とコメント 岡本秀昭

「資料室報」「研究資料月報」索引（第201号～300号）
 労働日誌（1983年7～8月）

【301号 1983年11月】
 高齢化社会研究会報告 1
 リタイアメントの社会科学——R. C. アチュリーの研
 究について 小林謙一
 日本の労働問題 高野房太郎
 東京の馬車鉄道 高野房太郎
 労働組合期成会 高野房太郎
 解説 大島 清
 労働日誌（1983年9月）

【302号 1983年12月】
 足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
 基礎過程」再論（5） 二村一夫
 労働日誌（1983年10月）

【303号 1984年1月】
 足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
 基礎過程」再論（6） 二村一夫
 労働日誌（1983年11～12月）

【304号 1984年2月】
 創立65周年記念 大原社会問題研究所史料集
 史料1 創立当初の諸文書——財団法人設立申請書その
 他
 史料2 同人社問題・『雑誌』編集等に関する資料——
 櫛田民蔵より森戸辰男あての手紙
 史料3 東京移転に関する資料——森戸辰男より久留間
 鮫造あての手紙その他
 解説 大原社会問題研究所史料の編集に当って

大島 清
研究所行事 高野・櫛田・大内・久留間諸先生を追憶する会より
久留間先生の一周忌に 宇佐美誠次郎
労働日誌 (1984年1月)

【305号 1984年3月】

法政大学大原社会問題研究所公開講座
「企業別組合論の再検討」(1)
企業別組合の歴史的背景 二村一夫
討論要旨
労働運動史文献目録——1980年 是枝 洋

【306号 1984年4月】

法政大学大原社会問題研究所公開講座
「企業別組合論の再検討」(2)
企業別組合の機能とその基盤 栗田 健
討論要旨
労働運動史文献目録——1980年(2) 是枝 洋

【307号 1984年6月】

日系進出企業における経営現地化の現状と特徴(上)——
インドネシアにおける事例研究 佐藤博樹
高齢化社会研究会報告 2
アメリカにおける企業年金の受給権保護の動向——高
齢化に関する国家委員会の報告書から 岡 伸一

QWL研究会報告 1

QWL問題の本質と組織行動論 中野千秋
ロンドン・レポート(1)
ロンドンのメーデー 早川征一郎
紹介

在米日系企業に関する3冊の本 大曽根寛
労働日誌(1984年2月~3月)
大原社会問題研究所・社会労働問題研究センター所報

【308号 1984年7月】

大島清・森戸辰男両先生の死を悼む
日系進出企業における経営現地化の現状と特徴(下)——
インドネシアにおける事例研究 佐藤博樹
紹介・翻訳
カール・マルクスの3通の書簡
ハンス・ベルガー／大谷禎之介訳

QWL研究会報告 2

労働の人間化の研究動向 嶺 学
労働運動史文献目録 1981年(1) 是枝 洋
所報 1984年5月

法政大学大原社会問題研究所

1983年度事業報告書

1984年度事業計画

【309号 1984年8月】

社会民主主義からプラニスムへ——大恐慌期における
ド・マンの政策思想 佐伯哲朗
足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
基礎過程」再論(7) 二村一夫
書評

高橋克嘉著『イギリス労働組合主義の研究』

浅見和彦

労働運動史文献目録 1981年(2) 是枝 洋
所報 1984年6月

【310号 1984年9月】

足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
基礎過程」再論(8) 二村一夫
書評

セオドア・コーエン著／大前正臣訳『日本占領革命・
GHQからの証言』上巻・下巻 遠藤公嗣

調査・資料の紹介

労働組合に関する最近の調査——組織、組合員、役職
員、財政、活動課題 佐藤博樹

QWL研究会報告 3

ボルボ・カルマール10年の経験をめぐって 嶺 学
労働運動史文献目録 1981年 是枝 洋
所報 1984年7月
所報 1984年8月

【311号 1984年10月】

高齢化問題関係機関調査報告

法政大学大原社会問題研究所高齢化社会研究会

【312・313号 1984年11・12月】

産別会議の成立過程(1) 吉田健二
産別会議研究会ヒアリング(1)
産別会議活動家のヒアリング連載にあたって 吉田健二
関東労協結成前後——元関東労協書記長・春日正一氏
に聞く

QWL研究会報告

新技術と作業組織——その展開とILOの政策 嶺 学
研究ノート

イギリス「国際旅団協会」の現状と動向 川成 洋
ロンドン・レポート(2)
LSEの図書館について 早川征一郎
所報 1984年9月
所報 1984年10月

【314号 1985年1月】

わが国最低賃金制の現状と課題 白井泰四郎
定期昇給の実態と理論 舟橋尚道

書評

シュミッター／レームブルッフ編 山口定監訳、高橋
進・辻中豊・坪郷実共訳『現代コーポラティズム I』
五十嵐仁

QWL研究会

ME化と労働の人間化 嶺 学
「労働者派遣事業」関係文献目録
所報 1984年11月
所報 1984年12月

【315号 1985年2月】

【公開シンポジウム】高度情報化と労働組合——産業組織・雇用労働の変化，労働組合の対応

シンポジウムの目的 佐藤博樹
報告
情報通信システムの発達と産業組織，雇用労働への
インパクト 今野浩一郎
ニューメディアと社会システム 河村昭治郎
企業内情報システムと企業内組織の変化

小林良暢

POSの導入と企業内組織，雇用労働へのインパクト
尾関和男

討論

高度情報化と労働組織の対応をめぐる

総括報告

高度情報化と労働組合——CWA（アメリカ通信労組）
の未来像 岡本秀昭

労働日誌（1984年7月～12月）

【316号 1985年3月】

The Impact of Microelectronic Technology and the
Related Policies in Japan Manabu MINE

QWL概念の本質に関する考察——R. E. WaltonのQWL論
を中心として 中野千秋

ロンドン・レポート（3）

LSEの図書館再論——マイクロフィッシュ・カタログ，
予算，人事・給与問題について 早川征一郎

【317号 1985年4月】

日系進出企業における賃金制度と個別賃金管理——イン
ドネシアにおける事例研究 白木三秀・佐藤博樹

現代日本の政治過程と自民党——最近の自民党論の傾向
と諸論点 五十嵐仁

ロンドン・レポート（4）

イギリスの炭鉱争議（1） 早川征一郎

所報 1985年1月

所報 1985年2月

【318号 1985年5月】

足尾暴動の主体的条件（1）——「原子化された労働者」
説批判 二村一夫

ロンドン・レポート（5）

イギリスの炭鉱争議（2） 早川征一郎

QWL研究会報告

職務設計理論の展開と課題 嶺 学
労働組合，労働争議・闘争記録所蔵目録（9）
所報 1985年3月

【319号 1985年6月】

現代日本の政策決定過程と自民党——統・最近の自民党
論の傾向と諸論点 五十嵐仁

足尾暴動の主体的条件（2）——「原子化された労働者」
説批判 二村一夫

産別会議研究会ヒアリング

長谷川浩氏に聞く（1）——戦後の労働組合の再建活動
と10月闘争

所報 1985年4月

法政大学大原社会問題研究所1985年度事業計画

【320号 1985年7月】

The Changing Nature of Work Albert Bernard Cherns

ロンドン・レポート（6）

イギリスの炭鉱争議（3） 早川征一郎

産別会議研究会ヒアリング

長谷川浩氏に聞く（2）——2・1ストと産別自己批判

労働関係文献資料月録 1985.3.1～3.31受付分

法政大学大原社会問題研究所

所報 1985年5月

法政大学大原社会問題研究所1984年度事業報告

【321号 1985年8月】

労働組合の組織と交渉力に関する研究会報告

労働市場の内部化と労働組合 中村圭介

労働組合の存在意義——労働条件向上機能の検討・試
論 佐藤博樹

ロンドン・レポート（7）

イギリスの炭鉱争議（4） 早川征一郎

QWL研究会報告

日本企業の労働組織と労働生活の質 倉田良樹

産別会議研究会ヒアリング

長谷川浩氏に聞く（3）——地域人民闘争戦術・民同の
成立

労働関係文献資料月録 1985.5.1～5.31受付分

法政大学大原社会問題研究所

所報 1985年6月

【322号 1985年9月】

組合効果に関する最近の研究——アメリカにおける計量

- 研究の展開 神谷拓平
足尾暴動の主体的条件 (3) —— 「原子化された労働者」
説批判 二村一夫
「新社会主義者」の路線と運動——1930年代前半期フランスの事例 佐伯哲朗
ロンドン・レポート (8)
イギリスの炭鉱争議 (5) 早川征一郎
所報 1985年7月
- 【323・324号 1985年10・11月】
高齢者事業団アンケート調査報告
法政大学大原社会問題研究所高齢化社会研究会
【325号 1985年12月】
戦後型年功賃金の形成とその意義——1950年代のM造船における賃金問題の展開 橋元秀一
足尾暴動の主体的条件 (4・完) —— 「原子化された労働者」説批判 二村一夫
紹介
浮田文庫と鈴木茂三郎——付 渡米時の写真について 鈴木徹三
労働運動史文献目録 1982年 (1) 是枝 洋
所報 1985年8月・9月
- 【326号 1986年1月】
戦前南葛地域における労働組合運動の展開
アンドルー・ゴードン
- イギリスの炭鉱争議 (6) 早川征一郎
プロレタリア科学研究所関係史料の紹介と、2, 3の論点 梅田俊英
労働運動史文献目録 1982年 (2) 是枝 洋
所報 1985年10月
- 【327号 1986年2月】
高齢化社会研究会報告 3
高齢者の社会参加活動——経済企画庁編・市区町村担当者調査について 小林謙一
イギリスの炭鉱争議 (7) 早川征一郎
産別会議研究会ヒアリング
細谷松太氏に聞く (1) ——産別会議準備会の活動と10月闘争 吉田健二
労働運動史文献目録 1982年 (3) 是枝 洋
所報 1985年11月
- 【328号 1986年3月】
雇用調整と地域労働市場——造船不況を事例として 佐藤博樹
イギリスの炭鉱争議 (8) 早川征一郎
産別会議研究会ヒアリング
細谷松太氏に聞く (2) ——2・1ストと産別自己批判 吉田健二
所報 1985年12月

『大原社会問題研究所雑誌』（第329号～第599・600合併号）

【1986年4月号 No.329】

ごあいさつ 二村一夫

座談会 環境変動と労働組合の活性化 大川昭雄・柴田守・石垣辰男・逢見直人・早川征一郎，司会・佐藤博樹

資料解題 労働組合の「活性化」をめぐる 早川征一郎

資料 1) 600万総評推進委員会報告骨子 2) 『21世紀型労働運動へのシナリオ』（日本商業労働組合連合会，86年1月） 3) 商業労連・連帯労働組合（マネキン・デモンストレーターの労働組合）に関する資料 4) 電機労連の技術・研究労働者交流集会に関する資料 5) 労働組合の活動・組織化に関する労働省調査

読書ノート Andrew Gordon, *The Evolution of Labor Relations in Japan: Heavy Industry, 1853-1955*（アンドリュー・ゴードン『日本における労使関係の進化——重工業—1853-1955年』） 池田 信

所 報 1986年1月

法政大学大原社会問題研究所利用案内

【1986年5月号 No.330】

論 文 労働組合組織率の再検討——〈実質組織率〉算出の試み 二村一夫
イギリスの炭鉱争議 (9) 早川征一郎

産別会議研究会ヒアリング 細谷松太氏に聞く (3) ——民同結成から総評へ 吉田健二

文献目録 日本の労使関係の特質に関する文献目録

書 評 藤本武著『資本主義と労働者階級』を読んで 舟橋尚道

所 報 1986年2月

【1986年6月号 No.331】

論 文 HUMANIZATION OF WORK IN JAPAN Manabu MINE

産別会議の成立過程 (2) 吉田健二

調査報告 国鉄ローカル線存続運動と労働組合——木原線存続運動の実態調査より 山本補将

所 報 1986年3月

【1986年7月号 No.332】

高齢化社会研究会報告4 高齢化社会の産業構造・労働力展望——福武直・青井和夫編『高齢社会の構造と課題』へのコメントを中心として 小林謙一

論 文 現代社会問題研究の課題と方法 梅田俊英

読書ノート 加藤哲郎『国家論のルネサンス』について 五十嵐仁

文献目録 労働組合，労働争議・闘争記録所蔵目録 (10) 是枝 洋

研究所ニュース <社会・労働関係資料センター連絡協議会>の発足について

大原社会問題研究所移転・開所記念見学会と記念レセプション

所 報 1986年4月

【1986年8月号 No.333】

【特集】公務員の賃金決定問題

日本における公務員賃金決定の特徴——欧米諸国との比較において 早川征一郎

国家公務員の賃金決定過程——人事院勧告とその取り扱いの変遷（1950年代まで） 林 博男

公務員給与制度改編の特徴と問題点 松井 朗

資料1) 欧米諸国における公務員賃金法定制度（人事院資料による） 2) 人事院給与勧告の実

施状況等 3) 新・旧行政職俸給表 (一)

所 報 1986年5月

【1986年9・10月号 No.334・335】

【高齢者事業団の事例研究】 法政大学大原社会問題研究所高齢化社会研究会

【1986年11月号 No.336】

論 文 社会主義政治経済研究所について (1) 鈴木徹三
ソ連邦における人材養成と就職斡旋——労働権の保障と関連して 原 隆
産別会議研究会ヒアリング 後藤順一郎氏に聞く——戦後労働運動の始まりと東部労働組合促進会 吉田健二
書 評 塩田庄兵衛『実録60年安保闘争』 手島繁一
所 報 1986年6月
計報 (故大野喜実氏) 法政大学大原社会問題研究所

【1986年12月号 No.337】

論 文 企業別組合の組合費と財政——金属4単産37組合 岩崎 馨
55年体制下の国政選挙と同日選挙——1986年衆参同日選挙の分析・その1 五十嵐仁
社会主義政治経済研究所について (2) 鈴木徹三
研究会報告 長谷川如是閑と大山郁夫 高橋彦博
所 報 1986年7月・8月

【1987年1月号 No.338】

【特集】安全衛生に関するILO基準とその適用をめぐる

安全・健康に関するILO基準と日本の対応 嶺 学
安全衛生条約と労働安全衛生法 長峰登記夫
内部責任システムと就業拒否権——カナダ労働安全衛生法の新しいアプローチ 嶺 学
文献紹介 ILO. *Conditions of work digest* 後藤光祥
所 報 1986年9月

【1987年2月号 No.339】

論 文 戦後民主主義と地域住民——三つの視点からの断面図 平田哲男
国家公務員の賃金決定過程 (2) ——人事院勧告とその取り扱いの変遷 (1960~1962年)
林 博男
産別会議研究会ヒアリング 吉田資治氏に聞く (上) ——城東工代会議・関東労協の結成と産別再編
吉田健二
所 報 1986年10月

【1987年3月号 No.340】

論 文 産業再編と経営政策——M造船:1961~63年 上田 修
調査報告 印刷業における労働移動 工藤 正
高齢者事業団の事例研究 (続) 法政大学大原社会問題研究所高齢化社会研究会
『日本労働年鑑』の発行時期の変更につき謹告 法政大学大原社会問題研究所
産別会議研究会ヒアリング 吉田資治氏に聞く (下) ——産別会議と民同運動 吉田健二
所 報 1986年11月・12月

【1987年4月号 No.341】

論 文 戦後日本の雇用問題について——研究史整理の試み 山本 潔
産業再編と経営政策 (2) ——M造船:1961~63年 上田 修
書 評 埼玉県労働運動史研究会編『東洋時計上尾工場争議』 吉田健二

文献目録 国鉄「分割・民営化」問題文献目録(1) 山本補将

『大原社会問題研究所雑誌』1986年度総目次

所 報 1987年1月

【1987年5月号 No.342】

論 文 社会労働運動史と憲政史の接点——1930年代のある経験 高橋彦博
片山首班連立内閣の成立前後——社会主義政治経済研究所について(3) 鈴木徹三
高齢期における同別居問題の多様性とその課題——福武直／青井和夫編『高齢社会の構造と課題』
に対するコメントを通して 野田陽子
資料紹介 東京大学社会科学研究所所蔵 社会・労働関係マイクロ資料について 塚越つた子
文献目録 国鉄「分割・民営化」問題文献目録(2) 山本補将・浅見和彦
所 報 1987年2月

【1987年6月号 No.343】

【公開シンポジウム】情報化の進展と組織・仕事

報 告 シンポジウムの目的 嶺 学
情報ネットワーク化と組織の変化 小山周三
情報化の進展と卸売業の変化 鎌田東八郎
企業内情報システムと職場・仕事 八幡成美
討 論
シンポジウムのまとめ 嶺 学
参考資料 企業内情報システムと職場・仕事 八幡成美
所 報 1987年3月

【1987年7月号 No.344】

【特集】87年春闘——妥結と総括

87年春闘の特徴と総括 早川征一郎
資料1 87年春闘妥結結果／2 87年春闘総括
論 文 統一運動同盟の生成 梅田俊英
日本労働年鑑関連資料 第11回統一地方選挙の結果について(1)——首長選挙 五十嵐仁
所 報 1987年4月

【1987年8・9月号 No.345・346】

【高齢者事業団会員アンケート調査報告】 法政大学大原社会問題研究所高齢化社会研究会

所 報 1987年5月

【1987年10月号 No.347】

【特集】労働組合組織論の再検討

日本における職能的労働組合の可能性 木下武男
運輸・一般労働者組合の源流と成立(上)——合同過程と組織論を中心に 浅見和彦
高齢者事業団会員アンケート調査報告(続)
所 報 1987年6月

【1987年11月号 No.348】

【特集】続・労働組合組織論の再検討

産業別個人加盟労組運動の経験——全金品川地域支部の事例 長谷川義和
運輸・一般労働者組合の源流と成立(下)——合同過程と組織論を中心に 浅見和彦
文献目録 労働組合組織に関する文献目録 佐藤博樹・平井陽一・五十嵐仁
論 文 SAFETY AND HEALTH IN JAPAN (1) ——ADMINISTRATION AND WORKER PARTICIPATION

Manabu MINE
所 報 1987年7月

【1987年12月号 No.349】

論 文 日中戦争期の労働者 荒川章二
SAFETY AND HEALTH IN JAPAN (2) —ADMINISTRATION AND WORKER PARTICIPATION
Manabu MINE

日本労働年鑑関連資料 第11回統一地方選挙の結果について (2) —各級議会議員選挙 五十嵐仁

書 評 桜井絹江著『母性保護運動史』 白崎淳一郎

所 報 1987年8月

<労働資料協>第2回懇談会について

【1988年1月号 No.350】

論 文 企業間競争と<職場社会> (1) —M造船N造船所:1962~63年 上田 修
総評の「平和経済」運動—1953~54年 佐伯哲朗

産別会議研究会ヒアリング 山崎良一氏に聞く (1) —三菱重工下丸子労組の結成と活動 吉田健二

労働関係調査資料の紹介 (1) 企業グループ内労働力移動の現状 佐藤博樹

所 報 1987年9月

【1988年2月号 No.351】

【特集】労働争議の研究

労働争議史研究の方法について 山本 潔

東洋時計上尾工場争議の経過と問題点 池田 信

労働運動史文献目録 1983年 (1) 是枝洋・小島英恵

書 評 ヒラリー・ウェインライト/デイヴ・エリオット共著, 田窪雅文訳『ルーカス・プラン—
「もう1つの社会」への労働者戦略』 平井陽一

労働関係調査資料の紹介 (2) <組合戦略>とユニオン・リーダー 佐藤博樹

所 報 1987年10月

【1988年3月号 No.352】

【国際労働シンポジウム】ILOと技術協力—日本はどう関わるのか

報 告 シンポジウムの趣旨 嶺 学

日本の対外協力—わが国ODAの特徴とODAをめぐる若干の論点 絵所秀紀

日本の技術協力—労働分野を中心に 梅谷俊一郎

ILOの技術協力 岩田照良

労働分野における日本の技術協力 松原亘子

コメント 平島成望・山田陽一・鈴木俊男・西牧隆壮

討論における諸論点

シンポジウムを終えて ILOの技術協力との関わり 嶺 学

参考資料 ILOと技術協力—1987年ILO総会討議について 嶺 学

書 評 『事典・日本労働組合運動史』 佐伯哲朗

労働関係調査資料の紹介 (3) 女性の就業行動と就業意識 佐藤博樹

所 報 1987年11月

【1988年4月号 No.353】

【特集】戦間期のヨーロッパ労働運動

ドイツ革命期における経営協議会と労働組合—ベルリン金属工の場合 相馬保夫

フランス社会党におけるプランニスムとプラン論争—1933~34年 佐伯哲朗

労働運動史文献目録 1983年 (2) 是枝洋・小島英恵

書 評 小越洋之助著『日本最低賃金制史研究』 相沢與一
労働関係調査資料の紹介(4) 働く人びとの職業意識の変化 佐藤博樹
『大原社会問題研究所雑誌』1987年度総目次
所 報 1987年12月

【1988年5月号 No.354】

論 文 社会-技術システム論による組織デザインの方法について 近藤隆雄
企業間競争と〈職場社会〉(2)——M造船N造船所：1962～63年 上田 修
産別会議研究会ヒアリング 山崎良一氏に聞く(2)——三菱重工下丸子労組の結成と活動 吉田健二
文献目録 労働運動史文献目録 1983年(3) 是枝洋・小島英恵
書 評 渡辺治著『現代日本の支配構造分析』 梅田俊英
労働関係調査資料の紹介(5) 学生アルバイトの就業実態と就業意識 佐藤博樹
所 報 1988年1月

【1988年6月号 No.355】

論 文 中小工業不振と労働運動——川口鋳物業労働運動の場合 池田 信
フィリピンの工業化と労資関係——輸出加工区の分析を中心に 小林英夫
アジアの女子労働問題 塩沢美代子
産別会議研究会ヒアリング 山崎良一氏に聞く(3)——三菱重工下丸子労組の結成と活動 吉田健二
日本労働年鑑関連資料 売上税粉砕闘争・国家秘密法反対運動の記録——社会運動詳細日誌 手島繁一
労働関係調査資料の紹介(6) 海外現地生産の国内雇用への影響 佐藤博樹
書 評 草間八十雄著・磯村英一監修・安岡憲彦解説『近代下層民衆生活誌』(全3巻) 荒川章二
所 報 1988年2月

【1988年7月号 No.356】

【特集】地方社会運動史・労働運動史研究の現状(その1)——自治体史を中心として
特集にあたって 荒川章二
地方労働運動史研究の現状(1) 荒川章二
地方農民運動史研究の現状(1) 横関 至
地方無産政党運動史研究の現状(1) 大野節子
地方社会運動史研究の現状(1) 梅田俊英
本特集で対象とされている都道府県史一覧(1) 古谷暢子
書 評 ズザンヌ・ミラー著『戦後ドイツ社会民主党史』, トマス・マイヤー著『ドイツ社会民主主義入門』
相馬保夫
労働関係調査資料の紹介(7) <使用者の利益を代表しない管理職・専門職>の組織化 佐藤博樹
所 報 1988年3月

【1988年8月号 No.357】

論 文 シルバー人材センターへの地域ニーズとその要因——横浜市のアンケート調査を中心として
小林謙一
片山内閣の崩壊と芦田首班連立内閣——社会主義政治経済研究所について(4・完) 鈴木徹三
企業間競争と〈職場社会〉(3)——M造船N造船所：1962～63年 上田 修
日本労働年鑑関連資料 『連合』活動日誌(1987.11～88.4) 五十嵐仁
書 評 大野達三・矢吹紀人・中井安治編『夜明けの旗——梨木作次郎物語』 吉田健二
所 報 1988年4月

【1988年9月号 No.358】

【特集】88年春闘——経過と総括
88年春闘と「連合」 早川征一郎

資料1 春闘妥結結果／2 春闘総括

日本労働年鑑関連資料 春闘日誌 浅見和彦
研究会報告 <ゆとり>ある企業 QWL研究会
労働関係調査資料の紹介(8) 情報サービス産業における労働時間問題 佐藤博樹
産別会議研究会ヒアリング 山崎良一氏に聞く(4・完)——三菱重工下丸子労組の結成と活動 吉田健二
所 報 1988年5月

【1988年10月号 No.359】

論 文 民間大企業における労働組合運動の転換——O製紙第一組合の崩壊 竹田 誠
総評の「平和経済プラン」と「平和経済」運動 佐伯哲朗
企業間競争と<職場社会>(4・完)——M造船N造船所：1962～63年 上田 修
調査報告 マクタン輸出加工区(フィリピン)の労資関係 小林英夫
労働関係調査資料の紹介(9) 建設労働者の雇用管理上の課題 佐藤博樹
書 評 佐々木一郎・野原光・元島邦夫『働きすぎ社会の人間学』 平井陽一
70年こぼれ話(1) 大原孫三郎が出した金 二村一夫
法政大学大原社会問題研究所1987年度事業報告
所 報 1988年6月

【1988年11月号 No.360】

論 文 明治前期海軍工廠における労働者統合原理の変遷——定雇職工制の変遷と徴兵制の動向
若林幸男
陸羯南におけるナショナリズムと社会主義 梅田俊英
書 評 戸塚秀夫・兵藤釗・菊地光造・石田光男著『現代イギリスの労使関係——自動車・鉄鋼産業の事例研究』(上・下) 仁田道夫
山本繁『大正デモクラシーと香川の農民運動』 横関 至
70年こぼれ話(2) 大原孫三郎と河上肇 二村一夫
労働関係調査資料の紹介(10) 外資系企業における人事管理・労使関係の特徴 佐藤博樹
産別会議研究会ヒアリング 石村海三氏に聞く(上)——労働組合促進会のオルグ活動と城南労協の結成
吉田健二
所 報 1988年7月

【1988年12月号 No.361】

論 文 総評の炭鉱社会化プログラム——対案構想のあり方をめぐって 平井陽一
産別会議の成立過程(3) 吉田健二
家族の危機とその現代的意味 浅野富美枝
70年こぼれ話(3) 大原孫三郎と河上肇(2) 二村一夫
労働関係調査資料の紹介(11) 小規模企業と従業員福祉 佐藤博樹
産別会議研究会ヒアリング 石村海三氏に聞く(下)——労働組合促進会のオルグ活動と城南労協の結成
吉田健二
文献目録 松川運動史資料文献目録補遺 犬丸義一
資料目録 60年安保闘争6・15事件 国家賠償請求訴訟資料目録——「福井資料」として 川崎忠文
書 評 Jack Jones, "Union Man: the Autobiography of Jack Jones." 浅見和彦
所 報 1988年8月

【1989年1月号 No.362】

【特集】地方社会運動史・労働運動史研究の現状——自治体史を中心として(その2=中部・近畿地方)
特集にあたって 梅田俊英
地方労働運動史研究の現状(2) 荒川章二
地方農民運動史研究の現状(2) 横関 至

地方無産政党運動史研究の現状 (2) 大野節子
地方社会運動史研究の現状 (2) 梅田俊英
本特集で対象とされている都道府県史一覧 (2) 古谷暢子

産別会議研究会ヒアリング 中原淳吉氏に聞く (1) —— 経済復興会議の組織と運動 吉田健二
70年こぼれ話 (4) 研究員第1号 二村一夫
所 報 1988年9月

【1989年2・3月号 No.363・364】

【創立70周年・合併40周年記念特集】大原社会問題研究所の歴史と現状

創立70周年・合併40周年記念特集に際して
大原社会問題研究所の70年 二村一夫
大原社会問題研究所70年の歩み
座談会《政経ビル時代の思い出》—— 戦後初期の大原社研 上杉捨彦・舟橋尚道・浅原巖人・石島忠・中林 (旧姓松本) 倭子・森下 (旧姓田中) みつ子・田沼肇・二村一夫・五十嵐仁・谷口朗子
所蔵図書・資料
文献目録
現況

所 報 1988年10月
所 報 1988年11月

【1989年4月号 No.365】

【国際労働問題シンポジウム】職場における安全と健康——ILOと日本

特集にあたって 嶺 学
報 告 ILOと安全衛生問題
ILOと安全衛生 後藤光祥
安全衛生に関するILO基準と日本の対応 嶺 学
日本の安全衛生政策 北山宏幸
日本における安全衛生と政策 鷺谷 徹
コメン ト 建設業の新しい安全衛生基準
行政の立場から 北山宏幸
労働組合の立場から 柴田親宏
使用者の立場から 加来利一
質疑応答・討論
参考資料 建設業における安全と健康
1 安全衛生政策に関するILO条約と勧告 後藤光祥
2 建設業における安全と健康に関する条約・勧告の概要 嶺 学
3 建設業の安全と健康に関する条約・勧告成立の経過と問題点 嶺 学
4 建設業における安全と健康に関する労働省の対策 嶺 学
5 建設業労働災害防止協会の概要 加来利一
6 建設業関係労働組合の安全衛生対策

研究会報告 QWL研究の課題をめぐって QWL研究会
アメリカの労使関係とQWL QWL研究会

所 報 1988年12月

【1989年5月号 No.366】

論 文 企業内労働市場の変化と終身雇用慣行——雇用保障とキャリア形成をめぐって 佐藤 厚
近代主義的労務政策の挫折と現代日本型経営者の登場——O製紙争議に現れた経営者類型 竹田 誠
ドイツ11月革命における炭鉱社会化問題——所有問題についての社会化委員会の態度を中心に
小林 勝

産別会議研究会ヒアリング 中原淳吉氏に聞く (2) —— 経済復興会議の組織と運動 吉田健二
労働関係調査資料の紹介 (12) 技術研修生の受け入れの現状と課題 佐藤博樹
70年こぼれ話 (5) 後藤貞治のこと 二村一夫
『大原社会問題研究所雑誌』1988年度総目次
所 報 1989年1月

【1989年6月号 No.367】

論 文 QUALITY OF WORKING LIFE UNDER RESTRUCTURING OF ENTERPRISES Manabu MINE
1920年代後半における地方政治と農民運動——農民運動先進地香川県を事例として 横関 至
1949年の行政整理・企業整備におけるレッド・パージの方針と実態 平田哲男
産別会議研究会ヒアリング 中原淳吉氏に聞く (3) —— 経済復興会議の組織と運動 吉田健二
紹 介 松本衛士氏と長野県社会運動史研究——『長野県初期社会主義運動史』『長野県上小地方農民運動
史』『治安維持法と長野県』 大野節子
70年こぼれ話 (6) 柏木の土蔵 二村一夫
労働関係調査資料の紹介 (13) 老後の所得保障と生活保障 佐藤博樹
所 報 1989年2月

【1989年7月号 No.368】

【特集】外国人労働者問題

論 文 日本における外国人労働者問題の現状と行政の対応 森 廣正
ガストアルバイター時代の終焉 佐藤 忍
研究会報告 外国人労働者問題の今後 手塚和彰
日本における外国人労働者問題に関する文献目録 佐伯哲朗
書 評 手塚和彰『外国人労働者』・毎日新聞東京本社社会部編『じばんぐ——日本を目指す外国人労働
者』 佐伯哲朗
産別会議研究会ヒアリング 杉浦正男氏に聞く (1) —— 印刷出版労組結成と活動 吉田健二
労働関係調査資料の紹介 (14) 一般労働者派遣事業の実態 佐藤博樹
日本労働年鑑関連資料 天皇問題をめぐる社会運動の動向〔社会運動詳細日誌〕 手島繁一
70年こぼれ話 (7) 荒畑寒村の見た大原社研開所式 二村一夫
所 報 1989年3月

【1989年8月号 No.369】

【特集】地方社会運動史・労働運動史研究の現状——自治体史を中心として (その3=近畿・中国地方)

特集にあたって 梅田俊英
地方労働運動史研究の現状 (3) 荒川章二
地方農民運動史研究の現状 (3) 横関 至
地方無産政党運動史研究の現状 (3) 大野節子
地方社会運動史研究の現状 (3) 梅田俊英
本特集で対象とされている都道府県史一覧 (3) 古谷暢子
産別会議研究会ヒアリング 杉浦正男氏に聞く (2) —— 印刷出版労組の結成と活動 吉田健二
書 評 小松隆二『大正自由人物語——望月桂とその周辺』 羽田博昭
所 報 1989年4月

【1989年9月号 No.370】

【特集】転機を迎える日本労働運動

論 文 日本労働運動の課題 舟橋尚道
転換期の日本労働組合運動 栗田 健
89年春闘の特徴と問題点——春闘史の中でのその位置づけ 早川征一郎
「官民統一」問題の経過と現状 五十嵐仁

研究会報告	「連合」結成の経緯と展望——政党とのかかわりを中心に	板垣 保
日本労働年鑑関連資料	89春闘日誌	浅見和彦
	『連合』活動日誌(1988.5～12)	浅見和彦
研究会報告	技術革新とヒューマンネットワーク型組織	QWL研究会
	組織構造のメンバーへの影響	QWL研究会
	派遣労働者の仕事と意識	QWL研究会
書 評	二村一夫『足尾暴動の史的分析——鉱山労働者の社会史』	村串仁三郎
紹 介	浜野清『栃木県農民運動史』	横関 至
所 報	1989年5月	

【1989年10月号 No.371】

【特集】建設労働組合史論

	特集にあたって	木下武男
	戦後初期組織化過程における運動と諸潮流	木下武男
	建設労働組合運動の確立過程とその特質	浅見和彦
	建設労働組合運動と社会保障闘争	手島繁一
	建設労働組合の80年代「飛躍」の要因	木下武男
産別会議研究会ヒアリング	杉浦正男氏に聞く(3)——印刷出版労組の結成と活動	吉田健二
書 評	伍賀一道著『現代資本主義と不安定就業問題』	椎名 恒
	佐野稔著『日本労働組合論』	平井陽一
所 報	1989年6月	

【1989年11月号 No.372】

論 文	日本的労使関係の社会的基盤	光岡博美
	米騒動後の知識人の動向——地方思想団体と新人会支部	梅田俊英
	満州事変期の労働者統合——軍事救護問題について	山本和重
建設労働組合史論(2)	戦前建設労働者運動史論	田川 実
書評と紹介	三輪泰史『日本ファシズムと労働運動』	塩田咲子
	南部金属労働運動研究会編纂委員会・品川地域支部運動史編集委員会『地域支部がめざした労働組合運動』・南部金属労働運動研究会『東京南部金属労働運動史・資料編1』『東京南部金属労働運動史資料第2号』	浅見和彦
70年こぼれ話(8)	月島調査と大原社研	二村一夫
労働関係調査資料の紹介(15)	小規模商店における労働時間問題	佐藤博樹
法政大学大原社会問題研究所1988年度事業報告		
所 報	1989年7月	

【1989年12月号 No.373】

【特集】西欧の外国人労働者問題

	外国人労働者と労働組合——西ドイツ・金属産業労働組合第2回外国人労働者大会を手がかりとして	森 廣正
	現下の西ドイツにおける異邦人をめぐる問題状況(上)——西ドイツは移民受け入れ国か?	山本健児
	フランスの外国人労働者の動向	林 瑞枝
	イギリスの移民労働者問題と政策状況——多民族社会の形成に向けて	小林謙一・阿部誠
	外国人労働者問題文献目録(2)	佐伯哲朗
産別会議研究会ヒアリング	杉浦正男氏に聞く(4)——印刷出版労組の結成と活動	吉田健二
書 評	野原光・藤田栄史編『自動車産業と労働者』	上井喜彦
	竹中恵美子『戦後女子労働史論』	荒又重雄
労働関係調査資料の紹介(16)	小規模商業の経営多角化	佐藤博樹

所 報 1989年8月

【1990年1月号 No.374】

論 文 国際運輸労組連盟の便宜置籍船排除活動——ILO勧告・107号, 108号の成立をめぐって 佐藤知子
高度成長期初期の労働運動の原動力と限界——O製紙争議 (1957~60年) の実証研究 竹田 誠
現下の西ドイツにおける異邦人をめぐる問題状況 (下) ——西ドイツは移民受け入れ国か?
山本健児

新連載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』の紹介にあたって 村田陽一
ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』 村田陽一訳

産別会議研究会ヒアリング 杉浦正男氏に聞く (完) ——印刷出版労組の結成と活動 吉田健二

書 評 中山章著『イギリス労働貴族——19世紀におけるその階層形成』 松村高夫
岡本宏著『日本社会主義史研究』 梅田俊英

所 報 1989年9月

【1990年2月号 No.375】

【特集】地方社会運動史・労働運動史研究の現状——自治体史を中心として (その4=四国地方, 九州・沖縄地方)

特集にあたって 梅田俊英
地方労働運動史研究の現状 (4) 荒川章二
地方農民運動史研究の現状 (4) 横関 至
地方無産政党運動史研究の現状 (4) 大野節子
地方社会運動史研究の現状 (4) 梅田俊英
本特集で対象とされている都道府県史一覧 (4) 古谷暢子

シリーズ社会調査① 現場で働く建設業従事者のライフスタイルと健康 朝倉隆司

連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』 (2) 村田陽一訳

書評と紹介 田坂敏雄編著『東南アジアの開発と労働者形成』 小林英夫
藤井昭三著『(連合) の誕生——新時代への労働組合の課題』 五十嵐仁
片岡徳雄・喜多村和之編『大学授業の研究』 佐伯哲朗

所 報 1989年10月

【1990年3月号 No.376】

【国際労働問題シンポジウム】外国人労働者問題とILO——ILO条約・勧告の示唆するもの

特集にあたって 嶺 学

報 告 外国人労働者に関するILO条約・勧告 鈴木宏昌
保護と均等待遇をめぐって 高藤 昭
外国人労働者問題に関する最近の行政の動向 嶺 学
中長期を視野に入れた体系的対応を——人権と連帯をふまえて 井上定彦
外国人労働力問題=日経連の考え方 成瀬健生

質疑応答・討論

寄 稿 外国人労働者問題を考える 吉免光顕

参考資料 I 条約と勧告の概要 嶺 学

II 条約・勧告の特色および日本との関連 嶺 学

III 外国人労働者問題に関する当面の見解 日本労働組合総評議会

創立70周年記念国際シンポジウム「外国人労働者問題と労働組合」

傍聴記 ミュラー報告に学ぶ 萩原 進

外国人労働者問題は労働組合の主要な課題 石井菊枝

連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』 (3) 村田陽一訳

書評と紹介 篠田徹著『世紀末の労働運動』 手島繁一

鎌田慧著『反骨——鈴木東民の生涯』 吉田健二

70年こぼれ話 (9) 宇野弘蔵と浅草調査 二村一夫

所 報 1989年11月

【1990年4月号 No.377】

- 論 文 大企業におけるキャリア開発の実情・問題・課題 小山田英一
イギリス失業保険の原像——1909年の商務省失業保険プランを中心に 藤井 透
- 特集 地方社会運動史・労働運動史研究の現状 地方労働運動史研究の現状 (5) 荒川章二
- 日本労働年鑑関連資料 『連合』活動日誌 (1989年1月～4月) 浅見和彦
- 連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』(4) 村田陽一訳
- シリーズ社会調査② 出向等の調査研究 金子和夫
- 書評と紹介 高橋祐吉著『企業社会と労働組合』 高木督夫
石川県社会運動史刊行会編『石川県社会運動史』 大野節子

『大原社会問題研究所雑誌』1989年度総目次

所 報 1989年12月

【1990年5月号 No.378】

【特集】西欧社会・労働運動史の研究

- 農村の社会主義・都市の社会主義 (フランス: 1890 - 1914) —— フランス労働運動史地域研究の
最近の動向 相良匡俊
- ナチスの農村労働者政策 (1930～32年) —— シュトラッサー派とダレー派の角逐 伊集院立
- 産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く (1) —— 戦後革命と人民社 吉田健二
- 書誌研究 個人文庫の冊子目録を検討する 若杉隆志
- 『日本労働年鑑』関連資料 『連合』活動日誌 (1989年5月～12月) 浅見和彦
- 連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』(5) 村田陽一訳
- シリーズ社会調査③ 中高年職業ドライバーの就労実態に関する調査 森 隆男
- 研究会報告 労務管理と人事制度 QWL研究会
- 書評と紹介 氏原正治郎『日本の労使関係と労働政策』, 同『日本経済と雇用政策』を読んで 舟橋尚道
野坂参三『風雪のあゆみ』(1)～(8) 塩田庄兵衛

所 報 1990年1月

【1990年6・7月号 No.379・380】

【法政大学大原社会問題研究所創立70周年記念国際シンポジウム】外国人労働者問題と労働組合

- 特集にあたって 二村一夫
シンポジウムの主旨と問題提起 舟橋尚道
- [第1日] 第Ⅰ部: 西ヨーロッパ労働運動の経験
- 報 告 西ヨーロッパにおける外国人労働者と労働組合 S. キャッスルズ
外国人労働者と西ドイツ労働組合 S. ミュラー
フランスの外国人労働者と労働組合 M. トリピエ/C. ドゥ・ヴェンデン
キャッスルズ報告へのコメント イギリスと日本における外国人労働者問題 小林謙一
ミュラー報告へのコメント IGメタルの外国人労働者政策の特色と動向 中村賢二郎
ドゥ・ヴェンデン報告へのコメント フランスの移民労働者問題から学ぶべきこと 長部重康
- 質疑応答と討論
- [第2日] 第Ⅱ部: 日本の現状と労働運動の課題
- 報 告 日本における外国人労働者問題の現状 森 廣正
「連合」の外国人労働者問題に対する考え方 加藤敏幸
全建総連の外国人労働者政策 加藤忠由
- 報告へのコメント 労働法学者から見た外国人労働者問題 金子征史
社会問題としての外国人労働者問題 内海愛子
- 質疑応答と討論
- 資 料 報告関連資料

外国人労働者問題についての労働組合の方針

- 産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く(2)——戦後革命と人民社 吉田健二
連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』(6) 村田陽一訳
書評と紹介 岡本秀昭編著『国際化と労使関係——日本型モデルの含意』 亀山直幸
長原豊著『天皇制国家と農民——合意形成の組織論』 横関 至
前川雅夫編『炭坑誌 長崎県石炭史年表』 梅田俊英

70年こぼれ話(10) 権田保之助のこと 二村一夫

所 報 1990年2月

所 報 1990年3月

【1990年8月号 No.381】

【特集】働きがいと労使の対応：労働の人間化(QWL)をめぐる諸問題

- 論 文 米国自動車産業のQWL 公文 溥
L. E. デイビスの職務設計論の基礎 庄村 長
調査報告 革新的組織と自己実現 QWL研究会
日本における「ヒューマンリソース・マネジメント」の課題と展望 村上良三
文献解題 労働の人間化(QWL)に関する諸文献 QWL研究会
資 料 電機労連技術者憲章

- 産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く(3)——戦後革命と人民社 吉田健二
連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』(7) 村田陽一訳
書評と紹介 戸塚秀夫／中村圭介／梅澤隆著『日本のソフトウェア産業——経営と技術者』 八幡成美
総評政策局編『戦後労働運動の到達点——総評労働運動の軌跡と役割』 早川征一郎

70年こぼれ話(11) 権田と櫛田——明治の社会主義青年 二村一夫

所 報 1990年4月

【1990年9月号 No.382】

- 調査報告 ユニオン・リーダー調査についての中間報告 ユニオン・リーダー研究会
論 文 中高年事業団の現状と課題——労働者協同組合の展望 町田隆男
社会変動と高齢者問題の位置——日韓社会の比較考察 金 海雲
産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く(4)——戦後革命と人民社 吉田健二
シリーズ社会調査④ ソフトウェア労働と中高齢者——中高齢者のSE・プログラマーへの職種転換の事例
尾形隆彰
書評と紹介 赤岡功著『作業組織再編成の新理論』 庄村 長
熊沢誠著『日本的経営の明暗』 平井陽一
所 報 1990年5月

【1990年10月号 No.383】

- 論 文 オーストラリアにおける職場労働組織の再編 長峰登記夫
アメリカ共産党の労働組合運動路線の転換(1) 野口英雄
大正デモクラシー期の左翼出版界 梅田俊英
産別会議研究会ヒアリング 佐和慶太郎氏に聞く(5・完)——戦後革命と人民社 吉田健二
連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』(8) 村田陽一訳
書評と紹介 西村豁通著『現代社会政策の基本問題』 高田一夫
全日本民間労働組合連合会『連合「組織方針」作成に向けた中間報告・産業別組織の機能の現状
調査報告書』 浅見和彦
法政大学大原社会問題研究所1989年度事業報告
所 報 1990年6月

【1990年11月号 No.384】

【特集】労働戦線の再編

- 労働戦線再編下の90年春闘 早川征一郎
 「連合」の運動と組織 浅見和彦
 全労連の組織と運動 佐伯哲朗
 全労協の組織と運動 五十嵐仁
- 研究会報告 「連合」体制下の組織構想について 篠田 徹
 日本労働年鑑関連資料 「連合」活動日誌（1990年1月～6月） 浅見和彦
 書評と紹介 乾彰夫著『日本の教育と企業社会』 元島邦夫
 文献紹介「東欧革命」をめぐる 佐伯哲朗
- 所 報 1990年7月

【1990年12月号 No.385】

- 論 文 日本における農民の時間と工場の時間 T. C. スミス 高田洋子・高田一夫訳
 アメリカ共産党の労働組合運動路線の転換（2） 野口英雄
- 海外通信 西ドイツの住宅事情 森 廣正
- 産別会議研究会ヒアリング 小林栄一郎氏に聞く（1）——日特管労組の活動と城北労協の結成 吉田健二
 連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』（9） 村田陽一訳
 シリーズ社会調査（5） 女子情報処理技術者の就労実態——SE・プログラマーを中心として 上林千恵子
 書評と紹介 国武輝久著『カナダの労使関係と法』 秋田成就
 萩野喜弘編著『戦前期筑豊炭鉱業の経営と労働』 相沢一正
- 所 報 1990年8月

【1991年1月号 No.386】

- 論 文 IN SEARCH OF HUMANIZATION OF WORK—a new subject of industrial relations in Japan
 Manabu MINE
 革命的サンジカリズムの台頭と衰退 M. ヴァン・デア・リンデン/W. ソープ, 浅見和彦/
 五十嵐仁訳
 ドイツ社会民主党・議会主義・世論——バイエルン邦予算案賛同問題をめぐって 鍋谷郁太郎
- 産別会議研究会ヒアリング 小林栄一郎氏に聞く（2）——日特管労組の活動と城北労協の結成 吉田健二
 シリーズ社会調査⑥ 地域振興から「山村の社会学」へ——ある山間部の町づくりから 宮沢尚史
 書評と紹介 手塚和彰著『労働力移動の時代』 鈴木宏昌
 戸木田嘉久著『現代資本主義とME化』 鷺谷 徹
 K. V. ウォルフレン『日本／権力構造の謎』上・下 五十嵐仁
- 所 報 1990年9月

【1991年2月号 No.387】

- 論 文 大正デモクラシー期における鳥根の地域ジャーナリズムと社会運動 梅田俊英
 戦後初期の社会党・共産党と戦前農民運動——香川県を事例として 横関 至
 ドイツ11月革命と社会化問題（1）——ベルリン労兵執行評議会の社会化問題に対する態度
 小林 勝
- 産別会議研究会ヒアリング 小林栄一郎氏に聞く（3）——日特管労組の活動と城北労協の結成 吉田健二
 連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』（10） 村田陽一訳
 シリーズ社会調査⑦ 大都市勤労者の労働生活の質と健康——帰途行動と健康習慣——“飲みに行く”行動
 実態を中心に 近藤美智子
- 書評と紹介 下田平裕身他著『労働調査論——フィールドから学ぶ』 江口英一
 R. ビーン編著／伊藤陽一他訳『国際労働統計——手引きと最近の傾向』 二村一夫
- 所 報 1990年10月

【1991年3月号 No.388】

【国際労働問題シンポジウム】女子労働者と夜間労働——ILOと日本

特集にあたって 嶺 学

女子労働者に関するILO条約・勧告 木村愛子

女子労働者と夜間労働——労働基準法との関係 山本吉人

ILO総会における審議をめぐって 椎谷 正

夜業についての労働組合側の見解 高島順子

夜業についての使用者側の見解 荒川 春

質疑応答

参考資料①夜業(女子)条約(改訂)の1990年議定書の概要／②夜業条約の概要／③夜業勧告の概要

解説 女子労働者と夜間労働——ILO基準の展開と日本における問題点 嶺 学

論 文 ドイツ11月革命と社会化問題(2)——ベルリン労兵執行評議会の社会化問題に対する態度
小林 勝

連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』(11) 村田陽一訳

シリーズ社会調査⑧ 老人ホームにおける福祉マンパワーの能力開発 下山昭夫

書評と紹介 江口英一編『日本社会調査の水脈——そのパイオニアたちを求めて』 徳永重良

鈴木徹三著『片山内閣と鈴木茂三郎』 吉田健二

所 報 1990年11月

【1991年4月号 No.389】

【特集】外国人労働者問題：送り出し国の場合

アジアにおける国際労働力移動——送出国概観 佐々木聖子

パキスタンの海外労働移動 深町宏樹

中国の労働力輸出 丸川知雄

外国人労働者問題文献目録(3) 佐伯哲朗

海外通信 ヨーロッパの移住労働者の会議に参加して 森 廣正

産別会議研究会ヒアリング 辻英太・永田明子両氏に聞く(上)——敗戦直後の日本共産党のオルグ活動
吉田健二

書評と紹介 Rashid Amjad (ed.), "To the Gulf and Back: Studies on the Economic Impact of Asian Labour
Migration" 石井知章

江橋崇編『外国人労働者と人権』 尾崎和代

児玉勝子『十六年の春秋——婦選獲得同盟の歩み』 大野節子

所 報 1990年12月

【1991年5月号 No.390】

論 文 ユニオンリーダーの意識とキャリア形成に関する研究 岩崎 馨

イギリス炭鉱ストにみる警備・弾圧態勢(1984-85年)——ナショナル・リポーター・セン
ターの活動を中心として 松村高夫

資料紹介 イギリス庶民の記録運動資料 [Mass-Observation Archive] について 早川紀代

海外通信 シンポジウム「多元文化社会への展望」に出席して 森 廣正

『日本労働年鑑』関連資料 『連合』活動日誌(1990年7月~12月) 浅見和彦

連 載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』(12) 村田陽一訳

シリーズ社会調査⑨ 障害労働者の高齢化問題 森 隆男

書評と紹介 岡本秀昭著『経営と労働者』 中條 毅

徳永重良／杉本典之編『FAからCIMへ』 熊沢 誠

南佐久農民運動史刊行会編『南佐久農民運動史(戦後編)』 大野節子

『大原社会問題研究所雑誌』1990年度総目次

新連載 労働関係文献目録(含む分類表) 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1991年1月

【1991年6月号 No.391】

【特集】戦間期ヨーロッパの労働者文化

- 論文 ヴァイマル共和国の労働者文化——研究の現状 相馬保夫
研究動向 「最暗黒のウィーン」から「赤いウィーン」へ——都市下層の住 小沢弘明
読書ノート 余暇の組織化の政治学——デ・グラツィア『柔らかいファシズム』によせて 井上茂子
海外通信 ドイツ「多元文化問題対策事業部」を訪ねて 森 廣正
連載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』（13） 村田陽一訳
書評と紹介 日本ILO協会編『海外からみた日本の労働像——主要12か国の調査結果』 竹内 剛
西田美昭・森武磨・栗原み編著『栗原百寿農業理論の射程』 横関 至
労働関係文献月録（含む収録誌名一覧） 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1991年2月

【1991年7月号 No.392】

- 論文 日本における労働者間競争の性格 光岡博美
日本企業における社会的統合のメカニズム ヨアヒム・ベルクマン／佐藤忍訳
朝鮮総督府の社会事業——韓国社会政策前史 金 早雪
産別会議研究会ヒアリング 辻英太・永田明子両氏に聞く（下）——敗戦直後の日本共産党のオルグ活動
吉田健二
連載 ヴァレンチーン・シテインベルク著『カール・ヤンソン伝』（14・完） 村田陽一訳
シリーズ社会調査⑩ 営業職の時間管理 平井陽一
書評と紹介 多田吉三著『日本家計研究史』 伊藤セツ
渡辺治著『「豊かな社会」日本の構造』 高橋祐吉
大沢正道著『土民の思想——大衆の中のアナキズム』 梅田俊英
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1991年3月

【1991年8月号 No.393】

- 調査報告 現代日本のユニオンリーダー——ユニオンリーダー調査の総計とナショナルセンター間の比較
ユニオンリーダー研究会
論文 アメリカにおける労働史研究の最近の動向について アンドリュー・ゴードン
1905年ベテルブルク労働運動研究の成果と課題——Gerald D. Surhの近著に寄せて 土屋好古
山川均の「民主革命」論と民主人民連盟 洪 仁淑
書評と紹介 鈴木宏昌著『国際化時代の労働問題』 梅谷俊一郎
D. M. ゴードン・R. エドワーズ・M. ライク著、河村哲二・伊藤誠訳『アメリカ資本主義と労働
——蓄積の社会的構造』 富沢賢治
高橋祐吉著『企業社会と労働者』 早川征一郎
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1991年4月

【1991年9月号 No.394】

【特集】現代日本における労働者協同組合運動

- 特集にあたって 内山哲朗
論文 労働者協同組合運動の国際的動向 中川雄一郎
中高年雇用・福祉事業団の労働者協同組合運動 富沢賢治
ワーカーズ・コレクティブ運動の問題提起 柳沢敏勝
労働組合の自主経営闘争——自交総連大分地連の事例研究 内山哲朗
労働者協同組合関係文献目録
学会動向 日本の労働管理はどこが問題なのか——社会政策学会第82回大会を振り返って 高田一夫
シリーズ社会調査⑪ Uターン雇用の実情と問題 尾形隆彰

書評と紹介 社会政策学会年報第34集『日本の企業と外国人労働者』 依光正哲
S. E. Marsland, *The Birth of the Japanese Labor Movement; Takano Fusataro and the Rodo Kumiai Kiseikai* 二村一夫
亀崎俊雄編『諸外国の港湾労働協約』 浅見和彦
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1991年5月

【1991年10月号 No.395】

【特集】高齢者雇用と生活問題の現状

論 文 高齢者雇用問題の新展開 高田一夫
高齢者の能力再開発について——最近の事例を中心に 下田健人
高齢者の生活時間・社会参加と定年退職後の地域・家庭生活 奥山正司
定年制・中高年労働問題文献目録 法政大学大原社会問題研究所
戦後社会運動研究会ヒアリング 『民主評論』と有賀新(上)——大島慶一郎氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 戸塚秀夫・兵藤釗編著『労使関係の転換と選択』 藤田栄史
原輝史編『科学的管理法の導入と展開——その歴史的国際比較』 長谷川義和
宮島喬・梶田孝道編『統合と分化のなかのヨーロッパ』 佐伯哲朗
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1991年6月

【1991年11月号 No.396】

【特集】『民報』『東京民報』復刻記念特集

座談会 『民報』とその時代 新井直之・内川芳美・袖井林二郎・高橋彦博・吉田健二
戦後社会運動研究会ヒアリング 『民報』の創刊とその論説(上)——長島又男氏に聞く 吉田健二
年 表 『民報』『東京民報』の3年 吉田健二
シリーズ社会調査⑫ サービス産業における深夜労働の労働衛生 朝倉隆司
読書ノート もう一つのUIなのか——労働問題実践シリーズ編集委員会編『労働組合を創る』『組合運動の新展開』(労働問題実践シリーズ5・6:大月書店刊)を読んで 篠田 徹
書評と紹介 炭礦の社会史研究会編『聞きがたり 茨城の炭礦に生きた人たち』・村上安正著『足尾に生きたひとびと』 村田 淳
過労死弁護団全国連絡会議編『KAROSHI [過労死]』 五十嵐仁
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1991年7月

【1991年12月号 No.397】

論 文 スウェーデンにおける職場ストレスの研究と公的政策 嶺 学
1951-52年朝鮮紡織争議(1)——現代韓国労使関係のスタートライン 中尾美知子
春闘の展開と変貌——春闘史と連合春闘 早川征一郎
戦後社会運動研究会ヒアリング 『民主評論』と有賀新(下)——大島慶一郎氏に聞く 吉田健二
シリーズ社会調査⑬ 百貨店女子従業員の就業実態と意識 金子和夫
書評と紹介 労働争議史研究会編『日本の労働争議(1945~80年)』 兵藤 釗
渡辺雅男著『技術と労働過程論』 増田壽男
吉田和夫・奥林康司編著『現代の労務管理』 高木督夫
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1991年8月

【1992年1月号 No.398】

【特集】韓国における労使関係政策の展開

特集の意図と解題 小林謙一

民主的労働秩序の胎動（1945～53） 金 潤煥
 労働組織の拡充と政策転換（1954～60） 卓 熙俊
 労働法制と労働行政の整備（1961～66） 金 文永
 経済成長と労働力・社会開発の課題（1967～74） 禹 基度
 高度成長と労働経済の変化（1975～79） 李 相崙
 労使協力体制の確立に向けて（1980～85） 金 秀坤

読書ノート 「オルタナティブ・ユニオニズム」の可能性——労働問題実践シリーズ第5巻『労働組合を創る』
 を読みながら 高橋祐吉

書評と紹介 責任編集：草光俊雄・近藤和彦・斎藤修・松村高夫『英国をみる 歴史と社会』 平田雅博
 E. Patricia Tsurumi, *Factory Girls: Women in the Thread Mills of Meiji Japan* [女工：明治日本の
 製糸・紡績工場の女たち] A. ゴードン

法政大学大原社会問題研究所1990年度事業報告

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1991年9月

【1992年2月号 No.399】

【特集】韓国労働・社会政策の展開

韓国における労使関係の形成と労働政策の展開 尹能善（訳：川口智彦）

韓国における社会保障政策の展開と現状 金 早雪

論 文 1951-52年朝鮮紡織争議（2）——現代韓国労使関係のスタートライン 中尾美知子

「統一」一年後の東ドイツ 木戸衛一

戦後社会運動研究会ヒアリング 『民報』の創刊とその論説（中）——長島又男氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 上野千鶴子著『家長長制と資本制』 三宅明正

Andrew Gordon: *Labor and Imperial Democracy in Prewar Japan* 篠田 徹

荻野富士夫著『北の特高警察』 大野節子

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1991年10月

【1992年3・4月号 No.400・401】

【創刊400号記念特集】

特集1 日本の労働関係研究所

労働関係研究所の歴史・現状・課題 二村一夫

東京大学社会科学研究所（労使関係部門） 山本 潔

日本労働研究機構研究所 高梨 昌

兵庫県立労働経済研究所 山田成信

連合総合生活開発研究所 小林良暢

労働運動総合研究所 宇和川邁

労働科学研究所 鷺谷 徹

労働経済研究所 庄司博一

労働調査協議会 井出久章

労働調査研究所 板東 慧

〔付〕本誌掲載研究所一覧

特集2 戦後の大原社会問題研究所の研究・出版活動

戦争下の労働者・労働運動について 宇佐美誠次郎

『マルクス経済学レキシコン』と久留間先生 大谷禎之介

戦前社会運動機関紙誌の復刻と大原社会問題研究所 梅田俊英

書評と紹介 小池和男著『仕事の経済学』 井上雅雄

嶺学著『労働の人間化を求めて』 菊野一雄

庄司俊作著『近代日本農村社会の展開——国家と農村』 横関 至

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』(旧『研究資料月報』) 総目次(第301~400・401合併号)
所 報 1991年11月
所 報 1991年12月

【1992年5月号 No.402】

【国際労働問題シンポジウム】外国人労働者に関する国連条約をめぐる

特集にあたって 嶺 学
ILO条約から国連条約へ? 嶺 学
移住労働者と家族の権利に関する条約 梓沢和幸
外国人労働者に関する国の政策と国連条約 花見 忠
コメント (1)・(2) 木原哲郎・広渡清吾
質疑応答
参考資料:①ILO条約と勧告の概要 ②在住する国の国民でない個人の人権に関する宣言 ③すべての移住労働者とその家族の権利保護に関する条約

学会動向 社会政策学会第83回研究大会を振り返って 堀内隆治
書評と紹介 杉本貴代栄・中田照子・森田明美編著『日米の働く母親たち』 大沢真知子
杉村芳美著『脱近代の労働観——人間にとって労働とは何か』 嶺 学

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年1月

【1992年6月号 No.403】

論 文 現代賃金論序説——いわゆる「成果配分」の理論的検討を中心に 舟橋尚道
カウツキーの社会化論(1) 小林 勝
イタリア共産党から左翼民主党へ(1)——イタリア共産党とポッピオとの“対話” 福田富夫
戦後社会運動研究会ヒアリング 『民報』の創刊とその論説(下)——長島又男氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 Mary Saso, *Women in the Japanese Workplace* A. ゴードン
社会保障研究所編『外国人労働者と社会保障』 鈴木宏昌

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年2月

【1992年7月号 No.404】

【特集】90年代におけるQWLの諸側面

ポストモダニズムと労働組合——企業別組合のUI運動に関連して 加藤譲治
雇用継続をめぐる企業と高齢者 田中 勉
環境変化と人事・労務管理の革新——人間重視の人事労務管理制度 村上良三
産別会議研究会ヒアリング 日本民主婦人協議会(民婦協)の活動——松崎濱子氏に聞く 吉田健二
研究会報告 過疎化が進む秋田県阿仁町の観光開発——スキー場開発を例に 川俣修壽
書評と紹介 百瀬宏・小倉充夫編『現代国家と移民労働者』 佐伯哲朗
鈴木裕子編『女性 反逆と革命と抵抗と』 梅田俊英

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年3月

【1992年8月号 No.405】

講 演 ドイツ産業界における週35時間労働制の展開と現状 N. アルトマン(訳:徳永重良)
論 文 香川農民運動の基礎過程 横関 至
カウツキーの社会化論(2) 小林 勝
戦後社会運動研究会ヒアリング 『社会新聞』の創刊と編集・経営(上)——本多清氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 徳永重良・野村正實・平本厚著『日本企業・世界戦略と実践——電子産業のグローバル化と「日

本的経営』 安保哲夫
手塚和彰・渡辺尚・仲尾宏・R. ルブレヒト編『シンポジウム：日本とドイツの外国人労働者』
森 廣正
師岡武男・仲衛監修・編著『証言構成：戦後労働運動史』 吉田健二

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年4月

【1992年9月号 No.406】

論 文 労働組合の経営参加と協同組合——長野県厚生連労働組合の事例研究 内山哲朗
占領軍の雑誌検閲と『民主評論』 高野和基
イタリア共産党から左翼民主党へ(2)——イタリア共産党とポッピオとの“対話” 福田富夫
連載：作業服の時間① 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子
書評と紹介 Michael Lewis, *Rioters and Citizens: Mass Protest in Imperial Japan* A. ゴードン
石田光男著『賃金の社会科学——日本とイギリス』 橋元秀一
岩出博著『英国労務管理——その歴史と現代の課題』 早川征一郎

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年5月

【1992年10月号 No.407】

【特集】QWL(労働生活の質)の新段階

経営情報ネットワークに支援された自律的作業集団の可能性 後藤光祥
ドイツにおけるフレキシブル合理化と「労働の人間化」——自動車産業の事例を中心として
風間信隆
組織開発と労働の人間化 小山田英一

戦後社会運動研究会ヒアリング 『社会新聞』の創刊と編集・経営(中)——本多清氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 井上雅雄著『日本の労働者自主管理』 下田平裕身
小林謙一・川上忠雄編『韓国の経済開発と労使関係』 滝沢秀樹
アラン・リックス編／竹前栄治・菊池努訳『日本占領の日々——マクマホン・ポール日記』
高野和基

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年6月

【1992年11月号 No.408】

【特集】現代日本の女性労働問題

女性雇用をめぐる政策動向——女子労働者福祉対策基本方針を中心に 大森真紀
働き方としてのパートタイム分析——パートタイムという働き方、正社員という働き方
三山雅子
既婚女子労働者の家庭生活問題——生活時間構造を中心に 大竹美登利

学会動向 現代の女性労働と社会政策——社会政策学会第84回大会を振り返って 津田美穂子
研究会報告 旧東ドイツ地域の今後——経済復興の奇跡か南部イタリア化か エンノ・ベルント

連載：作業服の時間② 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子

書評と紹介 玉井金五著『防貧の創造——近代社会政策論研究』 池田 信
荻谷剛彦著『学校・職業・選抜の社会学——高卒就職の日本のメカニズム』 石川晃弘
太田貞祐著『足尾銅山の社会史』 村串仁三郎

所 報 1992年7月

【1992年12月号 No.409】

【特集】労働時間の国際動向

アメリカ合衆国の労働時間——その歴史と現状の分析 藤本 武

ヨーロッパにおける労働時間の動向 鈴木宏昌
韓国の労働時間——法制的枠組みと現状 三満照敏
補遺：「ドイツ産業における週35時間労働制の展開と現状」への補遺 徳永重良
資料紹介 アメリカにおける日本労働史の新資料——ブラッティとデベラルの文書から 三宅明正・遠藤公嗣
書評と紹介 岩井浩著『労働力・雇用・失業統計の国際的展開』 杉森滉一
「社会政策叢書」編集委員会編『社会政策研究の方法と領域』 高田一夫
川人博著『過労死社会と日本——変革へのメッセージ』 五十嵐仁
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年8月

【1993年1月号 No.410】

【特集】アジアNIES労働問題の諸相

東アジア型市場経済システムの特徴 原洋之介
東アジアの経済成長と労使関係の変化 小林英夫・郭洋春・祖父江利衛
韓国“民主化争議”以後の労使関係 小林謙一
戦後社会運動研究会ヒアリング 『社会新聞』の創刊と編集・経営（下）——本多清氏に聞く 吉田健二
連載：作業服の時間③ 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子
書評と紹介 社会政策学会編『日本の労務管理』 栗田 健
法政大学大原社会問題研究所編『日本労働年鑑』第62集 藤井昭三
梶田孝道・伊豫谷登士翁編『外国人労働者論——現状から理論へ』 佐伯哲朗
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年9月

【1993年2月号 No.411】

【特集】現代日本の勤労者生活

現代における勤労者生活の変容と生活構造 岩田正美
共働き世帯の生活と性別役割意識 川島美保
現代日本における学歴・教育競争と労働者 中西新太郎
連載：作業服の時間④ 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子
書評と紹介 佐口和郎著『日本における産業民主主義の前提——労使懇談制度から産業報国会へ』 三輪泰史
清家篤著『高齢者の労働経済学——企業・政府の制度改革』 町田隆男
サスキア・サッセン著 森田桐郎ほか訳『労働と資本の国際移動——世界都市と移民労働者』 増田壽男
後房雄編著『大転換——イタリア共産党から左翼民主党へ』 福田富夫
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年10月

【1993年3月号 No.412】

【国際労働問題シンポジウム】先進国における社会保障の将来——ILOの示唆するもの

ILOの社会保障推進の軌跡と展望 高藤 昭
「先進国における社会保障の将来」会議の概要 井上恒男
労働者の立場から 榎本 純
使用者の視点 藤田至孝
コメント：報告を聞いて 高橋 武
質疑応答
参考資料：①社会保障の国際基準設定に関するILO条約と批准状況 ②社会保障の国際基準設定に関する主要ILO勧告 ③社会保障の連携に関するILO条約と勧告 ④給付率の発展経過 ⑤雇用の促進と失業に対する保護に関する条約（168号） ⑥雇用の促進と失業に対する保護に関する勧告

- (176号) ⑦ILO「シンポジウム」に関する理事会への報告 ⑧先進諸国における社会保障関係統計集
書評と紹介 三富紀敬著『欧米女性のライフサイクルとパートタイム』 竹内敬子
土穴文人著『社会政策制度史論』 村申仁三郎
小林英夫著『東南アジアの日系企業』 二村一夫
- 法政大学大原社会問題研究所1991年度の歩み
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年11月

【1993年4月号 No.413】

【特集】国際労働移動の諸局面（1）

- ガストアルバイター時代の構造 佐藤 忍
イギリスにおけるニュー・ライトの人種関係教育政策批判 藤田弘之
論 文 「システミック・ラショナリゼーション」と日本企業の生産方式 佐武弘章
学会動向 変化の中の労働と生活—社会政策学会第85回研究大会を振り返って 成瀬龍夫
連載：作業服の時間⑤ 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子
書評と紹介 ジュリアン・ジャクソン著 訳者代表：向井善典『フランス人民戦線史—民主主義の擁護、
1934-38年』 相澤與一
安保哲夫ほか著『アメリカに生きる日本の生産システム—現地工場の「適用」と「適応」』
相田利雄
- 労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1992年12月

【1993年5月号 No.414】

【特集】国際労働移動の諸局面（2）

- ドイツにおける外国人住民の選挙権をめぐる—フランクフルト市「外国人地域代表会議」選
挙を中心として 森 廣正
フランスの移民問題—「相違への権利」から「類似への権利」への変遷を手がかりにして
定松 文
- 翻 訳 韓国における人事・労務管理の発展（1）—おもに『社史』からみた実態 安 春植
研究会報告 法政大学大原社会問題研究所編『《連合時代》の労働運動』を読んで
報告1 高木郁朗
報告2 A. ゴードン
- 書評と紹介 秋元樹著『アメリカ労働運動の新潮流』 風間 龍
堤矩之・浪江巖編著『日本の労務管理と労使関係』 長谷川義和
萩野富士夫編・解題『特高警察関係資料集成』 大野節子・横関至
- 労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』1992年度総目次
所 報 1993年1月

【1993年6月号 No.415】

【特集】欧米における日本の生産方法

- カナダ日系自動車企業における日本の生産方式と労働組合 坂 幸夫
「リーン生産方式」の5つの論点—新生産方式の検討 佐武弘章
- 翻 訳 韓国における人事・労務管理の発展（2）—おもに『社史』からみた実態 安 春植
戦後社会運動研究会ヒアリング 雑誌『機械工の知識』と『民衆新聞』（1）—吉武三雄氏に聞く 吉田健二
- 連載：作業服の時間⑥ 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子
書評と紹介 村田陽一編訳著『資料集 初期日本共産党とコミンテルン』 岩村登志夫
武知京三著『近代日本交通労働史研究—都市交通と国鉄労働問題』 青木正久
多田茂治著『大正アナキストの夢—渡辺政太郎とその時代』 梅田俊英

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1993年2月

【1993年7月号 No.416】

- 論 文 日本における「熟練」論の流れ——小池理論はなぜひろまったか 野村正實
パートタイム労働者組織化の再検討——最近の事例を中心に 本田一成
- 翻 訳 韓国における人事・労務管理の発展 (3) ——おもに『社史』からみた実態 安 春植
- 戦後社会運動研究会ヒアリング 雑誌『機械工の知識』と『民衆新聞』(2) ——吉武三雄氏に聞く 吉田健二
- 連載：作業服の時間⑦ 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子
- 書評と紹介 N. Altmann, C. Köhler and P. Meil (ed.) *Technology and Work in German Industry* 佐藤 忍
『炭労』編集委員会編『炭労 激闘あの日あの時』 平井陽一

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1993年3月

【1993年8月号 No.417】

- 論 文 市民権の社会学再考——マーシャル以後の市民権理論の再構築に向けて 伊藤周平
労働者協同組合における労働者統制の意義——ウェブの生産者協同組合批判に関連して
塚本一郎
- 翻 訳 韓国における人事・労務管理の発展 (4) ——おもに『社史』からみた実態 安 春植
- 戦後社会運動研究会ヒアリング 雑誌『機械工の知識』と『民衆新聞』(3) ——吉武三雄氏に聞く 吉田健二
- 連載：作業服の時間⑧ 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子
- 書評と紹介 舟橋尚道著『経済環境と労使関係』 小野恒雄
金森久雄・島田晴雄・伊部英男編『高齢化社会の経済政策』 小林謙一
阿部二郎・後藤太刀味著『探索・近代山形の社会主義運動』 吉田健二

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1993年4月

【1993年9月号 No.418】

- 講 演 20世紀社会主義の歴史と現実 盛田常夫
- 論 文 日本の労働市場・労使関係と労務管理——現代日本の労務管理研究の前提 光岡博美
建設産業の就業・雇用と組織化問題 椎名 恒
- 戦後社会運動研究会ヒアリング 雑誌『機械工の知識』と『民衆新聞』(4) ——吉武三雄氏に聞く 吉田健二
- 連載：作業服の時間⑨ 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子
- 書評と紹介 荻野喜弘著『筑豊炭鉱労資関係史』 市原 博
高木督夫・早川征一郎編著『国鉄労働組合——歴史、現状と課題』 井上雅雄
金三洙著『韓国資本主義国家の成立過程1945-53年——政治体制・労働運動・労働政策』
高野和基

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1993年5月

【1993年10月号 No.419】

- 論 文 現代ホワイトカラーの労働時間問題——労働時間の短縮と弾力化について 清山 玲
国家公務員の昇進システムとその実態 (1) ——一般公務員の場合と高級公務員の場合 早川
征一郎
賃金と年金権の関連に関する一考察——国際的な視点から 岡 伸一
- 学会動向 日本における外国人労働者問題——社会政策学会第86回大会を振り返って 永山利和
- 書評と紹介 栗田健編著『現代日本の労使関係——効率性のバランスシート』 熊沢 誠
竹田誠著『王子製紙争議 (1957~60)』 上田 修
新川敏光著『日本型福祉の政治経済学』 五十嵐仁

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1993年6月

【1993年11月号 No.420】

【特集】ヨーロッパ労使関係の動向

統一ドイツの労使体制——旧東ドイツを中心に 久本憲夫

1980年代イギリス労使関係の変化——全国統一交渉から企業別交渉への転換 田口典男

フランスにおける労使関係の変貌と労働運動の危機(1) 長部重康

戦後社会運動研究会ヒアリング 『夕刊京都』と京都の左翼文化人(1)——和田洋一氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 山本吉人著『労働委員会命令と司法審査』 秋田成就

石田光男・井上雅雄・上井喜彦・仁田道夫編『労使関係の比較研究——欧米諸国と日本』

高橋克嘉

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1993年7月

【1993年12月号 No.421】

論 文 キリスト教徒賀川豊彦の革命論と日本農民組合創立 横関 至

フランスにおける労使関係の変貌と労働運動の危機(2) 長部重康

国家公務員の昇進システムとその実態(2)——一般公務員の場合と高級公務員の場合 早川

征一郎

戦後社会運動研究会ヒアリング 『夕刊京都』と京都の左翼文化人(2)——和田洋一氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 『総評四十年史』編纂委員会編『総評四十年史』 佐野 稔

法政大学大原社会問題研究所編『労働の人間化の新展開——非人間的労働からの脱却』

奥林康司

梶田孝道編『国際社会学——国家を超える現象をどうとらえるか』 佐伯哲朗

【1994年1月号 No.422】

【特集】ホワイトカラーの人事管理問題

ホワイトカラーの人事管理の変貌——能力主義と個人主義の人事管理へ 高田一夫

女性ホワイトカラーと「総合職」問題 脇坂 明

論 文 1899年九州鉄道ストライキの展開・背景・特徴 石井まこと

戦後社会運動研究会ヒアリング 『夕刊京都』と京都の左翼文化人(完)——和田洋一氏に聞く 吉田健二

連載：作業服の時間⑩ 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子

書評と紹介 ヴェロニカ・ビーチ著／高島道枝・安川悦子訳『現代フェミニズムと労働』 竹中恵美子

ブルース・E.コーフマン著『アメリカ合衆国における労使関係論の起源と進化』 萩原 進

日本労働者協同組合連合会編『ワーカーズコープの挑戦——先進資本主義国の労働者協同組合』

福田富夫

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1993年8・9月

【1994年2月号 No.423】

論 文 ドイツの労働市場政策と「雇用会社」——解雇規制の一戦略 松丸和夫

ナチス強制収容所の史的展開——その成立から1941年まで 矢野 久

国家公務員の昇進システムとその実態(3)——一般公務員の場合と高級公務員の場合 早川

征一郎

海外通信 ベルリンからリンツへ——最近のヨーロッパ労働運動史研究事情 相馬保夫

連載：作業服の時間⑪ 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子

読書ノート 最近の外国人労働者問題に関する文献から 森 廣正

書評と紹介 尾高煌之助著『職人の世界・工場の世界』 二村一夫

上原章三・増岡敏和編『一燈を凝視めて』, 赤木健介遺稿集編纂委員会編『赤木健介追悼集』,
塚平広志・相波三郎著『伊那谷を花咲く大地に』 大野節子

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1993年10月

【1994年3月号 No.424】

【国際労働問題シンポジウム】パートタイム労働——ILOにおける審議を中心に

特集にあたって 嶺 学
女性労働をめぐるILO基準の展開 藤井紀代子
日本におけるパートタイム労働政策 諏訪康雄
ILOにおける審議をめぐる 岩田喜美枝
労働者の立場から 熊谷謙一
使用者の立場から 長谷川茂
質疑応答

参考資料：①ILOにおける審議経過 ②女子労働をめぐるILOの基準の展開 ③-A事務局案 ③-B第1次討議結論 ④労働者側の見解・意見 ⑤使用者側の見解・意見 ⑥パートタイム労働に関する条約案 ⑦パートタイム労働に関する勧告案 ⑧日本におけるパートタイム労働政策をめぐる主な動き ⑨パート労働法の全容 ⑩労働省「事業主が講ずべき短時間労働者の雇用管理の改善等のための措置に関する指針」

書評と紹介 大沢真理著『企業中心社会を超えて——現代日本を〈ジェンダー〉で読む』 荒又重雄
小宮昌平・斎藤美留編著『回想・斎藤初太郎——生いたち・労働運動・農民運動』 横関 至

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所1992年度の歩み
所 報 1993年11月

【1994年4月号 No.425】

【特集】戦前期左翼運動の諸相

プロレタリア科学研究所の組織問題 梅田俊英
コミンテルンの「一〇月テーゼ」——発見されたテーゼ正文と二つの関係文書について
大野節子
雑誌『機械工の友』と『機械工の知識』(1)——戦時抵抗の一形態 吉田健二

論 文 国家公務員の昇進システムとその実態 (4) ——一般公務員の場合と高級公務員の場合 早川
征一郎

学会動向 日本型企業社会と社会政策——社会政策学会第87回研究大会を振り返って 長谷川義和

書評と紹介 大沢真知子著『経済変化と女子労働——日米の比較研究』 大沢真理

高梨昌著『これからの雇用政策の基調』 嶺 学
佐藤一著『戦後史検証 一九四九年——「謀略」の夏』 高野和基

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』1993年度総目次
所 報 1993年12月

【1994年5月号 No.426】

【特集】変容するヨーロッパ労使関係

ヨーロッパ労働政治の展開 真柄秀子
新しい労使関係モデルを模索するイタリア——マクロ・コーポラティズムから分権型コーポラ
ティズムへ 井戸正伸
スウェーデンにおける労働者基金問題の展開 (上) ——スウェーデンモデルの変容 宮本太郎
講 演 大原社会問題研究所創立75周年記念
大原社会問題研究所を創った人びと 二村一夫

書評と紹介 稲上毅著『現代英国労働事情——サッチャーイズム・雇用・労使関係』 小笠原浩一
林健久・加藤栄一編『福祉国家財政の国際比較』 高藤 昭
石見尚著『福本和夫——『日本ルネッサンス史論』をめぐる思想と人間』 梅田俊英
所 報 1994年1月

【1994年6月号 No.427】

論 文 社会変容と労働組合（上）——第一次労働戦線統一運動の挫折とその意味 井上雅雄
ドイツにおける社会住宅とエスニック・マイノリティ——ミュンヘン市の事例 山本健児
台湾における自主労働運動の新展開——「基隆バス」の労使紛争をめぐる 黄 佩鈺
翻 訳 労働組合プログラム：意欲的なパートナーシップ エレーヌ・バーナード（訳・解説：太田喜行）
連載：作業服の時間⑩・完 1982年A金属東京工場における日常性の構造 田中洋子
書評と紹介 社会政策学会編『現代の女性労働と社会政策』 下山房雄
杉本貴代著『社会福祉とフェミニズム』 大沢真知子
藤本武著『ストライキの歴史と理論』 早川征一郎
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1994年2月

【1994年7月号 No.428】

論 文 「労働問題」研究から批判的労働研究へ——「労働問題」研究史の検討 野村正實
社会変容と労働組合（下）——第一次労働戦線統一運動の挫折とその意味 井上雅雄
細川連立政権と社会党——何故、どのようにして、社会党は「変身」したのか 五十嵐仁
書評と紹介 秋田成就編著『日本の雇用慣行の変化と法』 清水 敏
田沼肇編『労働運動と企業社会』 高橋祐吉
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1994年3月

【1994年8月号 No.429】

論 文 高齢者の就業意識とシルバー人材センターの課題（1） 小林謙一
イタリア・「赤い2年」（1919-1920年）におけるカトリック系労働組合 藤岡寛己
国家公務員の昇進システムとその実態（完）——一般公務員の場合と高級公務員の場合
早川征一郎
書評と紹介 野村正實著『熟練と分業——日本企業とテイラー主義』 中村真人
法政大学日本統計研究所・伊藤陽一・岩井浩・福島利夫編著『労働統計の国際比較』 鈴木宏昌
土井たか子著『せいっぱい——土井たか子半自伝』 五十嵐仁
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1994年4月

【1994年9月号 No.430】

論 文 福祉情報システムの構築環境とその課題 近 勝彦
スウェーデンにおける労働者基金問題の展開（下）——スウェーデンモデルの変容 宮本太郎
雑誌『機械工の友』と『機械工之知識』（2）——戦時抵抗の一形態 吉田健二
戦後社会運動研究会ヒアリング 『社会新聞』と『社会タイムス』（1）——飯島博氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 戸塚秀夫・徳永重良編著『現代日本の労働問題——新しいパラダイムを求めて』 菊池光造
京谷栄二著『フレキシビリティとはなにか——現代日本の労働過程』 浅見和彦
寄本勝美著『自治の形成と市民——ピッツバーグ市政研究』 高野和基
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1994年5月

【1994年10月号 No.431】

【特集】大量生産方式の問題点

- 大量生産方式とムダ（空費）の増大——NPS研究会の実験にかんする調査と分析 佐武弘章
トヨタ・システムの新しい展開とテイラーリズムのゆくえ——野村正實著『トヨティズム——
日本型生産システムの成熟と変容』によせて 野原 光
- 論 文 高齢者の就業意識とシルバー人材センターの課題（2） 小林謙一
- 戦後社会運動研究会ヒアリング 『社会新聞』と『社会タイムス』（2・完）——飯島博氏に聞く 吉田健二
- 書評と紹介 原ひろ子・大沢真理編『変容する男性社会——労働，ジェンダーの日独比較』 田中洋子
現代フランス政治・経済・社会事情に関する若干の文献について 佐伯哲朗
- 労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所 報 1994年6月

【1994年11月号 No.432】

- 論 文 「伝統的」イギリス労使関係像とは何か 小笠原浩一
年金改革と高齢者雇用をめぐる論議の基本的問題 森 隆男
労働者協同組合における統制の構造と実態——日本労働者協同組合連合会センター事業団の事例
に即して 塚本一郎
- 学会動向 現代日本のホワイトカラー——社会政策学会第88回大会をふりかえって 清山玲・早川征一郎
- 書評と紹介 高藤昭著『社会保障法の基本原理と構造』 笹木俊一
上井喜彦著『労働組合の職場規制』 平井陽一
川口武彦編『山川均全集・第16巻』 吉田健二
- 労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 法政大学大原社会問題研究所1993年度の歩み
- 所 報 1994年7月

【1994年12月号 No.433】

- 論 文 賀川豊彦と日本基督教連盟の「社会信条」（上）——1920年代後半のプロテスタントと社会運動
横関 至
戦後日本における国家公務員の定員管理 早川征一郎
現代日本の職業別賃金構造 島 紀男
地域社会と老人福祉問題——北海道・後志地方の事例から 近 勝彦
- 書評と紹介 伊藤周平著『社会保障史 恩恵から権利へ——イギリスと日本の比較研究』 榎原 朗
田中真人著『一九三〇年代日本共産党史論』 伊藤 晃
栗田健著『日本の労働社会』 二村一夫
- 所 報 1994年8月

【1995年1月号 No.434】

- 論 文 戦後知識人の民主革命像——「8・15」50周年を前に 平田哲男
賀川豊彦と日本基督教連盟の「社会信条」（下）——1920年代後半のプロテスタントと社会運動
横関 至
- 回 想 門下生から見た大河内一男先生（1）——1942～1984年 塩田庄兵衛
- 書評と紹介 小林謙一編著『病院ケース・スタディ 看護マンパワーの雇用管理と公共政策』 井上信宏
伊藤セツ著『両性の新しい秩序の世紀へ——女性・家族・開発』 高田一夫
水谷三公著『ラスキとその仲間——〈赤い三〇年代〉の知識人』 福田富夫
- 労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所 報 1994年9月

【1995年2月号 No.435】

- 論 文 福祉国家とニューライト——国家，市場，家族 伊藤周平
国際労働力移動の理論と実態（1）——1960～70年代のヨーロッパに焦点をあてて 山本健兒

- 回想
書評と紹介
解体期の全国農民組合と『土地と自由』 梅田俊英
門下生から見た大河内一男先生(2)——1942年～1984年 塩田庄兵衛
加藤哲郎著『モスクワで肅清された日本人——30年代共産党と国崎定洞・山本懸蔵の悲劇』
神田文人
野村正實著『終身雇用』 早川征一郎
生協労連・生協研運営委員会編『生協運動に三つの民主制を——生協労働者の視点から』
塚本一郎
- 労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1994年10月

【1995年3月号 No.436】

【国際労働問題シンポジウム】パートタイム労働——ILOの基準を中心に

- 特集にあたって 嶺 学
ILOにおける審議をめぐって 松井一實
労働者の立場から 熊谷謙一
使用者の立場から 長谷川茂
日本におけるパートタイム労働の状況——法的側面について 山本吉人
質疑応答
参考資料：①第1次討議の主要内容 ②パートタイム労働に関する条約(第175号条約) ③パート
タイム労働に関する条約原文(英文) ④パートタイム労働に関する勧告(第182号勧告) ⑤
パートタイム労働に関する勧告原文(英文) ⑥労働省「事業主が講ずべき短時間労働者の雇用
管理の改善等のための措置に関する指針」 ⑦労働省「短時間労働者対策基本方針の概要」 ⑧
連合労働局(熊谷謙一)「ILOパートタイム労働委員会・第2次討議」報告書
- 論文
書評と紹介
国際労働力移動の理論と実態(2)——1960～70年代のヨーロッパに焦点をあてて 山本健児
塩川伸明著『社会主義とは何だったか』、『ソ連とは何だったか』 岡田裕之
V. Navarro ed., *Why the United State Does Not Have a National Health Program* 南雲和夫・
中村雄二
安田浩著『大正デモクラシー史論——大衆民主主義体制への転形と限界』 横関 至

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1994年11月

【1995年4月号 No.437】

- 論文
書評と紹介
電産賃金体系における能力給と人事査定 遠藤公嗣
90年代前半のイギリス労働政策——1993年労働組合改革・雇用権利法(TURERA)の検討を
通して 田口典男
アメリカ宅配便業職場におけるフレキシビリティと労働組合——1993年チームスター労組——UPS
全国協約改定をめぐって 坂 幸夫
- 労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1994年12月

【1995年5月号 No.438】

【特集】日韓交流シンポジウム—韓国労使関係の現在①

- 特集にあたって 嶺 学
韓国の従業員持株制と労使関係 金大煥/金元重訳
労働者の職場意識に関する韓・日間の比較研究 鄭在勲/鄭基龍訳
80年代以後韓国労働組合運動の現況と政治活動——韓国労総を中心に 丁榮泰/鄭章淵訳
- 学会動向
今日の生活と社会保障改革——社会政策学会第89回研究大会を振り返って 山本 隆

書評と紹介 佐藤忍著『国際労働力移動研究序説——ガストアルバイター時代の動態』 森 廣正
大塚茂樹著『ある歓喜の歌——小松雄一郎／嵐の時代にベートーヴェンを求めて』 高橋彦博
樋口喜徳著『“進め社”の時代』 梅田俊英

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1995年1月

【1995年6月号 No.439】

【特集】日韓交流シンポジウム—韓国労使関係の現在②

韓国における日本の生産方式の導入と労働者——大宇自動車の事例を中心に 尹辰浩／川口
智彦訳

1987年以後の韓国労使関係の変化——財閥系大企業を中心に 金 基元

総括報告と総括討論 司会：二村一夫 総括報告：小林謙一 閉会の辞：嶺学 通訳：川口
智彦・金元重

書評と紹介 中央大学経済研究所編『構造転換下のフランス自動車産業——管理方式の〈ジャパナイゼー
ション〉』 清水耕一

間宏編著『高度成長下の生活世界』 下田平裕身

所 報 1995年2月

【1995年7月号 No.440】

論 文 ME化職場における現場作業者の職務内容と管理システム——日本企業の実態調査から 上林憲雄
福祉国家とフェミニズム——女性、家族、福祉 伊藤周平
労農派と戦前・戦後農民運動（上） 横関 至

書評と紹介 稲上毅・H. ウィッターカー・逢見直人・篠田徹・下平好博・辻中豊著『ネオ・コーポラティズムの
国際比較——新しい政治経済モデルの探索』 五十嵐仁

慶応義塾大学法学部中村勝範研究会編『東京帝大新人会研究ノート』 大野節子

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』1994年度総目次

所 報 1995年3月

【1995年8月号 No.441】

論 文 日本社会党と鈴木茂三郎（1） 鈴木徹三
雑誌『機械工の友』と『機械工之知識』（3）——戦時抵抗の一形態 吉田健二

証言：日本の社会運動 『前衛』創刊のころ（1）——寺尾五郎氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 山田徹著『東ドイツ・体制崩壊の政治過程』 木戸衛一

十名直喜著『日本型フレキシビリティの構造——企業社会と高密度労働システム』 根岸秀世

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1995年4月

【1995年9月号 No.442】

論 文 日本における「公共部門」の労使関係 早川征一郎

日本社会党と鈴木茂三郎（2） 鈴木徹三

労農派と戦前・戦後農民運動（下） 横関 至

証言：日本の社会運動 『前衛』創刊のころ（2・完）——寺尾五郎氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 W. グラッツァー・H. H. ノル編／長坂聡・近江谷左馬之介訳『統一ドイツの生活実態』
市川ひろみ

I. ブルマ著／石井信平訳『戦争の記憶——日本人とドイツ人』 高野和基

M. フォトゥナー・S. メスナーニ著／関口英子訳『イタリアの外国人労働者』 福田富夫

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1995年5月

【1995年10月号 No.443】

【特集】国民生活と社会保障の政策課題

国民生活と福祉政策の論点——中間層重視・社会保険重視型将来像の問題点 里見賢治

高齢者の生活問題と年金制度 唐鎌直義

論文 日本社会党と鈴木茂三郎（3・完） 鈴木徹三

書評と紹介 『社会政策叢書』編集委員会編『変化の中の労働と生活』 鷺谷 徹

山本健兒著『国際労働力移動の空間——ドイツに定住する外国人労働者』 森 廣正

柴田三千雄・樺山紘一・福井憲彦編『フランス史 3』 佐伯哲朗

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1995年 6 月

【1995年11月号 No.444】

論文 現代日本経済と労使関係論——ホワイトカラー学序説 萩原 進

未組織労働者の組織化と産業別連合体——ゼンセン同盟の事例 中村圭介

雑誌『機械工の友』と『機械工之知識』（4）——戦時抵抗の一形態 吉田健二

書評と紹介 戸塚秀夫・兵藤釗編『地域社会と労働組合——〈産業空洞化〉と労働組合』 相田利雄

早川征一郎著『国・地方自治体の非常勤職員——制度、実態とその課題』 清水 敏

杉山章子著『占領期の医療改革』 南雲和夫

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1995年 7 月

【1995年12月号 No.445】

【特集】福祉国家とその政策

福祉国家の類型論と日本の位置——Esping-Andersenの所説を手がかりにして 埋橋孝文

福祉国家英国における公営住宅の売却 横山北斗

イギリスの福祉国家型レジャー政策について——主に戦後イギリス労働党のレジャーの政策に
学ぶ 村申仁三郎

研究ノート 『協調会誌』（稿本）と『協調会史』（正史）との間 高橋彦博

学会動向 いま「技術選択」を問う意味は？——社会政策学会第90回大会に関連して 戸塚秀夫

書評と紹介 佐藤慶幸・天野正子・那須壽編著『女性たちの生活者運動——生活クラブを支える人びと』

浅野富美枝

筒井清忠著『日本型「教養」の運命——歴史社会学的考察』 梅田俊英

佐藤香著『フランスの労働運動——暁闇のとき』 長部重康

法政大学大原社会問題研究所1994年度の歩み

所 報 1995年 8 月

【1996年1月号 No.446】

論文 オランダにおける労働市場の規制緩和政策 下平好博

わが国における貧困と不平等の測定——全国消費実態調査のデータ分析 星野信也

生協組合員によるワーカーズ・コープ——ワーカーズコープ・キュービックの事例 塚本一郎

国際交流：日韓交流シンポジウム報告 日本の産業と労使関係 根岸秀世

書評と紹介 山本佐門著『ドイツ社会民主党日常活動史』 住沢博紀

牛島千尋著『ジェンダーと社会階級』 伊藤正純

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1995年 9 月

【1996年2月号 No.447】

【特集】高齢者の自立化と生活問題

高齢者の健康——概念、測定および維持・増進の手立て 柴田 博

高齢者の「自立」と貧困・不平等の拡大 岩田正美
高齢者の購買活動と通信販売の役割——「高齢者の通信販売利用に関する調査」から 川島美保
研究会報告 『社会新聞』の創刊と編集・経営事情——占領期の日本社会党機関紙 吉田健二
書評と紹介 亀嶋庸一著『ベルンシュタイン——亡命と世紀末の思想』 福田富夫
清水慎三著『戦後革新の半日陰——回顧と対話』 五十嵐仁
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1995年10月

【1996年3月号 No.448】

【国際労働問題シンポジウム】国際社会における今日の雇用問題——ILO総会での討議に関連して

開会のあいさつ 嶺 学
ILOの世界雇用報告 栗山直樹
ILOにおける審議をめぐって 椎谷 正
労働者の立場から 伊藤祐禎
使用者の立場から 鈴木俊男
雇用の終了に関する国際労働基準について考える 金子征史
質疑応答
参考資料：①『雇用の促進－事務局長報告』の構成と政策提起（要旨） ②一般討議に関する事務局長の回答（要旨） ③栗山報告関連資料 ④鈴木報告関連資料 ⑤金子報告レジュメ ⑥使用者の発意による雇用の終了に関する条約（第158号条約） ⑦使用者の発意による雇用の終了に関する勧告（第166号勧告） ⑧『不当な解雇に対する保護』から（要旨）
書評と紹介 小池和男著『日本の雇用システム——その普遍性と強み』 嶺 学
川北稔著『イギリス 繁栄のあとさき』 佐伯哲朗

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』1995年度総目次

所 報 1995年11月

【1996年4月号 No.449】

論 文 人事査定制度の日米比較 遠藤公嗣
1980年代アメリカの作業組織改革をめぐる研究潮流——なにが考えられ、考えられなかったのか 篠原健一
書評と紹介 M. パーカー・J. スローター編著／戸塚秀夫監訳『米国自動車工場の変貌——「ストレスによる管理」と労働者』 高橋祐吉
室田保夫著『キリスト教社会福祉思想史の研究——「一国の良心」に生きた人々』 横関 至
犬丸義一著『第一次共産党史の研究——日本共産党の成立』 大野節子

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1995年12月

【1996年5月号 No.450】

【特集】「民主化宣言」以後の韓国労働事情

韓国・三星財閥における労使関係の変化 金 基元
韓国の自動車A社における人事制度改革（上）——学歴身分制から能力主義管理へ？ 金 鎔基
韓国の自動車産業における日本型生産システムの導入——1995年9月の現地調査から 公文 溥
学会動向 弾力化・規制緩和と社会政策——社会政策学会第91回研究大会を振り返って 伍賀一道
書評と紹介 孫昌熹著『韓国の労使関係——労働運動と労働法の新展開』 三満照敏
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1996年1月

【1996年6月号 No.451】

論文	「造船危機」と雇用削減問題——1970年代後半, 1980年代後半について	相田利雄
	産別会議民主化同盟の成立過程	兵頭淳史
	韓国の自動車A社における人事制度改革(下)——学歴身分制から能力主義管理へ?	金 鎔基
時評	社会民主党発足大会傍聴記	高橋彦博
報告	法政大学第12回多摩シンポジウム—急速な高齢化—安心して住めるコミュニティの実現を目指して	根岸秀世
書評と紹介	嶺学著『労働の人間化の展開過程——市場競争下の職場の民主主義』	赤岡 功
	岩田正美著『戦後社会福祉の展開と大都市最底辺』	加藤佑治
労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所	
所 報	1996年2月	

【1996年7月号 No.452】

【特集】	急速な高齢化——安心して住めるコミュニティの実現を目指して(法政大学第12回多摩シンポジウムより)	
	[講演] 介護保険の導入でどうなるのか, 高齢者の暮らし	橋本泰子
	[報告] 町田市の在宅保健・介護・医療計画	町田隆男
	[報告] 地元の医療・保健・福祉の調査から	嶺 学
	[紹介] 里見賢治他『介護保険に異議あり』	嶺 学
論文	職場の自律性管理のメカニズム——コントロールからディシプリンへ	大野 威
書評と紹介	奥林康司編著『変革期の人的資源管理』	小山田英一
	Ph. ノビール編著/三国隆志ほか訳『葬られた原爆展——スミソニアンへの抵抗と挫折』	吉田健二
労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所	
所 報	1996年3月	

【1996年8月号 No.453】

論文	イタリアにおける男女平等のためのポジティブ・アクション(上)——ポジティブ・アクション法第125号の理解をめぐって	亀田利光
	1920年代農民運動史研究の評価基軸——近年の研究によせて	横関 至
	日系ブラジル人の雇用管理——冷凍食品加工メーカーの事例	佐藤 忍
海外通信	UAWに明日はあるのか——1996年3月のGMスト	萩原 進
書評と紹介	木本喜美子著『家族・ジェンダー・企業社会——ジェンダー・アプローチの模索』	塩田咲子
	伊藤晃著『転向と天皇制——日本共産主義運動の1930年代』	梅田俊英
労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所	
所 報	1996年4月	

【1996年9月号 No.454】

論文	公的介護保険と日本の福祉政策——普遍的介護システムか, 階層化された介護システムか	伊藤周平
	イタリアにおける男女平等のためのポジティブ・アクション(中)——ポジティブ・アクション法第125号の理解をめぐって	亀田利光
	構内下請けと日系ペルー人——造船業の事例をめぐって	佐藤 忍
研究回顧	賃金論研究と私(上)	舟橋尚道
学会動向	日本の経営の変貌と人事・労務管理——労務理論学会第6回大会をふりかえって	相澤與一
書評と紹介	小沢弘明・佐伯哲朗・相馬保夫・土屋好古著『労働者文化と労働運動——ヨーロッパの歴史的経験』	中野隆生
	ジャン・フランコ・ヴェネ著/柴野均訳『ファシズム体制下のイタリア人の暮らし』	福田富夫
労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所	
所 報	1996年5月	

【1996年10月号 No.455】

論文 ワイマール期在独日本人のベルリン社会科学研究会 加藤哲郎
イタリアにおける男女平等のためのポジティブ・アクション（下）——ポジティブ・アクション
法第125号の理解をめぐって 亀田利光

研究回顧 賃金論研究と私（下） 舟橋尚道

証言：日本の社会運動 日本政治経済研究所と『大衆政治経済』（1）——小林英三郎氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 足立正樹著『現代ドイツの社会保障』 小柳治宣
鈴木裕子編・解説『日本女性運動資料集成第4－7巻／生活・労働Ⅰ－Ⅵ』 大野節子

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1996年6月

【1996年11月号 No.456】

論文 日本における労働・社会政策の枠組みとその変動——労働基準政策の場合 嶺 学
韓国の馬山輸出自由地域における雇用と労使関係——日本企業で働く女性労働者 金 泰永

研究回顧 労使関係・社会政策・労働法論研究と私 舟橋尚道

書評と紹介 宇田川勝・佐藤博樹・中村圭介・野中いずみ著『日本企業の品質管理——経営史的研究』
石田光男
増田弘著『公職追放——三大政治パージの研究』 横関 至
法政大学大原社会問題研究所編『証言 産別会議の誕生』 兵頭淳史

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

法政大学大原社会問題研究所1995年度の歩み

所 報 1996年7月

【1996年12月号 No.457】

【特集】韓国労使関係の現況と展望

特集にあたって 嶺 学
民主労働組合運動の成長と政治活動——1987年以降の全労協を中心に 丁榮泰／鄭章淵訳
民営化と労働問題——公企業の民営化が労働者に与える影響 金大煥／横田伸子訳
韓国造船業での現場権力をめぐる労使葛藤——現代重工業の事例研究 尹辰浩／金元重訳
総括討論

書評と紹介 日本労働社会学会編『〈企業社会〉の中の女性労働者』 [日本労働社会学会年報6] 二村一夫

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

【1997年1月号 No.458】

【特集】協調会の今日的検討

協調会コーポラティズムの構造 高橋彦博
戦前期争議調停における協調会の役割 矢野達雄
協調会の労務者講習会——アメリカ合衆国との比較 木下 順

証言：日本の社会運動 日本政治経済研究所と『大衆政治経済』（2）——小林英三郎氏に聞く 吉田健二

学会動向 21世紀の社会保障＝戦後50年の総括と展望——社会政策学会第92回大会を振り返って 真屋尚生

書評と紹介 太田和宏著『家父長制の歴史構造——近代ドイツの労務管理と社会政策』 相馬保夫
藤井治枝著『日本型企業社会と女性労働』 長谷川伸子
和田春樹著『歴史としての野坂参三』 梅田俊英

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1996年8・9月

【1997年2月号 No.459】

【第10回国際労働問題シンポジウム】今、なぜ家内労働か？——ILOの家内労働条約・勧告をめぐって

特集にあたって 嶺 学
ILOにおける審議をめぐって 荒 竜夫

労働者の立場から 沖田信夫
使用者の立場から 橋本一美
ILO基準と日本の家内労働・新しい就業 諏訪康雄
質疑応答

参考資料：①家内労働条約・勧告審議過程の概要 ②家内労働に関する条約(第177号) ③家内労働に関する勧告(第184号) ④家内労働法 ⑤平成7年度家内労働調査結果報告の概要(労働省)

証言：日本の社会運動 日本政治経済研究所と『大衆政治経済』(3・完)——小林英三郎氏に聞く 吉田健二
研究回顧 戦後50年と私の労働問題研究 戸木田嘉久
書評と紹介 奥田健二監修・今田幸子・平田周一著『ホワイトカラーの昇進構造』 早川征一郎
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1996年10月

【1997年3月号 No.460】

論 文 日韓労使関係の比較史的検討 二村一夫
パートタイム労働の基幹労働力化の背景と方向 横山正博
資料紹介 アラン・ハット旧蔵 世界労働運動史コレクション 山内昭人
読書ノート 村山政権成立についての当事者の証言 五十嵐仁
書評と紹介 法政大学比較経済研究所・松崎義編『中国の電子・鉄鋼産業——技術革新と企業改革』小林謙一
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』1996年度総目次
所 報 1996年11月

【1997年4月号 No.461】

【特集】社会福祉システムと在宅介護

[講演] 介護保険を展望した保健・医療・福祉の連携システムのあり方 樋口恵子
在宅介護の現状と課題 山田美和子
論 文 電産賃金体系における「年齢」と「家族」——ジェンダー視点からの分析 山田和代
学会動向 今日の賃金問題——社会政策学会第93回研究大会を振り返って 遠藤公嗣
証言：日本の社会運動 戦前・戦後初期の松本重治(1)——殿木圭一氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 社会保障研究所編『医療保障と医療費』 箕岡三穂
加藤智章著『医療保険と年金保険——フランス社会保障制度における自立と平等』 高藤 昭
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1996年12月

【1997年5月号 No.462】

論 文 米国およびカナダの高齢者長期ケア政策と家族支援 萩原康子
女性請負型テレワークの実態と課題——家内労働及びパート労働との比較検討 神谷隆之
事例研究 中高年齢の機械工がコンピュータ職務へ転換することによって生じた労働負担 千田忠男
証言：日本の社会運動 戦前・戦後初期の松本重治(2・完)——殿木圭一氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 池上直己/J. C. キャンベル著『日本の医療——統制とバランス感覚』 根岸秀世
沖縄タイムス社編『50年目の激動——総集 沖縄・米軍基地問題』 高野和基
労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1997年1月

【1997年6月号 No.463】

【特集】アジア諸国の労働問題(1)——いま、なぜアジア諸国の労働問題か？

特集にあたって 早川征一郎
強い宗教は労務管理の妨げとなるか——インドのU.P.州クールジャにおける工場調査から
清川雪彦

パキスタンにおける産業と雇用——南アジアにおける資本・賃労働関係考察の周辺条件

竹内常善

フィリピンの労働力輸出 佐藤 忍

書評と紹介 宮島喬・梶田孝道編『外国人労働者から市民へ——地域社会の視点と課題から』 小川浩一

遠藤幸男著『就業構造の変化と労働者の生活——労働科学の諸問題として』 細川 汀

追 悼 宇佐美誠次郎先生のご逝去を悼む 早川征一郎

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1997年 2月

【1997年7月号 No.464】

【特集】アジア諸国の労働問題 (2)

1990年代のマレーシアの労働力構造——1970年代以降の経済発展と労働力不足をめぐる

吉村真子

シンガポールの労働市場動向——都市型の経済構造と労働力供給 竹野忠弘

韓国の「都市下層」と労働市場——1970年代から80年代前半までを中心に 横田伸子

証言：日本の社会運動 新聞単一の結成と2・1スト (1) ——川添隆行氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 十名直喜著『鉄鋼生産システム——資源、技術、技能の日本型諸相』 松崎 義

長部重康著『変貌するフランス——ミッテランからシラクへ』 佐伯哲朗

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1997年 3月

【1997年8月号 No.465】

講 演 『日本の経営』とその後 ジェームズ C. アベグレン

論 文 日本社会党の創立 (1) 鈴木徹三

証言：日本の社会運動 新聞単一の結成と2・1スト (2) ——川添隆行氏に聞く 吉田健二

海外通信 スペイン「国際旅団讃歌」について——国際旅団60年の足跡 川成 洋

書評と紹介 中村圭介著『日本の職場と生産システム』 鈴木良始

庄谷怜子著『現代の貧困の諸相と公的扶助——要保護層と被保護層』 川上昌子

日本労働ペンクラブ編『回想の労農記者会——労働ジャーナリズムの成立』 吉田健二

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1997年 4月

【1997年9月号 No.466】

【特集】アジア諸国の労働問題 (3)

タイ：国内人口移動と産業構造変化 渡辺真知子

全面改定された韓国労働法の争点 梁 官洙

論 文 日本社会党の創立 (2・完) 鈴木徹三

書評と紹介 サンドバルイ編著『充実した生産方式——ボルボ・ウッドヴェアラ工場とリーン生産方式』 嶺 学

西田美昭著『近代日本農民運動史研究』 横関 至

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1997年 5月

【1997年10月号 No.467】

【特集】アジア諸国の労働問題 (4)

パキスタンの労働事情——社会的特質から見た場合 深町宏樹

タイの労働裁判所：その設立の経緯と機能 浅見靖仁

証言：日本の社会運動 新聞単一の結成と2・1スト (3) ——川添隆行氏に聞く 吉田健二

学会動向 アジアの労働と生活——社会政策学会第94回大会を振り返って 小林英夫

書評と紹介 市原博著『炭鉱の労働社会史——日本の伝統的労働・社会秩序と管理』 荻野喜弘

山内昭人著『リユートヘルスとインタナショナル史研究——片山港・ボルシェヴィキ・アメリカ
レフトウィング』 犬丸義一

黒須純一郎著『イタリア社会思想史——リソルジメント民主派の思想と行動』 福田富夫

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1997年6月

【1997年11月号 No.468】

【特集】アジア諸国の労働問題 (5)

中国労働市場の構造 丸川知雄

中国国有企業の改革と労働問題——鉄鋼大企業の事例を中心に 李 捷生

1990年代中国における地域間人口移動の実態とメカニズム 巖 善平

証言：日本の社会運動 新聞単一の結成と2・1スト (4・完) ——川添隆行氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 Michael A. Weiner, *Race and Migration in Imperial Japan.*, 西成田豊著『在日朝鮮人の「世界」
と「帝国」国家』 岩村登志夫

熊沢誠著『能力主義と企業社会』 井上雅雄

石井耕著『現代日本企業の経営者——内部昇進の経営学』 長谷川義和

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1997年7月

【1997年12月号 No.469】

【特集】アジア諸国の労働問題 (6)

1950年代韓国企業の経営管理と労働者——大韓造船公社の事例分析 金 鎔基

韓国における日系進出企業の労使関係に関する研究——労使紛争とその激しさをめぐって

金 泰永

調査報告 韓国造船産業の経営管理と労使関係 相田利雄・金鎔基

書評と紹介 庄谷怜子・中山徹著『高齢在日韓国・朝鮮人——大阪における「在日」の生活構造と高齢福祉の
課題』 岩田正美

濱崎忠晃編著『資料で読む：電力会社はこんな会社』 小関隆志

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1997年8月

【1998年1月号 No.470】

論 文 「クローズIV社会主義」の類末——トニー・ブレアが否定したもの 尾上正人

A自動車の労働過程——A自動車における参与観察に基づいて 大野 威

証言：日本の社会運動 “日労”系指導者の戦後と『社会思潮』(1) ——松井政吉氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 金子征史編著『労働条件をめぐる現代的課題』 長瀬満男

中田照子・杉本貴代栄・森田明美共著『日米のシングルマザーたち——生活と福祉のフェミニス
ト調査報告』 川島美保

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所1996年度の歩み

所 報 1997年9月

【1998年2月号 No.471】

【第11回国際労働問題シンポジウム】有料職業紹介所条約(96号)の改正をめぐる——ILOにおける審議の示唆
するもの

特集にあたって 嶺 学

ILOにおける審議をめぐる 井上 真

労働者の立場から 久川博彦

使用者の立場から 松井博志

日本における雇用・労働市場政策の推移と現状 嶺 学

質疑応答

参考資料：①Convention 181: CONVENTION ON PRIVATE EMPLOYMENT AGENCIES ②民間職業紹介所に関する条約(第181号) ③Recommendation 188: RECOMMENDATION CONCERNING PRIVATE EMPLOYMENT AGENCIES ④民間職業紹介所に関する勧告(第188号) ⑤第181号条約(ILO事務局原案) ⑥条約・勧告の審議経過 ⑦職業紹介等の日本の諸統計

書評と紹介

法政大学大原社会問題研究所編『韓国労使関係の展開と現状』 金 鎔基

埋橋孝文著『現代福祉国家の国際比較——日本モデルの位置づけと展望』 藤田伍一・大竹晴佳

Theda Skocpol, *Social Policy in the United States: Future Possibilities in Historical Perspective*

武内砂由美

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1997年10月

【1998年3月号 No.472】

論 文 労働者自主管理企業における経営と生産(上)——労働者の実践的学習過程 小関隆志

第二次ペンリン争議における軍隊派遣問題 久木尚志

批判と反論 パキスタンの労働力と経済発展——竹内・深町論文へのコメント 黒崎 卓

証言：日本の社会運動 “日労”系指導者の戦後と『社会思潮』(2)——松井政吉氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 兵藤釦著『労働の戦後史』(上)(下) 熊沢 誠

石田光男・藤村博之・久本憲夫・松村文人著『日本のリーン生産方式——自動車企業の事例』

大野 威

大竹美登利著『大都市雇用労働者夫妻の生活時間にみる男女平等』 水野谷武志

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』1997年度総目次

所 報 1997年11月

【1998年4月号 No.473】

論 文 福祉国家の規範理論に向けて——再分配と承認 山森 亮

労働者自主管理企業における経営と生産(下)——労働者の実践的学習過程 小関隆志

学会動向 社会政策学会100年——社会政策学会第95回大会を振り返って 荒又重雄

読書ノート 『講座：現代日本』(全四巻)を読んで——「現代帝国主義論」と「新福祉国家論」の提起 五十嵐仁

書評と紹介 「社会政策叢書」編集委員会編『今日の賃金問題』 舟橋尚道

林玲子・柳田節子監修・アジア女性史国際シンポジウム実行委員会編『アジア女性史——比較史の試み』 松尾純子

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1997年12月

【1998年5月号 No.474】

論 文 戦後西ドイツと外国人労働者——イタリア人労働者導入決定への道 矢野 久

1980年代以降の人事院勧告をめぐる動向 早川征一郎

海外通信 ドイツにおける外国人問題をめぐる最近の動向 森 廣正

時 評 二枚目のカード——労働組合同期成会100周年シンポジウムの感想 高橋彦博

研究ノート 新たに「発見」された『プロレタリア科学』について 梅田俊英

書評と紹介 下山房雄著『現代世界と労働運動——日本とフランス』 芹澤壽良

井上雅雄著『社会変容と労働——「連合」の成立と大衆社会の成熟』 平井陽一

労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1998年1月

【1998年6月号 No.475】

- 論 文 第二次大戦初期のドイツ戦争経済とイタリア人労働者 阿部正昭
 兩大戦間期フランス社会党の入閣論争(上) 佐伯哲朗
- 証言：日本の社会運動 “日労”系指導者の戦後と『社会思潮』(3)——松井政吉氏に聞く 吉田健二
- 資料紹介 横浜市史編集室蔵「森戸辰男」資料の現状 田崎公司
- 書評と紹介 高野房太郎著・大島清・二村一夫編訳『明治日本労働通信——労働組合の誕生』 池田 信
 社会政策学会編『二世紀の社会保障——戦後五〇年の総括と展望』 武川正吾
 CRI・生協労働研究会編『90年代の生協改革——コープかながわ・コープしずおかの葛藤』
 小関隆志
- 労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 所 報 1998年2月

【1998年7月号 No.476】

- 論 文 コミュニティワークからみた保健・医療・福祉の総合化 吉浦 輪
 ヴァイマル初期のヒルファディングの国際労働運動論 河野裕康
 1920年代農民運動における教育活動(上)——日本農民組合香川県連合会を事例として 横関 至
 労働組合の研究集会活動にみる労働者教育——日本生協連労働組合の「生協研究会」を事例に
 小関隆志
- 書評と紹介 C. ベリグレン著／丸山恵也・黒川文字訳『ボルボの経験——リーン生産方式のオルタナティブ』
 嶺 学
 宮元義雄著『官官接待と監査——情報公開と市民オンブズマン』 早川征一郎
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 所 報 1998年3月

【1998年8月号 No.477】

【特集】高齢社会における介護と医療

- 高齢者介護問題と公的介護保険——公的介護保険は、介護問題をどこまで解決できるのか
 町田隆男
 医療における医療評価システムについて——質の評価の観点から 一戸真子
 [取材ノート]在宅主義の裏側で——「ウチにいたい」「ウチにいるしか」の周辺 山口道宏
- 証言：日本の社会運動 “日労”系指導者の戦後と『社会思潮』(4)——松井政吉氏に聞く 吉田健二
- 書評と紹介 杉本貴代栄著『女性化する福祉社会』 久場嬉子
 川人博著『過労自殺』 五十嵐仁
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 所 報 1998年4月

【1998年9月号 No.478】

- 論 文 創り出される労働市場——非合法就労者の移動のメカニズム 丹野清人
 1920年代農民運動における教育活動(中)——日本農民組合香川県連合会を事例として 横関 至
 兩大戦間期フランス社会党の入閣論争(下) 佐伯哲朗
- 証言：日本の社会運動 “日労”系指導者の戦後と『社会思潮』(5・完)——松井政吉氏に聞く 吉田健二
- 文献紹介 Eric Lee, *The Labour Movement and Internet; the New Internationalism* (エリック・リー『労働
 運動とインターネット——新たな国際主義』) 二村一夫
- 書評と紹介 伊田広行著『21世紀労働論——規制緩和へのジェンダー的対抗』 浅野富美枝
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 所 報 1998年5月

【1998年10月号 No.479】

【特集】戦前の社会科学研究所

東京社会科学研究所の社会実験 高橋彦博
東京政治経済研究所の設立と事業——戦前期の一社会科学研究所 吉田健二
社会思想社の一側面（上）——田中九一と東大新人会OBの動向 梅田俊英

追悼 舟橋尚道先生のご逝去を悼む 早川征一郎

社会政策学会会員研究業績一覧 社会政策学会

所報 1998年6月

【1998年11月号 No.480】

論文 フランス自動車産業の行方とEU労使協議制——ルノー・ヴィルヴォルド問題の射程距離
荒井壽夫

1920年代農民運動における教育活動（下）——日本農民組合香川県連合会を事例として 横関 至

史料紹介 モスクワで見つかった河上肇の手紙 加藤哲郎

学会動向 日雇労働者・ホームレス——社会政策学会第96回大会を振り返って 松丸和夫

書評と紹介 岩本勲著『現代フランス政治過程の研究——1981～1995』 佐伯哲朗

杉村芳美著『「良い仕事」の思想——新しい仕事倫理のために』 小関隆志

追悼 上杉捨彦先生のご逝去を悼む 早川征一郎

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所報 1998年7月

【1998年12月号 No.481】

論文 労働安全衛生と福祉国家——分権的自立的福祉国家への歩み 中野育男

インターネットと労働運動——世界と日本の労働組合サイト 二村一夫

社会思想社の一側面（下）——田中九一と東大新人会OBの動向 梅田俊英

1922年9月の日本共産党綱領（上） 加藤哲郎

書評と紹介 大山博・嶺学・柴田博編著『保健・医療・福祉の総合化を目指して——全国自治体調査をもとに』
坂本重雄

五十嵐仁著『政党政治と労働組合運動——戦後日本の到達点と二十一世紀への課題』

田口富久治

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所報 1998年8月

【1999年1月号 No.482】

論文 航空パイロットの労使関係 本田一成

90年代の新規大卒労働市場——大学ランク間格差と企業の採用行動 松尾孝一

1922年9月の日本共産党綱領（下） 加藤哲郎

読書ノート 権力資源論を超えて？——久米郁男著『日本型労使関係の成功——戦後和解の政治経済学』を
読む 新川敏光

書評と紹介 法政大学大原社会問題研究所編『現代の韓国労使関係』 尹辰浩／横田安司訳

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所報 1998年9月

【1999年2月号 No.483】

【第12回国際労働問題シンポジウム】中小企業における雇用の創出——ILO勧告の示唆するもの

特集にあたって 嶺学

ILOにおける審議をめぐって 小島繁夫

使用者の立場から 遠藤寿行

労働者の立場から 松井保彦

日本における中小企業雇用拡大の途 相田利雄

質疑応答

参考資料：①1997～98年 審議主要経過 ②Recommendation 189 ③中小企業における雇用創出の奨励のための一般条件に関する勧告（第189号）（仮訳）

書評と紹介 加瀬和俊著『戦前日本の失業対策——救済型公共土木事業の史的分析』 加藤佑治
堀勝洋著『現代社会保障・社会福祉の基本問題——21世紀へのパラダイム転換』 埋橋孝文

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

法政大学大原社会問題研究所1997年度の歩み

所 報 1998年10月

【1999年3月号 No.484】

論 文 スウェーデン自動車産業における生産システムと賃金制度——ボルボ・バス工場の場合
浅生卯一

1962-63年イタリア金属機械協約闘争の意義——近年の日本労使関係研究が見落としたこと
斉藤隆夫

回 想 大原社会問題研究所との43年間 [付：二村一夫年譜・著作目録] 二村一夫

書評と紹介 中北浩爾著『経済復興と戦後政治——日本社会党1945-51年』 吉田健二

D. Schmidtz and R. E. Goodin, *Social Welfare and Individual Responsibility: For and Against*
武内砂由美

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』1998年度総目次

所 報 1998年11月

【1999年4月号 No.485】

【特集】福祉国家とジェンダー

福祉国家のジェンダー化——1980年代以降の研究動向（欧米を中心として） 深澤和子

フィンランドの福祉国家と女性労働——その到達点と課題 高橋睦子

海外事情 イタリア公（益）企業の民営化 亀田利光

証言：日本の社会運動 読売争議のその後（1）——増山太助氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 久本憲夫著『企業内労使関係と人材形成』 鈴木 玲

本間重紀著『暴走する資本主義——規制緩和の行方と対抗戦略』 小関隆志

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1998年12月

【1999年5月号 No.486】

論 文 組織後退のなかでの労働運動の高揚——フランスの組合・争議研究の動向 松村文人

在宅介護労働の制度化過程——初期（1970年代～80年代前半）における領域設定と行為者属性の
連関をめぐって 森川美絵

欧州労使協議会指令94/45/ECの形成——EU政治組織と社会的パートナー P. ケルシュコフ/
中野聡訳

証言：日本の社会運動 読売争議のその後（2）——増山太助氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 村串仁三郎著『日本の鉱夫——友子制度の歴史』 市原 博

竹永三男著『近代日本の地域社会と部落問題』 横関 至

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 1999年1月

【1999年6月号 No.487】

論 文 コレクティブイズムは醸成されたか——英国戦時体制研究の新動向 尾上正人

在日ブラジル人の労働市場——業務請負業と日系ブラジル人労働者 丹野清人

横山源之助と米騒動 立花雄一

調査報告 人事考課と労働組合（調査中間報告） 田中 勉

書評と紹介 大須賀哲夫・下山房雄著『労働時間の短縮——その構造と理論』 小越洋之助
平尾武久・伊藤健市・関口定一・森川章編著『アメリカ大企業と労働者——1920年代労務管理史
研究』 奥林康司

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1999年2月

【1999年7月号 No.488】

【特集】健康と衛生の社会史

労働移民と健康政策——西ドイツ1950・60年代 矢野 久
19世紀後半ドイツにおける学校衛生 梅原秀元
国民化と学校身体検査 山本拓司

研究回顧 戦争直後派にとっての労働問題研究 荒又重雄

書評と紹介 ヒュー・ウイリアムスン著／戸塚秀夫監訳『日本の労働組合——国際化時代の国際連帯活動』
井上定彦
梅田俊英著『社会運動と出版文化——近代日本における知的共同体の形成』 伊藤 晃
松村文人・畑隆・細井雅夫著『よみがえる欧州労働運動』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1999年3月

【1999年8月号 No.489】

論 文 関係会社の分類と出向者の人事管理 西山昭彦
『民主評論』の創刊と編集・経営事情 (1) ——占領期の左翼評論誌 吉田健二

史料紹介 第一次共産党のモスクワ報告書 (上) 加藤哲郎

証言：日本の社会運動 産別民同がめざしたもの (1) ——三戸信人氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 上田章編『国会と行政』 高藤 昭
牧原憲夫著『客分と国民のあいだ——近代民衆の政治意識』 松尾純子

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
自己紹介 新任のあいさつ 鈴木玲・野村一夫
所 報 1999年4月

【1999年9月号 No.490】

論 文 コレクティブ・ルールからコモン・ルールへ——シドニー・ウェブの労働組合論の発展
藤井 透
イギリス労働組合会議 (TUC) のパートナーシップ戦略 小笠原浩一
『民主評論』の創刊と編集・経営事情 (2・完) ——占領期の左翼評論誌 吉田健二

証言：日本の社会運動 産別民同がめざしたもの (2) ——三戸信人氏に聞く 吉田健二

読書ノート 新しい社会政策論の構築のために——社会政策叢書編集委員会編『社会政策学会100年—100年の
歩みと来世紀に向かって』を読む 徳永重良

書評と紹介 青井和夫・高橋徹・庄司興吉編『福祉社会の家族と共同意識——21世紀の市民社会と共同性：
実践への指針』 田淵六郎
M. シルババーク著／林淑美・林淑姫・佐復秀樹訳『中野重治とモダン・マルクス主義』
梅田俊英

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1999年5月

【1999年10月号 No.491】

論 文 職場の同僚／部下としての外国人——外国人従業員を含む仲間意識構築の可能性を中心に
五十嵐泰正

学会動向 社会政策における国家と地域——社会政策学会第98回大会を振り返って 中村真人

- 書評と紹介 下山房雄・山本興治・澤喜司郎・香川正俊編著『現代の交通と交通労働』 安部誠治
濱野一郎・遠藤興一編著『社会福祉の原理と思想——主体性・普遍性をとらえ直すために』
岩崎晋也
井戸正伸著『経済危機の比較政治学——日本とイタリアの制度と戦略』 五十嵐仁
- 社会政策学会会員研究業績一覧 社会政策学会
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所 報 1999年6月

【1999年11月号 No.492】

- 論 文 韓国労使関係の新たな実験(上)——労使政委員会の成果とその評価 尹辰浩(金元重訳)
- 研究ノート 大原社会問題研究所創立前史の記録 高橋彦博
- 史料紹介 第一次共産党のモスクワ報告書(下) 加藤哲郎
- 証言:日本の社会運動 産別民同がめざしたもの(3・完)——三戸信人氏に聞く 吉田健二
- 書評と紹介 西村美香著『日本の公務員給与政策』 早川征一郎
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所 報 1999年7月

【1999年12月号 No.493】

- 論 文 「生産性ミラクル」論争とサッチャリズムの労使関係政策の一特質 上田眞士
韓国労使関係の新たな実験(下)——労使政委員会の成果とその評価 尹辰浩(金元重訳)
- 証言:日本の社会運動 『労働戦線』の創刊と編集事情(1)——松尾洋・佐藤茂久次氏に聞く 吉田健二
- 書評と紹介 (財)家計経済研究所編『ワンペアレント・ファミリー(離別母子世帯)に関する6カ国調査』
杉本貴代栄
新川敏光著『戦後日本政治と社会民主主義:社会党・総評ブロックの興亡』 鈴木 玲
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所 報 1999年8月

【2000年1・2月合併号 No.494-495】

【特集】創立80周年・法政大学合併50周年記念特集——大原社会問題研究所の過去と現在

- 創立80周年・法政大学合併50周年記念の特集について 早川征一郎
- 大原社会問題研究所の80年 二村一夫・早川征一郎
- 大原社会問題研究所80年の歩み
- 大原社会問題研究所Webサイト
- 所蔵図書・資料——所蔵図書・資料の概要
- 文献目録
- 現況
- 研究所利用案内
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 法政大学大原社会問題研究所1998年度の歩み
- 所 報 1999年9・10月

【2000年3月号 No.496】

- 論 文 ドイツにおける労働市場政策と雇用創出をめぐる若干の問題 松丸和夫
産別会議の組織と運動——研究史整理と通史再構成の試み 兵頭淳史
- 証言:日本の社会運動 電産10月闘争と電産型賃金——足立長太郎氏に聞く 吉田健二
- 批 判 加藤哲郎氏への反論——論文「1922年9月の日本共産党綱領(上)(下)」について 犬丸義一
萩原進氏の「韓国労使関係の歴史的展開と現状の基本問題」批判——研究者にとってエシックス
とは何か 渡辺 勉
- 書評と紹介 古川孝順著『社会福祉基礎構造改革——その課題と展望』 杉村 宏

遠藤公嗣著『日本の人事査定』 石田光男

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 1999年11月

【2000年4月号 No.497】

【特集】大原社会問題研究所創立80周年・法政大学合併50周年記念シンポジウム——労働の規制緩和と労働組合

特集にあたって 早川征一郎
連合の立場から 笹森 清
全労連の立場から 坂内三夫
日経連の立場から 紀陸 孝
研究者の立場から 高梨 昌
質疑討論

論 文 韓国自動車企業の生産管理と作業組織——H自動車の事例 呉 在 恒
研究ノート イギリス「国際旅団」の最後の挑戦 川成 洋
学会動向 社会構造の変動と労働問題——社会政策学会第99回大会を振り返って 長谷川義和
「グローバルな視点から見た日本の市民社会」会議について 鈴木 玲
書評と紹介 高木郁朗編『清水慎三著作集——戦後革新を超えて』 篠田 徹
中河伸俊著『社会問題の社会学——構築主義アプローチの新展開』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』1999年度総目次
所 報 1999年12月

【2000年5月号 No.498】

論 文 トヨタ生産方式と日本の生産システム——その共通性と異質性をめぐって 佐武弘章
日本型《労働組合主義》運動とその帰結——企業成長と労働者の利害は同一視できるか
山垣真浩
史料紹介 「非常時共産党」の真実——1931年のコミンテルン宛報告書 加藤哲郎
書評と紹介 庄司俊作著『日本農地改革史研究』 横関 至
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2000年1月

【2000年6月号 No.499】

論 文 労働・余暇・アイデンティティ——ホワイトカラーの時間意識 井上雅雄
日系人労働市場のミクロ分析——日系人雇用と地域コミュニティ 丹野清人
再考横山源之助と米騒動 立花雄一
史料紹介 日本社会主義者とコミンテルン・アムステルダム・サブビューローとの通信, 1919-1920年
山内昭人
書評と紹介 工藤幸男著『日本とILO——黒子としての半世紀』 岩瀬 孝
平塚真樹編『労働者協同組合で働く青年たち——日本労働者協同組合連合会センター事業団・
事業所で働く青年層のキャリア意識調査報告』 小関隆志
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2000年2月

【2000年7月号 No.500】

【特集】500号記念特集：労働問題研究の現在—1980~2000年（1）

特集にあたって 早川征一郎
労働とジェンダー 木本喜美子
労働市場 野村正實
労働者協同組合 小関隆志

書評と紹介 Jonathan Boston, Paul Dalziel and Susan St John(eds.), *Redesigning the Welfare State in New Zealand: Problems, Policies, Prospects* 武内砂由美
鈴木良平著『アイルランド問題とは何か——イギリスとの闘争, そして和平へ』 川成 洋
人事院創立50周年記念セミナー報告書『フランスENA官僚の実像』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』402～500号総目次

所 報 2000年3月

【2000年8月号 No.501】

【特集】労働問題研究の現在——1980～2000年(2)

賃金 遠藤公嗣

非正規雇用——派遣労働を中心に 伍賀一道

社会保障の研究史 高藤 昭

書評と紹介 山田陽一著『ODAとNGO——社会開発と労働組合』 初岡昌一郎

角瀬保雄・川口清史編著『非営利・協同組織の経営』 三枝麻由美

権上康男著『フランス資本主義と中央銀行——フランス銀行近代化の歴史』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年4月

【2000年9月号 No.502】

論 文 「労働の人間化としての職務設計」の基礎——デビス・グループの1950年代職務設計理論の考察 庄村 長

イギリスにおける賃金審議会の廃止と全国最低賃金制度の導入 田口典男

調査報告 電機企業の技術者の職務と人事管理 市原 博

書評と紹介 リチャード・ウェーランほか著／高田ゆみ子訳『ロバート・キャパ スペイン内戦』 川成 洋

成澤むつ子著『自立の開拓者丸岡秀子——わたしの女性史学習ノート』, 寺澤正著『三代の男たちと丸岡秀子』 松尾純子

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年5月

【2000年10月号 No.503】

論 文 知的熟練論の実証的根拠——小池和男における理論と実証 野村正實

学会動向 自己選択と共同性—20世紀の労働と福祉——社会政策学会第100回大会を振り返って 長谷川義和

書評と紹介 石川准・長瀬修編著『障害学への招待』 岩崎晋也

色摩力夫著『フランコ スペイン現代史の迷路』 川成 洋

林宥一著『「無産階級」の時代——近代日本の社会運動』 梅田俊英

社会政策学会会員研究業績一覧 社会政策学会

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年6月

【2000年11月号 No.504】

【特集】労働問題研究の現在——1980～2000年(3)

労働組合 井上雅雄

中小企業の労働問題——企業規模別賃金格差論を中心として 猿田正機

論 文 公共部門における労働組合の競合——日本の事例 フランソワ・シマー

書評と紹介 三富紀敬著『イギリスの在宅介護者』 堀越栄子

財団法人日本ILO協会編『講座 ILO(国際労働機関)——社会正義の実現をめざして(上)(下)』

早川征一郎

田沼 肇先生のご逝去を悼む 五十嵐仁

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2000年7月

【2000年12月号 No.505】

- 論 文 ゼーハイマー・クライスと90年代のドイツ社会民主党——党内右派グループの素描 小野 一
ドイツ労働者書記局における法と運動 岩佐卓也
- 研究ノート 1930年代前半期フランスの財政危機とデフレ政策 佐伯哲朗
- 書評と紹介 大山博・炭谷茂・武川正吾・平岡公一編著『福祉国家への視座——揺らぎから再構築へ』
埋橋孝文
早川征一郎著『国家公務員の昇進・キャリア形成』 猪木武徳
M. H. Gibbs, *Struggle and Purpose in Postwar Japanese Unionism* 鈴木 玲

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所1999年度の歩み
所 報 2000年8月

【2001年1月号 No.506】

- 論 文 都市、貧困、住民組織——韓国経済発展の裏側 五石敬路
人事管理と雇用平等法制度——アメリカ人事管理に公民権第七編が与えたインパクト 片岡洋子
- 史料紹介 在墨片山潜の書簡と草稿類, 1921年 山内昭人
- 書評と紹介 中村健之介・中村喜和・安井亮平・長縄光男編訳『宣教師ニコライの日記抄』 川成 洋
賀川豊彦記念講座委員会編『賀川豊彦から見た現代』 横関 至
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2000年9月

【2001年2月号 No.507】

【特集】労働問題研究の現在——1980~2000年(4)

- 人事労務管理 橋元秀一
労使関係——自動車・鉄鋼産業を中心にして 鈴木 玲
- 論 文 労働条件は職務意識を決定する主要因か? ——武漢市機械工業における意識調査を中心に
清川雪彦・関権・高田誠
- 書評と紹介 岩井浩・福島利夫・藤岡光夫編著『現代の労働・生活と統計』 三富紀敬
法政大学大原社会問題研究所編『証言 産別会議の運動』 栗木安延
中野隆生著『プラーグ街の住民たち——フランス近代の住宅・民衆・国家』 佐伯哲朗
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2000年10月

【2001年3月号 No.508】

【第13回国際労働問題シンポジウム】母性保護の国際的基準——ILO母性保護条約・勧告の改定をめぐって

- 特集にあたって 早川征一郎
ILOにおける審議をめぐって 足利聖治
労働者の立場から 高島順子
使用者の立場から 鈴木重也
ILO基準と日本の母性保護制度 木村愛子
質疑応答
参考資料 ①Convention 183 ②Recommendation 191 ③1952年の母性保護条約(改正)に関する改正条約(第183号)(仮訳) ④1952年の母性保護に関する勧告の改正勧告(第191号)(仮訳)
⑤連合資料「ILOの母性保護条約・勧告改定審議結果」 ⑥2000年母性保護条約・勧告採決結果
- 書評と紹介 平井陽一著『三池争議——戦後労働運動の分水嶺』 戸木田嘉久
平英美・中河伸俊編『構築主義の社会学——論争と議論のエスノグラフィー』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2000年11月

【2001年4月号 No.509】

論 文 戦間期日本における就業分類概念の形成過程——東京圏の事例 谷沢弘毅
福祉国家類型論と女性の就労 堀江孝司
史料紹介 新たに発見された「沖縄・奄美非合法共産党文書」について（上） 加藤哲郎
研究ノート ラルフ・フォックス覚書き——スペイン内戦に殉じた若きイギリスの文学者 川成 洋
書評と紹介 吉原健二・和田勝著『日本医療保険制度史』 西岡幸泰
山岡義典編著『NPO基礎講座3——現場から見たマネジメント』 小関隆志
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2000年12月

【2001年5月号 No.510】

【特集】労働史研究の現在—1980～2000年（1）

戦前期日本の労働史研究 市原 博
戦後期日本の労働史研究 三宅明正
史料紹介 新たに発見された「沖縄・奄美非合法共産党文書」について（下） 加藤哲郎
書評と紹介 松村文人著『現代フランスの労使関係』 長部重康
前原穂積編著『検証 沖縄の労働運動——沖縄戦後史の流れの中で』 南雲和夫
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年1月

【2001年6月号 No.511】

論 文 欧州の労使関係とドイツ・モデル 石塚史樹
「社会的表象としてのサラリーマン」の登場——戦前俸給生活者の組合運動をどう見るか
高橋正樹
明治期日本における開業医集団の成立——専門医と一般医の身分分離構造を欠く日本の医師集団
の源流 猪飼周平
書評と紹介 木下賢一著『第二帝政とパリ民衆の世界——「進歩」と「伝統」のはざままで』 佐伯哲朗
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年2月

【2001年7月号 No.512】

【特集】労働史研究の現在—1980～2000年（2）

ドイツ労働史・労働運動史研究 相馬保夫
論 文 韓国の企業別労働組合における内部政治——H自動車労組の現場組織を中心に 趙孝來／金元重訳
研究ノート 1930年代イギリス知識人の肖像——サー・リチャード・リース（1900～70）管見 川成 洋
海外通信（1） 米国における日本研究の一断面——アジア研究学会とハーバード東アジア協会の研究集会に参加
して 五十嵐仁
書評と紹介 岩田正美著「ホームレス／現代社会／福祉国家——「生きていく場所」をめぐる」 玉井金五
柴山恵美子・藤井治枝・渡辺峻編著『各国企業の働く女性たち』 川島美保
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
OISR.ORGの窓 [1] 本誌をオンラインジャーナル化 野村一夫
所 報 2001年3月

【2001年8月号 No.513】

【特集】向坂逸郎——人と蔵書

特集にあたって 早川征一郎

向坂逸郎——その人と業績 小島恒久
向坂逸郎主要著作目録 和氣 誠
向坂逸郎文庫の図書・資料 吉田健二
回顧：向坂逸郎氏の蔵書について——向坂ゆき氏に聞く

書評と紹介 Duncan McCargo, *Contemporary Japan* 五十嵐仁
北河賢三著『戦後の出発——文化運動・青年団・戦争未亡人』 松尾純子
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年4月

【2001年9月号 No.514】

論 文 日本農民組合の再建と社会党・共産党（上） 横関 至
中国における労使関係の展開——中華全国総工会を中心にして 石井知章
知的障害者の人権に関する考察——裁判事例と調査事例を中心に 川上輝昭
書評と紹介 熊沢誠著『女性労働と企業社会』 深澤和子
Fritz W. Sharpf and Vivien A. Schmidt eds., *Welfare and Work in the Open Economy* 武内砂由美
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年5月

【2001年10月号 No.515】

論 文 電機産業のパートタイマーをめぐる労使関係——A社の定時社員制度を中心に 禿あや美
研究ノート 外国人単純技能労働者の労働市場と事業所内労働力配置の展開——岐阜県可見市、美濃加茂市立
地事業所の事例研究から 坂 幸夫
証言：日本の社会運動 『労働戦線』の創刊と編集事情（2）——松尾洋・佐藤茂久次氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 Walter Müller-Jentsch und Peter Ittermann, *Industrielle Beziehungen Daten, Zeitreihen, Trends*
1950～1999 徳永重良
北沢栄著『公益法人——隠された官の聖域』 早川征一郎
社会政策学会会員研究業績一覧 社会政策学会
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年6月

【2001年11月号 No.516】

【特集】労働史研究の現在—1980～2000年（3）
日本におけるイギリス労働史研究——実証の深化と意味の希薄化 小野塚知二
日本におけるフランス労働史研究 中野隆生
論 文 日本農民組合の再建と社会党・共産党（下） 横関 至
海外通信 レイバーノーツ2001年大会とチームスターズ民主化同盟 五十嵐仁
書評と紹介 中北浩爾・吉田健二編『片山・芦田内閣期 経済復興運動資料』（全10巻） 浅井良夫
李旼珍著『賃金決定制度の韓日比較——企業別交渉制度の異なる実態』 鈴木 玲
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年7月

【2001年12月号 No.517】

【特集】社会保障と社会保障研究の現在—1980～2000年（1）
イギリス社会保障の動向と現在 檜原 朗
フランス社会保障研究の現在 藤井良治
研究ノート 戦後社会運動史資料論——鈴木茂三郎 鈴木徹三
書評と紹介 宮本太郎著『福祉国家という戦略——スウェーデンモデルの政治経済学』 飯野靖四
李捷生著『中国《国有企業》の経営と労使関係——鉄鋼産業の事例（1950年代～90年代）』
洪 明順

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年 8 月

【2002年 1 月号 No.518】

【特集】社会保障と社会保障研究の現在—1980～2000年（2）

スウェーデン社会保障研究の動向 渡辺博明

ドイツ社会保障研究文献 古瀬 徹

論 文 金大中政府の構造調整政策（上） 金基元／金元重訥

証言：日本の社会運動 『労働戦線』の創刊と編集事情（3・完）——松尾洋・佐藤茂久次氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 法政大学比較経済研究所・森廣正編『国際労働力移動のグローバル化——外国人定住と政策課題』
桑原靖夫

山口稔著『社会福祉協議会理論の形成と発展』 真田 是

荒川章二著『軍隊と地域』 横関 至

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年 9 月

【2002年 2 月号 No.519】

【特集】社会保障と社会保障研究の現在—1980～2000年（3）

カナダ福祉国家研究の地平 新川敏光

ニュージーランド社会保障研究の現在 武内砂由美

論 文 金大中政府の構造調整政策（下） 金基元／金元重訥

証言：日本の社会運動 救援運動の再建と政治犯の釈放（1）——梨木作次郎氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 田中和男著『近代日本の福祉実践と国民統合——留岡幸助と石井十次の思想と行動』 室田保夫
「社会民主党百年」資料刊行会編・山泉進責任編集『社会主義の誕生——社会民主党100年』
梅田俊英

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年10月

【2002年 3 月号 No.520】

【第14回国際労働問題シンポジウム】21世紀の社会保障——ILO総会報告・討議の示唆するもの

特集にあたって 早川征一郎

ILOにおける討議をめぐって 川野宇宏

労働者の立場から 村杉直美

使用者の立場から 氏田 誠

ILO基準と日本の社会保障制度 高藤 昭

質疑応答

参考資料：①2001年第89回ILO総会 第6議題「社会保障の課題、挑戦、展望」に関する一般討議
における決議と結論（連合仮訳） ②社会保障の最低基準に関する条約（第102号）

書評と紹介 小松裕著『田中正造の近代』 山泉 進

野添憲治著『労農運動に生きる——秋田の先覚者たち』 吉田健二

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所2000年度の歩み

『大原社会問題研究所雑誌』2001年度総目次

所 報 2001年11月

【2002年 4 月号 No.521】

論 文 パート労働の職域と要員をめぐる労使交渉——ホテル業B社の事例 佐野嘉秀

ドイツ企業管理層職員（Führungskräfte）による被用者利益代表システム——その1990年代における調整 石塚史樹

覚書 日安制度下の最低賃金制度の展開と当面するジレンマ 嶺 学
書評と紹介 都留康編著『生産システムの革新と進化——日本企業におけるセル生産方式の浸透』 富田義典
池田光穂著『実践の医療人類学——中央アメリカ・ヘルスケアシステムにおける医療の地政学的展開』 野村一夫
Tom Gill, *Men of Uncertainty: The Social Organization of Day Laborers in Contemporary Japan*
中山いづみ

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2001年12月

【2002年5月号 No.522】

【特集】協働会の組織と調査事業

特集にあたって 早川征一郎
協働会調査事業の特徴 高橋彦博
協働会の組織動向——「知的共同体」論によせて 梅田俊英
協働会農村課長松村勝治郎についての一考察 横関 至

研究ノート 戦後社会運動史資料論——鈴木茂三郎 (2) 鈴木徹三

証言：日本の社会運動 救援運動の再建と政治犯の釈放 (2) ——梨木作次郎氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 武川正吾著『社会政策のなかの現代——福祉国家と福祉社会』 相澤興一
堤和馬著『特殊法人解体白書——ヒト・カネ・利権の全データ』 早川征一郎

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2002年1月

【2002年6月号 No.523】

【特集】日本の社会保障：動向と現在 (1)

社会保障法原理後退の過程と現状および課題 高藤 昭
日本社会保障と「財政調整」システム 玉井金五

論 文 「家族ぐるみ」闘争における消費活動をめぐる攻防——日鋼室蘭争議 (1954年) を事例として
中村広伸

証言：日本の社会運動 救援運動の再建と政治犯の釈放 (3・完) ——梨木作次郎氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 天野寛子著『戦後日本の女性農業者の地位——男女平等の生活文化の創造へ』 吉田義明
法政大学大原社会問題研究所編・梅田俊英著『ポスターの社会史——大原社研コレクション』
小沢節子
水島治郎著『戦後オランダの政治構造——ネオ・コーポラティズムと所得政策』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2002年2月

【2002年7月号 No.524】

【特集】日本の社会保障：動向と現在 (2)

公的年金制度の動向と論点——社会保険方式から公費負担方式へ 里見賢治
日本の児童手当制度の展開と変質 (上) ——その発展を制約したもの 北 明美

論 文 夫婦間の所得の組み合わせの変化が所得格差に与える影響 森 剛志

書評と紹介 大森真紀著『イギリス女性工場監督職の史的研究——性差と階級』 今井けい
広田義治編著『日鋼労働者と主婦の青春——1954年日鋼室蘭闘争の記録』 鎌田とし子
森裕城著『日本社会党の研究——路線転換の政治過程』 五十嵐仁

OISR.ORGの窓 [2] [資料紹介] 産別会議旧蔵のパンフレット 吉田健二

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2002年3月

【2002年8月号 No.525】

【特集】日本の社会保障：動向と現在（3）

- 高齢者福祉サービスの政策動向と構造変化 伊藤周平
医療「構造改革」と国民皆保険体制 西岡幸泰
史料紹介 モスクワのコミンテルン史料——スペイン内戦関連文書の現状 鳥田 顕
海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（1）——アメリカの労働関係研究所と労働史研究機関
国際協会 五十嵐仁
書評と紹介 京極高宣・武川正吾編『高齢社会の福祉サービス』 中村律子
篠田武司編著『スウェーデンの労働と産業——転換期の模索』 渡辺博明
追 悼 鈴木徹三先生のご逝去を悼む 早川征一郎
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2002年4月

【2002年9・10月号 No.526・527】

- 講 演 老人医療の現状と政策の流れ 石井映禧
【特集】日本の社会保障：動向と現在（4）
家族政策・男女平等と社会保障 都村敦子
日本の児童手当制度の展開と変質（中）——その発展を制約したもの 北 明美
論 文 社会主義の世俗化と第一次世界大戦——「クローズIV社会主義」前史 尾上正人
研究ノート 田沼裁判の意義——福祉のあり方への問いかけ 松尾純子
書評と紹介 猪木武徳・連合総合生活開発研究所編著『《転職》の経済学——適職選択と人材育成』
今野浩一郎
高藤昭著『外国人と社会保障法——生存権の国際的保障法理の構築に向けて』 手塚和彰
山本恒人著『現代中国の労働経済1949～2000——「合理的低賃金制」から現代労働市場へ』
李 捷生
宮城孝著『イギリスの社会福祉とボランティアセクター——福祉多元化における位置と役割』
井岡 勉
増山太助著『戦後期 左翼人士群像』 吉田健二
伊藤晃著『日本労働組合評議会の研究——1920年代労働運動の光芒』 梅田俊英
学会動向 雇用関係の変貌 雇用形態の多様化と時間管理の変化——社会政策学会第104回大会を振り返って
五十嵐仁
社会政策学会会員研究業績一覧 社会政策学会
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所2001年度の歩み
所 報 2002年5・6月

【2002年11月号 No.528】

【特集】外国人労働者問題の研究動向（1）

- 日本における外国人労働者問題の研究動向——文献を中心にして 森 廣正
ドイツの外国人労働者に関する研究展望 山本健兒
論 文 グローバリゼーション下の産業再編と地域労働市場——自動車産業にみる周辺部労働間競争
丹野清人
研究機関動向 労働関係シンクタンク交流フォーラムに参加して 五十嵐仁・鈴木玲
書評と紹介 河村貞枝著『イギリス近代フェミニズム運動の歴史像』 安川悦子
大友信勝著『公的扶助の展開——公的扶助研究運動と生活保護行政の歩み』 杉村 宏
小林謙一編著『中国沿海部の産業発展と雇用問題』 菊池道樹
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2002年7月

【2002年12月号 No.529】

【特集】外国人労働者問題の研究動向（2）

- フィリピンからみた外国人労働問題研究の現在 佐藤 忍
パキスタン労働市場の研究 黒崎卓・小田尚也
- 論文 大日本農民組合の結成と社会大衆党——農民運動指導者の戦時下の動静 横関 至
- 研究回顧シリーズ連載にあたって 早川征一郎
- 研究回顧 賃金と労働組合 高木督夫
- 海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（2）——ラバディエ・コレクションとルーサー記念図書館 五十嵐仁
- 書評と紹介 渡辺博明著『スウェーデンの福祉制度改革と政治戦略——付加年金論争における社民党の選択』石原俊時
小内透・酒井真編著『日系ブラジル人の定住化と地域社会——群馬県太田・大泉地区を事例として』 都築くるみ
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2002年8月

【2003年1月号 No.530】

特別寄稿 今日の経済・社会政策の潮流批判——労働研究再構築の視点から 高梨 昌

【特集】外国人労働者問題の研究動向（3）

- 国際労働力移動問題とタイ——研究動向と今後の課題 浅見靖仁
中国国内労働力移動に関する研究動向——1990年代の出稼ぎ労働力移動を中心に 洪 明順
- 海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（3）——ヤングスタウン州立大学労働者階級研究センターと労働者階級研究大会 五十嵐仁
- 書評と紹介 ロバート・フィッツジェラルド著／山本通訳『イギリス企業福祉論——イギリスの労務管理と企業内福利給付：1846-1939』 岩出 博
布川日佐史編著『雇用政策と公的扶助の交錯——日独比較：公的扶助における稼働能力の活用を中心に』 中村健吾
Hagen Koo, *Korean Workers: the Culture and Politics of Class Formation* 鈴木 玲
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2002年9月

【2003年2月号 No.531】

【特集】外国人労働者問題の研究動向（4）

- アメリカ合衆国における外国人労働者問題の研究動向——日本の研究を中心に 庄司啓一
インドにおける出稼ぎ移民問題——その流入と流出をめぐって 唐規昭・清川雪彦
- 論文 ドイツ企業における組織形態・経営方式の変質と企業管理層職員の雇用システム（上）石塚史樹
- 研究ノート 戦後社会運動史資料論——鈴木茂三郎（3） 鈴木徹三
- 研究回顧 『社会政策論の方向転換』への旅（上） 池田 信
- 海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（4）——労使関係研究協会（IRRA）全国政策フォーラムとミーニー・センター 五十嵐仁
- 書評と紹介 櫻井幸男著『現代イギリス経済と労働市場の変容——サッチャーからブレアへ』 田口典男
Ramesh Mishra, *Globalization and the Welfare State* 高藤 昭
柄本三代子著『健康の語られ方』 野村一夫
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2002年10月

【2003年3月号 No.532】

【特集】外国人労働者問題の研究動向（5）

外国人労働者受け入れ論議が照らし出す日本の課題——1980～90年代の日本国内における研究

論文	動向の特徴 中川 功 ドイツ企業における組織形態・経営方式の変質と企業管理層職員の雇用システム (下) 石塚史樹
研究回顧	『社会政策論の方向転換』への旅 (下) 池田 信
史料紹介	第Ⅱ期 (1931～1940年) 協調会とその所蔵史料について 梅田俊英・横関至
書評と紹介	アンドルー・ゴードン編／中村政則監訳『歴史としての戦後日本』上下 石田 雄 山下充著『工作機械産業の職場史 1889～1945——「職人わざ」に挑んだ技術者たち』 前田裕子 水野秋著『太田薫とその時代——「総評」労働運動の栄光と敗退』 五十嵐仁
OISR.ORGの窓 [3]	20世紀ポスター展 (戦後版) の公開について 鈴木 玲
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』2002年度総目次	
所 報	2002年11月

【2003年4月号 No.533】

【第15回国際労働問題シンポジウム】協同組合の振興のために——ILO新勧告と日本

	特集にあたって 早川征一郎 ILOにおける審議をめぐって 水野順一郎 労働者の立場から 梅村敏幸 使用者の立場から 白井啓能 ILOの新勧告と日本 中川雄一郎 質疑応答 参考資料①Recommendation 193. ②協同組合の促進に関する勧告 (193号) ③発展途上にある 国の経済的及び社会的開発における協同組合の役割に関する勧告 (127号)
研究ノート	戦後社会運動史資料論——鈴木茂三郎 (4・完) 鈴木徹三
書評と紹介	池田信著『社会政策論の転換——本質-必然主義から戦略-関係主義へ』 高田一夫 舩橋晴俊・角一典・湯浅陽一・水澤弘光著『「政府の失敗」の社会学——整備新幹線建設と旧国鉄 長期債務問題』 澤喜司郎 伊豫谷登士翁著『グローバルゼーションと移民』 北村暁夫 岡崎鶴子著・刊行委員会編『追想 岡崎精郎』, 岡崎和郎著・和田書房・月刊『土佐』編集室編 『高知県農民運動史』 横関 至
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
所 報	2002年12月

【2003年5月号 No.534】

【特集】パート労働の国際比較 (1)

	ILO労働基準とパートタイム労働の新潮流 山岡照子 男女均等待遇原則の主流化に向かってEU労働法制の展開 (上) ——パートタイム労働理事会指令 と欧州裁判所判例 柴山恵美子
研究回顧	労働の社会化と社会的経済 富沢賢治
証言：日本の社会運動	食糧メーカーと天皇プラカード事件 (1) ——松島松太郎氏に聞く 吉田健二
海外研究事情	世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (5) ——コーネル大学産業・労使関係学部カサウッ ト図書館とキールセンター 五十嵐仁
書評と紹介	近藤敦著『外国人の人権と市民権』 門田 孝 エリナ・ハーヴィオ-マンニラ著／橋本紀子・森口藤子・橋本美由紀訳『仕事と家族と幸福感—— 北欧・東欧5大都市の比較調査』 高橋睦子 梶田孝道編著『国際化とアイデンティティ』 初瀬龍平
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
所 報	2003年1月

【2003年6月号 No.535】

【特集】パート労働の国際比較 (2)

オランダにおける働き方の多様化とパートタイム労働 正木祐司・前田信彦

ドイツ新パートタイム労働法制の2年間 宮前忠夫

男女均等待遇原則の主流化に向かってEU労働法制の展開 (中) ——パートタイム労働理事会指令と欧州裁判所判例 柴山恵美子

韓国における労働市場の柔軟化と非正規労働者の規模の拡大 横田伸子

証言：日本の社会運動 食糧メーカーと天皇プラカード事件 (2) ——松島松太郎氏に聞く 吉田健二

海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (6) ——マサチューセッツ大学アマースト校図書館とスミス・カレッジの資料館 五十嵐仁

書評と紹介 田中ひかる著『ドイツ・アナーキズムの成立——《フライハイト》派とその思想』 三宅 立

朝治武著『水平社の原像——部落・差別・解放・運動・組織・人間』 黒川みどり

高木郁朗著『労働経済と労使関係』 早川征一郎

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2003年2月

【2003年7月号 No.536】

【特集】パート労働の国際比較 (3)

「意識」としての労働政策——デンマークのソーシャル・アイデンティティの形成 佐藤とよ子

日本における労働力の重層化とジェンダー——パートタイム労働を中心に 三山雅子

論文 韓国財閥企業における大卒ホワイトカラーの賃金管理——S化学の事例 佐藤静香

海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (7) ——アムステルダムの博物館とフィンランドの労働組合中央組織 五十嵐仁

書評と紹介 相馬健次著『戦後日本生活協同組合論史——主要書籍を読み解く』 小関隆志

竹信三恵子著『ワークシェアリングの実像——雇用の分配か、分断か』 逢見直人

平岡公一編『高齢期と社会的不平等』 鎌田とし子

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2003年3月

【2003年8月号 No.537】

【特集】パート労働の国際比較 (4)

フランスのパートタイム労働——個人の労働時間短縮と半失業の狭間で 鈴木宏昌

男女均等待遇原則の主流化に向かってEU労働法制の展開 (下) ——パートタイム労働理事会指令と欧州裁判所判例 柴山恵美子

特別寄稿 産業報国会に対する官僚統制の分権構造 桜林 誠

桜林誠著作目録

証言：日本の社会運動 食糧メーカーと天皇プラカード事件 (3・完) ——松島松太郎氏に聞く 吉田健二

書評と紹介 野村一夫著『インフォアーツ論——ネットワーク的知性とはなにか?』 加藤哲郎

今村寛治著『〈労働の人間化〉への視座——アメリカ・スウェーデンのQWL検証』 浅生卯一

山本恵子著『行財政からみた高齢者福祉——措置制度から介護保険へ』 伊藤周平

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

OISR.ORGの窓 [4] 河上肇の直筆詩「同志野坂を迎へて」の公開について 早川征一郎

所 報 2003年4月

【2003年9・10月号 No.538・539】

【特集】協調会の研究

協調会研究の現状 高橋彦博

戦時下の協調会と村山重忠 梅田俊英

町田辰次郎と協調会 横関 至

海外研究事情	世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (8) ——フィンランド・タンペレで開かれた労働史研究機関国際協会大会 (1) 五十嵐仁
読書ノート	ある専門訳書における「擬人法への蹉跌」——ディディエ・ドマジエール著、都留民子訳『失業の社会学』(法律文化社、2002年2月刊)によせて 長部重康
書評と紹介	吉田健二著『戦後改革期の政論新聞——『民報』に集ったジャーナリストたち』 海老沢智士 洞口治夫著『グローバリズムと日本企業——組織としての多国籍企業』 安保哲夫 西成田豊著『中国人強制連行』 内海愛子 禹宗杭著『「身分の取引」と日本の雇用慣行——国鉄の事例研究』 野村正實
学会動向	新しい社会政策の構想 20世紀的前提を問う——社会政策学会第106回大会を振り返って 白井邦彦
社会政策学会会員研究業績一覧	社会政策学会
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所2002年度の歩み	
所 報	2003年5・6月

【2003年11月号 No.540】

【特集】中小企業の経営と労働 (1)

	「グローバル経済」下での国内製造業中小企業の存立展望と中小企業政策への含意 渡辺幸男 経済構造転換と地域経済振興 吉田敬一
論 文	新労働協約の締結と平和的労使関係の形成——川崎製鉄争議 (1948年) とその帰結をめぐって 濱田信夫
海外研究事情	世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (9) ——フィンランド・タンペレで開かれた労働史研究機関国際協会大会 (2) 五十嵐仁
書評と紹介	都留康著『労使関係のノンユニオン化——ミクロ的・制度的分析』 白井邦彦 中川雄一郎編『生協は21世紀に生き残れるのか——コミュニティと福祉社会のために』、野村秀和 編著『生協への提言——難局にどう立ち向かうか』 手島繁一
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
所 報	2003年7月

【2003年12月号 No.541】

【特集】中小企業の経営と労働 (2)

	日本経済の再生と中小企業運動・序説 大林弘道 日本における中小企業の研究動向——主体、意識、背景、方法、課題 寺岡 寛
論 文	ドイツにおける協約システムの分散化と企業別労働協約——食品加工産業における事例研究 大重光太郎
批判への応答	中国産業社会の一断面——拙編著の書評へのコメント 小林謙一
書評と紹介	松村高夫・解学詩・江田憲治編著『満鉄労働史の研究』 高橋泰隆 嶺学・時田純・季羽倭文子編著『高齢者の在宅ターミナルケア——その人らしく生きることを支える』 広井良典 工藤庸子著『ヨーロッパ文明批判序説——植民地・共和国・オリエンタリズム』 佐伯哲朗
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
所 報	2003年8月

【2004年1月号 No.542】

講 演	インターネットにおける学術情報公開の現状と課題——アカデミック・リソースの『地図』を書く 二木麻里
論 文	日本人の労働観——意識調査にみるその変遷 清川雪彦・山根弘子 パート労働者増加の要因——企業規模別による時系列分析 豊田奈穂 介護サービスの限度利用と金銭的価値に関する研究——墨田区の個票データを用いた実証分析

塚原康博

海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (10) ——スウェーデンの労働資料館と労働組合中央組織 五十嵐仁

書評と紹介 五十嵐仁著『戦後政治の実像——舞台裏で何が決められたか』 中馬清福
伊藤周平著『「構造改革」と社会保障——介護保険から医療制度改革へ』 武田 宏
倉田剛著『リバースモーゲージと住宅——高齢期の経済的自立』 大山 博

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2003年9月

【2004年2月号 No.543】

【特集】中小企業の経営と労働 (3)

中小企業の若年者就業状態と労働組合等の取り組み (上) 相田利雄

市民参加型の産業振興の試み——三鷹市産業振興計画づくりの事例 小谷紘司

論 文 「アリーナ転換」としての住民投票——徳島市・吉野川可動堰反対運動の事例から 高木竜輔

海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (11) ——ノルウェーの労働資料館と労働組合中央組織 五十嵐仁

批判への応答 本誌538・539号の長部重康著読書ノート「ある専門訳書における『擬人法への蹉跌』」に寄せて 都留民子

書評と紹介 横関至著『近代農民運動と政党政治——農民運動先進地香川県の分析』 中筋直哉
清川雪彦著『アジアにおける近代的工業労働力の形成——経済発展と文化ならびに職務意識』 絵所秀紀

佐口和郎・橋元秀一編著『人事労務管理の歴史分析』 久本憲夫

大野正和著『過労死・過労自殺の心理と職場』 鈴木安名

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2003年10月

【2004年3月号 No.544】

論 文 TUCと1944年国民保健サービス構想 伊澤 誠

釜石製鉄所における三鬼隆と生活構造——戦前期における企業人の社会的形成とアソシエーション 高木俊之

片山潜, 在米日本人社会主義団と初期コミンテルン 山内昭人

書評と紹介 千田忠男著『現代の労働負担』 酒井一博

平岡公一著『イギリスの社会福祉と政策研究——イギリスモデルの持続と変化』 星野信也

横山文野著『戦後日本の女性政策』 浅野富美枝

小熊英二著『〈民主〉と〈愛国〉——戦後日本のナショナリズムと公共性』 五十嵐仁

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』2003年度総目次

所 報 2003年11月

【2004年4月号 No.545】

【第16回国際労働問題シンポジウム】雇用関係の範囲 (労働者性) ——働く人の保護はどこまで及ぶか?

特集にあたって 早川征一郎

2003年6月の第91回ILO総会について 堀内光子

ILOにおける討議をめぐって 栗真保紀

労働者の立場から 滝沢 弘

使用者の立場から 輪島 忍

雇用関係の範囲 (労働者性) ——ILO討議と日本 鎌田耕一

質疑応答

参考資料①ILO2003年グローバル・レポート『仕事における平等の時』についてのファン・ソマザ

- イアILO事務局長メッセージ (ILO駐日事務所訊) ②バックグラウンド情報—「契約労働」の論議から「雇用関係」の範囲へ (ILO駐日事務所作成) ③雇用関係に関する決議 (ILO駐日事務所訊)
- 論文** 中小企業の若年者就業状態と労働組合等の取り組み (下) 相田利雄
- 海外研究事情** 世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (12) ——オランダの国際社会史研究所 五十嵐仁
- 書評と紹介** 遠州尋美著『グローバル時代をどう生きるか——自立コミュニティが未来をひらく』 加藤哲郎
田口亜紗著『生理休暇の誕生』 中山いづみ
姜徹編著『在日朝鮮韓国入史総合年表——在日同胞120年史』 吉田健二
- 社会・労働関係文献月録** 法政大学大原社会問題研究所
所報 2003年12月

【2004年5月号 No.546】

【特集】男女共同参画社会の理念と現実 (1)

- 男女共同参画施策の法的課題——ジェンダー平等の達成に向けて 浅倉むつ子
今日の性別職務分離の特徴と改正均等法の理念 石田好江
- 論文** 女性の長期勤続化による男女間賃金格差の動向——A社にみる1990年代の変化を事例として
小倉祥子
日本共産党機関誌『階級戦』から『マルクス主義』へ——「モスクワ報告書」と『マルクス主義』
解題 大野節子
- 海外研究事情** 世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (13) ——イギリスのTUC, 労働史研究資料センター,
人民の歴史博物館 五十嵐仁
- 書評と紹介** 稲上毅著『企業グループ経営と出向転籍慣行』 平澤克彦
鍋谷郁太郎著『ドイツ社会民主党と地方の論理——バイエルン社会民主党1890～1906』
石原俊時
山泉進著『平民社の時代——非戦の源流』 梅田俊英
- 社会・労働関係文献月録** 法政大学大原社会問題研究所
所報 2004年1月

【2004年6月号 No.547】

【特集】男女共同参画社会の理念と現実 (2)

- ジェンダー平等政策の展開と雇用における「結果の平等」——ジェンダー平等政策は「結果の平等」を実現しているか 清山 玲
育児における男女共同参画——私的領域のジェンダー変革に向けた家族政策の検討 下夷美幸
- 論文** 日本の児童手当制度の展開と変質 (下) ——その発展を制約したもの 北 明美
全自の賃金原則と日産分会の査定規制 (上) ——1952年秋闘の事例より 吉田 誠
- 海外研究事情** 世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (14) ——イギリス・ウォーリック大学現代情報センターとリーズ訪問 五十嵐仁
- 書評と紹介** 高木郁朗・住沢博紀・T. マイヤー編著『グローバル化と政治のイノベーション——「公正」の再構築をめざしての対話』 高橋善隆
石田光男著『仕事の社会科学——労働研究のフロンティア』 富田義典
橘木俊詔+橘木研究室編著『安心して好きな仕事ができますか——働き方の多様性とセーフティネット』 小杉礼子
島本慈子著『ルボ 解雇——この国でいま起きていること』 平澤純子
- 社会・労働関係文献月録** 法政大学大原社会問題研究所
所報 2004年2月

【2004年7月号 No.548】

- 講演** 大学と労働組合, NPOとのコラボレーションはどのように可能か? ——アメリカにおける現状と課題から探る ケント・ウォン/鈴木玲訳
- 論文** 労働組合再活性化戦略の研究サーベイ——制度と戦略の相互関係と3つの再活性化戦略の検討

鈴木 玲
全自の賃金原則と日産分会の査定規制（下）——1952年秋闘の事例より 吉田 誠
調査報告 介護職員の雇用形態の多様化と人事・給与管理 小林謙一
書評と紹介 篠原健一著『転換期のアメリカ労使関係——自動車産業における作業組織改革』 秋元 樹
坂田周一著『社会福祉における資源配分の研究』 大谷 強
平賀明彦著『戦前日本農業政策史の研究-1920-1945』 横関 至
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2004年3月

【2004年8月号 No.549】

講 演 最近の労働災害の特徴について 井上枝一郎
論 文 フランスにおける労使関係と労働組合の変化 松村文人
研究回顧 「社会労働運動史研究の45年」から 高橋彦博
書評と紹介 青木紀編著『現代日本の《見えない》貧困——生活保護受給母子世帯の現実』 庄谷怜子
ベティ・フリーダン著、ブリジッド・オフアレ編『女性労働問題研究会・労働と福祉部会誌、
杉本貴代栄解説『ピヨンド・ジェンダー——仕事と家族の新しい政治学』 有賀夏紀
ジェームス・グリーン著／篠田徹訳『歴史があなたのハートを熱くする——運動をよみがえさせ
なければ忘れてしまった闘いの過去を思い出せ』 高須裕彦
村尾祐美子著『労働市場とジェンダー——雇用労働における男女不公平の解消に向けて』
中村広伸
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2004年4月

【2004年9・10月号 No.550・551】

論 文 占領下日本の再軍備反対論と傷痍軍人問題——左派政党機関紙に見る白衣の傷痍軍人 植野真澄
電機産業における構内請負労働の実態 戸室健作
雇用主としての派遣会社の役割——苦情処理の分析を手がかりに 鹿生治行
特別寄稿 産業報国運動に関する東条英機陸軍次官通牒の分析 桜林 誠
桜林誠著作目録（第23巻）
書評と紹介 堀真由美著『テレワーク社会と女性の就業』 福留恵子
木曾順子著『インド 開発のなかの労働者——都市労働市場の構造と変容』 柳澤 悠
玉井金五・松本淳編著『都市失業問題への挑戦——自治体・行政の先進的取り組み』 沼尾波子
社会政策学会会員研究業績一覧 社会政策学会
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所2003年度の歩み
月例研究会 戦前日本の生理休暇——自然、身体、資本主義 中山いづみ
所 報 2004年5・6月

【2004年11月号 No.552】

【特集】韓国自動車産業の構造改革（1）

韓国自動車産業の構造調整（上）——背景、経過、展望 尹辰浩／金元重訊
韓国自動車産業の構造調整をめぐる争点 金基元／金元重訊
論 文 韓国福祉国家性格論争——その限界と新たな出発点 金 成垣
東ドイツにおける日常生活世界——作業班の経済的・社会的意味 石井 聡
書評と紹介 （財）生協総合研究所編、栗本昭監修『ヨーロッパの生協の構造改革——生き残りをかけた挑戦』
杉本貴志
Brian K. Obach, *Labor and the Environmental Movement: The Quest for Common Ground* Rick
Fantasia and Kim Voss, *Hard Work: Remaking the American Labor Movement* 鈴木 玲
ロバート・N. プロクター著／宮崎尊訳『健康帝国ナチス』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 月例研究会 大原社会労働リンク集の現状と課題 手島繁一
 所 報 2004年7月

【2004年12月号 No.553】

【特集】韓国自動車産業の構造改革（2）

‘混合型’非フォード主義作業組織の形成と進化 周武鉉／金元重訖
 韓国自動車産業の構造調整（下）——背景，経過，展望 尹辰浩／金元重訖
 論 文 賃金形態論の途絶——小池和男「賃金の上がり方」論 遠藤公嗣
 書評と紹介 猿田正機著『福祉国家・スウェーデンの労使関係』 宮本太郎
 日本アナキズム運動人名事典編集委員会編『日本アナキズム運動人名事典』 梅田俊英
 中村圭介・岡田真理子著『教育行政と労使関係』 早川征一郎

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 月例研究会 農民運動指導者の戦中・戦後——三宅正一を事例として 横関 至
 所 報 2004年8月

【2005年1月号 No.554】

【特集】21世紀社会システムとNPOの可能性（1）

社会的経済の促進・世界の動向——初めての社会的経済の世界会議・モンブラン会議に出席して
 粕谷信次
 福祉NPO概念の検討と日本への応用——介護系NPOの全国調査から 安立清史
 論 文 大正期の工場看護婦——製糸経営による看護婦養成の事例から 榎 一江
 高齢者介護領域における外国人の非正規労働（lavoro non regolare）と「正規化」施策——近年の
 イタリアの事例から 宮崎理枝
 書評と紹介 ユテ・ベニング，アンパロ・セラノ・パスキュアル編／高木郁朗・麻生裕子訳『ジェンダー
 主流化と雇用戦略——ヨーロッパ諸国の事例』 高橋睦子
 柴山恵美子・中曾根佐織編著『EUの男女均等政策』 中野麻美
 法政大学大原社会問題研究所編，梅田俊英，高橋彦博，横関至著『協調会の研究』 西成田豊

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 所 報 2004年9月

【2005年2月号 No.555】

【特集】21世紀社会システムとNPOの可能性（2）

民間非営利セクターの全体像をどうとらえるか？——その骨子を三層の組織類型で把握する試み
 山岡義典
 論 文 A市高齢者事業団の損害賠償裁判と安全管理——問題点と今後の課題 小林謙一
 政策ネットワークと社会福祉改革——介護保険法と改正児童福祉法の比較立法過程研究
 稗田健志
 研究会報告 最近のドイツ金属産業における雇用保障と労働条件をめぐる労使対立 高橋友雄
 書評と紹介 塩沢美代子著『語りつぎたいこと——年少女子労働の現場から』 鹿野政直
 杉本貴代栄編著『フェミニスト福祉政策原論——社会福祉の新しい研究視角をもとめて』
 森川美絵
 曾良中清司，長谷川公一，町村敬志，樋口直人編著『社会運動という公共空間——理論と方法の
 フロントティア』 手島繁一

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 月例研究会 共同学習における中国の影響 劉 全勝
 所 報 2004年10月

【2005年3月号 No.556】

【特集】日本の自動車生産

- 「人のかんばん」とトヨタ生産方式の対応策 佐武弘章
戦後日本の自動車産業と臨時工——1950-60年代のトヨタ自工を中心に 伊達浩憲
自動車部品産業の国際展開 山崎克雄
論 文 寡占産業と競争産業における非正規労働者の増加要因——電力業・ガス業・水道業と卸売業・小売業・飲食店を対象に 豊田奈穂
書評と紹介 大畑裕嗣・成元哲・道場親信・樋口直人編『社会運動の社会学』 片桐新自
浜林正夫著『小林多喜二とその時代——極める眼』 梅田俊英
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』2004年度総目次
月例研究会 労働組合の組織力と制度の多様性 権 純元
所 報 2004年11月

【2005年4月号 No.557】

【第17回国際労働問題シンポジウム】グローバル経済化と国際労働移動——移民労働者のディーセント・ワーク

- 特集にあたって 早川征一郎
2004年6月のILO第92回総会について 堀内光子
ILOにおける討議をめぐって 森實久美子
労働者の立場から 須賀恭孝
使用者の立場から 阿部博司
ILOにおける移民労働者問題の討議と日本——『グローバル経済の中での移民労働者に対する公正な取り扱いに向けて』を読んで 森 廣正
特別報告 マノロ・アベラ
質疑応答
参考資料①グローバル経済における移民労働者の公正な取り扱いに関する結論（ILO駐日事務所訳）
②移民労働者のためのILO行動計画（ILO駐日事務所訳） ③連合「連合の外国人労働者問題に関する当面の考え方」（抜粋）（連合第14回中央執行委員会，2004年10月21日） ④-1日本経団連「外国人受け入れ問題に関する提言」の概要 ④-2日本経団連「外国人受け入れ問題に関する提言」（抜粋）（2004年4月20日）
研究回顧 「日常的な労働組合」の研究（上） 栗田 健
書評と紹介 吉田恵子・斎藤哲・東條由紀彦・岡山礼子著『女性と労働——雇用・技術・家庭の英独日比較史研究』 松浦京子
五十嵐仁著『この目で見てきた世界のレイバー・アーカイヴス——地球一周：労働組合と労働資料館を訪ねる旅』 戸塚秀夫
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 日本における民主主義の現在——平和・民主主義・人権をめぐる対抗の現段階 五十嵐仁
所 報 2004年12月

【2005年5月号 No.558】

- 講 演 21世紀の東アジア労働力移動に関する多国間対応枠組み マノロ・アベラ／田村優子・川井孝子訳
特別寄稿 中央大学と横山源之助（上） 立花雄一
研究回顧 「日常的な労働組合」の研究（下） 栗田 健
資料紹介 田沼裁判資料——解題と目録 松尾純子
書評と紹介 中村圭介・前浦穂高著『行政サービスの決定と自治体労使関係』 松尾孝一
ロバート・O. バクストン著／渡辺和行・剣持久木訳『ヴィシー時代のフランス——対独協力と国民革命1940-1944』 佐伯哲朗
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2005年1月

【2005年6月号 No.559】

【特集】戦前期大原社会問題研究所の国際交流

大原社会問題研究所『日本マルクス主義文献』（未刊行）の意義——戦前期大原社研の国際交流と
内藤起夫の文献目録への取り組み 久保誠二郎

高野岩三郎とD. リャザーノフとの往復書簡（1928年～1930年） 大村 泉

特別寄稿 中央大学と横山源之助（下） 立花雄一

論文 農民運動指導者三宅正一の戦中・戦後（上） 横関 至

書評と紹介 G. エスピン-アンデルセン, マリーノ・レジニ編／伍賀一道・北明美・白井邦彦・澤田幹・
川口章訳『労働市場の規制緩和を検証する——欧州8カ国の現状と課題』 下平好博
安野正明著『戦後ドイツ社会民主党史研究序説——組織改革とゴードスベルク綱領への道』
平島健司

渡部記安著『21世紀の公私年金政策——米国とスウェーデンの最新動向』 武内砂由美

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 地方社会運動史研究の現状——愛知県自治体史を中心に 梅田俊英

所 報 2005年2月

【2005年7月号 No.560】

【特集】英国の福祉改革の動向と到達点（1）

英国の福祉改革の概観—「Welfare to work」を中心として 大山 博

英国の所得保障改革（上） 榊原 毅

英国の医療福祉サービスの動向と官民関係（上） 伊藤善典

論文 農民運動指導者三宅正一の戦中・戦後（下） 横関 至

書評と紹介 丸谷肇著『日本の雇用政策——その展開と特質』 永山利和

兼田麗子著『福祉実践にかけた先駆者たち——留岡幸助と大原孫三郎』 室田保夫

朴昌明著『韓国の企業社会と労使関係——労使関係におけるデュアリズムの深化』 五十嵐仁

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 1920-30年代における労働運動資料（絹業部門）を大原社会問題研究所とウォーリック大学に
求めて 永瀬順弘

所 報 2005年3月

【2005年8月号 No.561】

講演 労働調査からみた若者の仕事と暮らし 白石利政

【特集】英国の福祉改革の動向と到達点（2）

EU・英国における社会的包摂とソーシャルエコノミー 中島恵理

英国の所得保障改革（下） 榊原 毅

英国の医療福祉サービスの動向と官民関係（下） 伊藤善典

書評と紹介 木本喜美子著『女性労働とマネジメント』 首藤若菜

伊藤セツ・天野寛子・天野晴子・水野谷武志編著『生活時間と生活福祉』 橋本美由紀

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 韓国金属産業における産業別組合の現状 相田利雄

所 報 2005年4月

【2005年9・10月号 No.562・563】

【特集】社会運動的労働運動論の概念と現状

社会運動的労働運動とは何か—先行研究に基づいた概念と形成条件の検討 鈴木 玲

日本における社会運動的労働運動としてのコミュニティ・ユニオン——共益と公益のあいだ
福井祐介

アメリカの社会運動ユニオニズム——ロサンゼルスでの新しい労働運動に見る 高須裕彦

論文 韓国における経済危機と社会保障制度の成立 鄭 在哲

書評と紹介 渡辺雅男著『階級！社会認識の概念装置』 馬場宏二
平地一郎著『労働過程の構造分析——鉄鋼業の管理・労働・賃金』 鈴木和雄
久米郁男著『労働政治——戦後政治のなかの労働組合』 五十嵐仁
善積京子編『スウェーデンの家族とパートナー関係』 中村広伸

社会政策学会会員研究業績一覧(2004年) 社会政策学会

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

法政大学大原社会問題研究所2004年度の歩み

月例研究会 無償労働の貨幣評価の経過と現状—英国国家統計局の試算を中心に 橋本美由紀

所 報 2005年5・6月

【2005年11月号 No.564】

【特集】社会運動的労働運動論の歴史と現状(1)

“企業別組合を中心とした民衆組合”とは(上)——社会運動的労働組合としての高野総評に関する文献研究 篠田 徹

韓国の社会運動的労働運動の過去と現在(上) 権蕙洵/鈴木玲訳

論 文 国民健康保険制度形成過程における医療利用組合運動の歴史的位置——岐阜県小鷹利村を事例として 高嶋裕子

研究ノート 内職・家内労働研究の課題と分析視角——在宅ワーク研究の進展のために 高野 剛

書評と紹介 ジェレミー・ワディントン、レイナー・ホフマン編/小川正浩訳『ヨーロッパの労働組合——グローバル化と構造変化のなかで』 松村文人

西成田豊著『経営と労働の明治維新——横須賀製鉄所・造船所を中心に』 高村直助

梶田孝道・丹野清人・樋口直人著『顔の見えない定住化——日系ブラジル人と国家・市場・移民ネットワーク』 佐藤 忍

村串仁三郎著『国立公園成立史の研究——開発と自然保護の確執を中心に』 小祝慶紀

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2005年7月

【2005年12月号 No.565】

【特集】社会運動的労働運動論の歴史と現状(2)

社会運動的労働運動と生協労働運動の交叉 手島繁一

“企業別組合を中心とした民衆組合”とは(下)——社会運動的労働組合としての高野総評に関する文献研究 篠田 徹

韓国の社会運動的労働運動の過去と現在(下) 権蕙洵/鈴木玲訳

研究回顧 『資本論』から鉱夫の歴史・レジャー・国立公園の自然保護史の研究へ(上) 村串仁三郎

書評と紹介 矢野久著『ナチス・ドイツの外国人——強制労働の社会史』 原田一美

外村大著『在日朝鮮人社会の歴史学的研究——形成・構造・変容』 小林知子

(財)日本ILO協会編集・発行『欧米の社会労働事情——欧米人の仕事と暮らし』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 連合と全労連の組織拡大政策とその達成度 早川征一郎

所 報 2005年8月

【2006年1月号 No.566】

【特集】感情労働論(1)——スキルとしての感情管理

欲望喚起装置としての感情労働——感情労働の「再発見」に向けて 崎山治男

感情管理とサービス労働の統制 鈴木和雄

論 文 片山潜, 在露日本人共産主義者と初期コミンテルン 山内昭人

研究回顧 『資本論』から鉱夫の歴史・レジャー・国立公園の自然保護史の研究へ(下) 村串仁三郎

書評と紹介 木村保茂・永田萬享著『転換期の人材育成システム』 平沼 高

マジェラー・キルキー著/渡辺千壽子監訳『雇用労働とケアのはざままで——20カ国母子ひとり親

政策の国際比較』 高橋睦子

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2005年9月

【2006年2月号 No.567】

【特集】感情労働論(2)——スキルとしての感情管理

感情労働とその評価 西川真規子

看護職における感情労働 三井さよ

論 文 福祉の生産アプローチを用いた居宅介護サービスの費用・効果分析 塚原康博
電機産業における派遣・請負労働者の活用と課題——人的資源構造の変化と能力開発型人材管理の課題 木村琢磨

読書ノート 米田佐代子著『平塚らいてう——近代日本のデモクラシーとジェンダー』の批判的検討
松尾純子

書評と紹介 法政大学大原社会問題研究所編『証言占領期の左翼メディア』 山本武利
松村高夫著『イギリス鉄道争議と裁判——タフ・ヴェイル判決の労働史』 小笠原浩一

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2005年10月

【2006年3月号 No.568】

論 文 産業革命期日本における重工業大経営労働者の「都市下層民」的性格について(上) 西成田豊
徴用制度下の労資関係問題 佐々木啓

企業別組合におけるパート組合員と意思決定過程への関与——正規組合員との比較から 金井 郁

研究回顧 修業時代の実態調査(上)——共同印刷職場調査(1954～55年)[1] 山本 潔

書評と紹介 大塚昌克著『体制崩壊の政治経済学——東ドイツ1989年』 山田 徹

遠藤公嗣著『賃金の決め方——賃金形態と労働研究』 小越洋之助

宮田加久子著『きずなをつなぐメディア——ネット時代の社会関係資本』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』2005年度総目次

月例研究会 米田佐代子著『平塚らいてう』の批判的検討 松尾純子

所 報 2005年11月

【2006年4月号 No.569】

【第18回国際労働問題シンポジウム】若者：雇用の促進とディーセント・ワークへの道

特集にあたって 早川征一郎

2005年のILO第93回総会について 堀内光子

ILOにおける審議をめぐって 田中 歩

労働者の立場から 湯本健一

使用者の立場から 平田 充

ILO『レポート』と日本 上西充子

質疑応答

参考資料 若年雇用に関する決議(2005年第93回ILO総会採択,ジュネーブ)(仮訳:ILO駐日事務所)

論 文 産業革命期日本における重工業大経営労働者の「都市下層民」的性格について(下) 西成田豊

研究回顧 修業時代の実態調査(中)——共同印刷職場調査(1954～55年)[2] 山本 潔

書評と紹介 ロイドン・ハリスン著/大前真訳『ウェブ夫妻の生涯と時代——1858～1905年:生誕から協同事業の形成まで』 都築忠七

森廣正著『ドイツで働いた日本人炭鉱労働者——歴史と現実』 市原 博

水野谷武志著『雇用労働者の労働時間と生活時間——国際比較統計とジェンダーの視角から』

三富紀敬

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 「活憲」論研究序説 五十嵐仁
所 報 2005年12月

【2006年5月号 No.570】

【特集】韓国労働市場と雇用問題

韓国における労働市場の変化と経済危機——長期的観点からの分析（1963～2005年） 宣 在源
韓国製造業の企業規模別雇用創出と消失 権恵子／佐藤静香訳
論 文 欧米諸国における障害給付改革——障害年金を中心に 百瀬 優
研究回顧 修業時代の実態調査（下）——三井美唄炭鉱見学記（1958年） 山本 潔
書評と紹介 崎山治男著『「心の時代」と自己——感情社会学の視座』 岡原正幸
濱谷正晴著『原爆体験——六七四四人・死と生の証言』 谷 富夫
森ます美著『日本の性差別賃金——同一価値労働同一賃金原則の可能性』 黒田兼一
Bruce E. Kaufman ed., *Theoretical Perspectives on Work and the Employment Relationship* [仕事
と雇用関係の理論的視座] 鈴木 玲

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2006年1月

【2006年6月号 No.571】

【特集】韓国における賃金構造と貧困問題

韓国の賃金構造 黄秀慶／友岡有希訳
韓国の貧困問題 柳貞順／佐藤静香訳
論 文 1952年夏の全自日産分会のプレミアム闘争——全自の賃金原則とのかかわりで 吉田 誠
研究回顧 わたしの研究生生活を語る 塩田庄兵衛
書評と紹介 堀江孝司著『現代政治と女性政策』 浅野富美枝
佐々木英一著『ドイツ・デュアルシステムの新展開——日本版デュアルシステムへの示唆』
大重光太郎
エリック・ホブズボーム著／河合秀和訳『わが20世紀・面白い時代』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 地方自治体における先進の高齢者福祉の達成と挫折——秋田県鷹巣町の事例 山本補將

OISR.ORGの窓 [5] 『「社会・労働運動大年表」データベース」開設 野村一夫

所 報 2006年2月

【2006年7月号 No.572】

【特集】韓国の労働運動と労使関係

韓国の女性労働と労働運動——非正規職化を中心に 張芝延／横田伸子訳
経済危機以降の韓国労使関係 朴 昌明
論 文 家族ヘルパー派遣の決定要因——全村調査より 菊池いづみ
研究ノート 「共同学習」における中国の影響 劉全勝
書評と紹介 金東椿著／水野邦彦訳『近代のかけ——現代韓国社会論』 文京洙
刊行委員会編監『山本正美治安維持法裁判陳述集——続／山本正美裁判関係記録・論文集』
伊藤 晃
中村圭介・連合総合生活開発研究所編『衰退か再生か：労働組合活性化への道』 白井邦彦
国際労働研究センター編著『社会運動ユニオンイズム——アメリカの新しい労働運動』
熊沢 誠

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 トヨタ生産システムは構想と実行の「再結合」か？——労働者の「熟練」化の批判的検討をつう
じて 永田 瞬

OISR.ORGの窓 [6] 「高野岩三郎・D. リャザーノフとの往復書簡（1928～1930年）」を公開 早川征一郎

所 報 2006年3月

【2006年8月号 No.573】

- 講演 韓国における産別労組建設運動：成果と課題 林榮一／金元重詠
論文 韓国の労働時間短縮過程と今後の課題 尹辰浩／佐藤静香詠
総合デカセギ業の誕生——日系旅行社の変容とブラジル日系コミュニティの資本蓄積 丹野清人
児童相談所の組織構成の成立過程——三部制の導入をめぐる 岩永公成
書評と紹介 名古屋行著『ウェット夫妻の生涯と思想——イギリス社会民主主義の源流』 大前 眞
山田昭次・古庄正・樋口雄一著『朝鮮人戦時労働動員』 飛田雄一
中筋直哉著『群衆の居場所——都市騒乱の歴史社会学』 梅田俊英
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 IT化の進展と「仕事機会」の関係——「プロジェクト的な働き方」についての一考察 江頭説子
OISR.ORGの窓 [7] 「研究所所蔵資料を展示・公開している施設」のこと 若杉隆志
所 報 2006年4月

【2006年9・10月号 No.574・575】

【国際シンポジウム】日本とロシア——戦争の100年，平和の150年

- 特集にあたって 相田利雄
ロシアから見えるアジア極東と日ロ戦争 タチヤーナ・フィリモノヴァ／坂本博詠
日ロ戦争と風刺に見る〈力の政治〉の考察 ソク・ファジョン
日本における日ロ非戦論 梅田俊英
ロシア思想に現れた日本 坂本 博
日ロ関係の転機としての日ロ戦争 コンスタンチン・サルキソフ
諸報告へのコメント (1) 和田春樹
諸報告へのコメント (2) ユ・ヒョジョン
質疑応答
書評と紹介 松丸和夫監修・労働運動総合研究所編『グローバル化のなかの中小企業問題』 小宮昌平
川合隆男著『近代日本における社会調査の軌跡』 濱谷正晴
森岡孝二著『働きすぎの時代』 永田 瞬
川手撰著『戦後日本の公務員制度史——《キャリア》システムの成立と展開』 早川征一郎
社会政策学会会員研究業績一覧 (2005年) 社会政策学会
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所2005年度の歩み
月例研究会 フランスの移民事情 佐伯哲朗
所 報 2006年5・6月

【2006年11月号 No.576】

【特集】韓国における非正規労働者と労使関係

- 日韓労使関係の比較——非正規労働者を中心にして 呉 学殊
韓国金属産業における労使関係——企業別組合から産業別組合へ転換 相田利雄
研究回顧 社会政策論と労使関係の比較研究 (上) 徳永重良
読書ノート 錯綜する「護憲」運動論——五十嵐仁著『活憲』を読んで 高橋彦博
書評と紹介 中澤秀雄著『住民投票運動とローカルレジーム——新潟県巻町と根源的民主主義の細道，1994-2004』 矢澤修次郎
三富紀敬著『欧米のケアワーカー——福祉国家の忘れられた人々』 垣内国光
中野育男著『米国統治下沖縄の社会と法』 高藤 昭
川崎兼孝・久米雅章・松永明敏，鹿児島県歴史教育者協議会始良・伊佐地区サークル著『鹿児島近代社会運動史』 横関 至
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 地域労働運動の可能性——国際比較の観点から 鈴木 玲
所 報 2006年7月

【2006年12月号 No.577】

- 論文 EU憲法における「連合の目標」としての社会的市場経済 石井 聡
雑誌『第三帝国』の普通選挙請願運動に関する一考察 福家崇洋
- 特別寄稿 大日本産業報国会資料の表と裏 桜林 誠
- 研究回顧 社会政策論と労使関係の比較研究（下） 徳永重良
- 書評と紹介 小杉礼子・堀有喜衣 [編]『キャリア教育と就業支援——フリーター・ニート対策の国際比較』
上西充子
鈴木玲・早川征一郎編著『労働組合の組織拡大戦略』 三浦まり
小西豊治著『憲法「押しつけ」論の幻』 五十嵐仁
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2006年8月

【2007年1月号 No.578】

- 論文 2005年連邦議会選挙とドイツ政党政治の変容——理論モデルの再検討を通じた思想史的分析と
展望 小野 一
- 特別寄稿 日本戦没学生思想（上）——『新版・きけわだつみのこえ』の致命的欠陥について 岡田裕之
- 資料紹介 造船業の「労働時間」（1957年）——電溶職場（本工・社外工）の『着到表』 山本 潔
- 書評と紹介 白波瀬佐和子編『変化する社会の不平等——少子高齢化にひそむ格差』 海野道郎
小越洋之助著『終身雇用と年功賃金の転換』 片岡洋子
吉田豊明著『伝説の地方紙「石見タイムズ」——山陰の小都市浜田のもうひとつの戦後史』
吉田健二
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2006年9月

【2007年2月号 No.579】

- 論文 黎明期労働運動と近代文学——横山源之助と岸上克巳 立花雄一
- 研究ノート 協調会イメージの再構成——書評『協調会の研究』7点を承けて 高橋彦博
- 特別寄稿 日本戦没学生思想（下）——『新版・きけわだつみのこえ』の致命的欠陥について 岡田裕之
- 史料紹介 日本共産党第三回（「五色温泉」）大会決定の宣言、規約 解題：犬丸義一
- 書評と紹介 小川晃一著『サッチャー主義』 梅川正美
村上安正著『足尾銅山史』 二村一夫
村串仁三郎著『大正昭和期の鉱夫同職組合「友子」制度——続・日本の伝統的労資関係』
土井徹平
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 近代日本における社会運動と高知県 梅田俊英
所 報 2006年10月

【2007年3月号 No.580】

【特集】国際的循環型社会形成の可能性

- 国際的循環型社会形成の可能性 松波淳也
台湾におけるリサイクルの現状と課題 南部和香
パソコンリサイクルシステムの国際比較——台湾を事例として 赤石秀之
日本と台湾の電力市場における規制緩和と環境問題への取り組み 大平佳男
- 学会報告 労働政治の構造変化と労働組合の対応——政治的側面からみた労使関係の変容 五十嵐仁
- 資料紹介 造船業の「工数」管理（1957年）——撓鉄・電溶職場の予定工数・実際工数 山本 潔
- 書評と紹介 山口道宏編著『男性ヘルパーという仕事——高齢・在宅・介護を支える』 西尾孝司
河村貞枝・今井けい編『イギリス近現代女性史研究入門』 佐伯哲朗
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』2006年度総目次

OISR.ORGの窓 [8] 戦前期写真約千点をデータベースで公開 若杉隆志
所 報 2006年11月

[2007年4月号 No.581]

【第19回国際労働問題シンポジウム】雇用関係と労働者保護

特集にあたって 早川征一郎

2006年のILO第95回総会について 長谷川真一

ILOにおける審議をめぐって 安達 栄

労働者の立場から 二片すす

使用者の立場から 津守恵子

ILO総会『レポート』と日本 永野秀雄

質疑応答

参考資料①雇用関係に関する勧告（第198号）（2006年6月15日採択） ②雇用関係に関する決議（2006年6月15日採択） ③雇用関係に関する決議（2003年6月18日採択）

講 演 近代日本における社会運動と高知県 梅田俊英

国際交流 プレハーフ生誕150年国際会議 坂本博・相田利雄

書評と紹介 菅沼隆著『被占領期社会福祉分析』 村上貴美子

伊藤善典著『ブレア政権の医療福祉改革——市場機能の活用と社会的排除への取り組み』

尾形裕也

森健著『グーグル・アマゾン化する社会』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 非正規雇用の拡大とその問題点——労働基準の切り下げに関する一考察 永田 瞬

所 報 2006年12月

[2007年5月号 No.582]

論 文 在留特別許可の法社会学——日本で暮らす外国人の法的基礎 丹野清人

女性事務職のキャリア形成と「女性活用」——ジェンダー間職務分離の歴史的形成・変容過程の考察 駒川智子

研究回顧 一社会政策研究者の中間回顧（上） 相澤與一

書評と紹介 松島静雄監修／石川晃弘・川喜多喬・田所豊策編著『東京に働く人々——労働現場調査20年の成果から』 上林千恵子

本間義人著『地域再生の条件』 橋本美由紀

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2007年1月

[2007年6月号 No.583]

【特集】日本における循環型社会形成の可能性

日本の廃棄物問題と関連法制度について 赤石秀之

循環型社会の実現へ向けた自治体の取り組み——荒川区の取り組み紹介 小祝慶紀

日本の電力市場に関するサーベイ——電力自由化と環境政策の現状と課題 大平佳男

研究回顧 一社会政策研究者の中間回顧（下） 相澤與一

書評と紹介 牧民雄著『ミスター労働運動——城常太郎の生涯』 永原 丞

室住真麻子著『日本の貧困——家計とジェンダーからの考察』 塚原康博

河西宏祐／ロス・マオア著『労働社会学入門』 江頭説子

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 新しい大人のための公共哲学・試論——連帯の技法・社会関係資本・commons 野村一夫

所 報 2007年2月

[2007年7月号 No.584]

【特集】 オーストラリアの労働運動と労働党

- 労働運動と新しい社会運動——オーストラリアの事例 ヴェリテイ・バーグマン／鈴木玲記
規制緩和という名の規制強化——豪州「仕事選択法」の検討から 長峰登記夫
オーストラリア労働党の過去、現在、未来 杉田弘也
- 講演 地方労働組合評議会（Central Labor Council）と労働者階級の力 イマニエル・ネス／鈴木玲記
書評と紹介 粕谷信次著『社会的企業が拓く市民的公共性の新次元——持続可能な経済・社会システムへの
「もう一つの構造改革」』 富沢賢治
李尚波著『女子大学生の就職意識と行動』 森永康子
秋山清著『秋山清著作集』全12巻 梅田俊英
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 社会調査とオーラル・ヒストリー 江頭説子
所報 2007年3月

【2007年8月号 No.585】

【特集】 社会科学研究所とオーラル・ヒストリー

- 歴史研究とオーラルヒストリー 伊藤 隆
社会学とオーラル・ヒストリー——ライフ・ヒストリーとオーラル・ヒストリーの関係を中心に
江頭説子
大原社会問題研究所のオーラル・ヒストリー 吉田健二
- 論文 自動車産業における請負労働と分業構造 戸室健作
書評と紹介 浅海典子著『女性事務職のキャリア拡大と職場組織』 大槻奈巳
武石恵美子著『雇用システムと女性のキャリア』 富田安信
山本真理著『戦後労働組合と女性の平和運動——「平和国家」創生を目指して』 松尾純子
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 『日本労働運動資料集成』の編纂を終えて 早川征一郎
所報 2007年4月

【2007年9・10月号 No.586・587】

【特集】『日本労働運動資料集成』完結記念号

- 『日本労働運動資料集成』の編纂を終えて 早川征一郎
- 講演 ジャーナリストから見た日本の労働組合運動の現状と課題 中野隆宣
論文 イギリスにおける地域保健サービスの形成——NHS成立の一側面 白瀬由美香
偽装請負のもとで働く若年労働者の労働過程——自動車部品メーカーアイズミテック社の事例を
もとに 伊藤大一
- 書評と紹介 豊田真穂著『占領下の女性労働改革——保護と平等をめぐる』 天野正子
佐藤彰男著『テレワークの社会学的研究』 堀真由美
Ruth Milkman著*L. A. STORY: Immigrant Workers and the Future of the U.S. Labor Movement*
鈴木 玲
- 書評への応答 西尾孝司氏書評への反論 高木博史
- 社会政策学会会員研究業績一覧（2006年1月～12月刊行分） 社会政策学会
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所2006年度の歩み
- 月例研究会 杉山元治郎の公職追放——「農民運動の父」杉山元治郎の戦中・戦後 横関 至
所報 2007年5・6月

【2007年11月号 No.588】

【特集】 社会科学研究所とオーラル・ヒストリー（2）

- 労働調査（聴取り調査）とライフ・ヒストリー 山本 潔
女性史研究とオーラル・ヒストリー 倉敷伸子

論 文	ブルーカラーの職能資格等級の決定に関する考察——ステンレス鋼メーカーの事例分析 田中真樹
調査報告	在日コリアン企業家の経営活動とネットワークの展望 林 永彦
読書ノート	栃本一三郎・連合総合生活開発研究所編『積極的な最低生活保障の確立——国際比較と展望』 小越洋之助
書評と紹介	社会政策学会編『働きすぎ——労働・生活時間の社会政策』 森岡孝二 太郎丸博編『フリーターとニートの社会学』 上西充子 中野麻美著『労働ダンピング——雇用の多様化の果てに』 永田 瞬
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会	「労働ビッグ・バン」路線と労働法制の抜本的見直し政策——第166通常国会の政治過程を振り返って 芹沢寿良
所 報	2007年7月

【2007年12月号 No.589】

【特集】社会科学者とオーラル・ヒストリー (3)

	オーラル・ヒストリーの実践と同時代史研究への挑戦——吉沢南の仕事を手がかりに 大門正克 労働研究とオーラルヒストリー 梅崎 修 韓国の労働史研究とオーラル・ヒストリー 李鍾久
論 文	杉山元治郎の公職追放——「農民の父」杉山元治郎の戦中・戦後(上) 横関 至
書評と紹介	川喜多喬編／小池和男監修『女性の人材開発』 脇坂 明 チャン・ピルファ他著／西村裕美編訳『韓国フェミニズムの潮流』 山下英愛 辻勝次編著『キャリアの社会学——職業能力と職業経歴からのアプローチ』 江頭説子
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
国労「野村基金」解消に伴う大原社研への寄付金贈呈式に出席して	相田利雄
月例研究会	日本の障害者雇用政策について——特に重度障害者雇用制度を中心に 山田雅穂
所 報	2007年8月

【2008年1月号 No.590】

論 文	処遇のあり方をめぐる労働者意識——1960年代の八幡製鉄を事例として 杉山 裕 労働を見る社会の視線——日韓新聞社説研究 金正勲 杉山元治郎の公職追放——「農民の父」杉山元治郎の戦中・戦後(下) 横関 至
調査報告	認知症高齢者グループホームの介護成果と雇用管理(上)——株式会社型と医療法人型の比較 小林謙一
書評と紹介	上村千賀子著『女性解放をめぐる占領政策』 橋本紀子 乙部由子著『中高年女性のライフサイクルとパートタイム——スーパーで働く女たち』 本田一成 熊沢誠著『格差社会ニッポンで働くということ——雇用と労働のゆくえをみつめて』 五十嵐仁
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会	電力産業における環境問題への経済学的アプローチ 大平佳男
所 報	2007年9月

【2008年2月号 No.591】

【特集】2007年アジア研究学会—シンクタンクからアーカイブへ——日本研究の研究資源および研究対象としての
大原社会問題研究所

特集にあたって	鈴木 玲
司会者の挨拶	アンドルー・ゴードン
大原社会問題研究所と労働科学の誕生	中山いづみ
大原社研アーカイブと社会史研究	クリストファー・ガータイス
コメント	二村一夫

- 論文** 戦前期都市社会調査における調査活動と社会事業行政職員——京都市社会課調査を事例に
杉本弘幸
農村－都市間の労働力流動と中国の都市部における賃金格差（上）——都市部における労働力市場の分断化に関する実証分析 馬 欣欣
- 調査報告** 認知症高齢者グループホームの介護成果と雇用管理（下）——株式会社型と医療法人型の比較
小林謙一
- 書評と紹介** 井上雅雄著『文化と闘争——東宝争議1946-1948』 岡田秀則
塚本一郎・柳澤敏勝・山岸秀雄編著『イギリス非営利セクターの挑戦——NPO・政府の戦略パートナーシップ』 中川雄一郎
尾西康充著『近代解放運動史研究——梅川文男とプロレタリア文学』 横関 至
- 史料紹介** 『産業福利』第1巻の「発見」とその意義 梅田俊英
- 社会・労働関係文献月録** 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会** 政策形成過程の変容と労働の規制緩和 五十嵐仁
- 所 報** 2007年10月

【2008年3月号 No.592】

- 論文** 要介護高齢者と障害者領域の現金給付制度——イタリアにおける介添手当制度の事例から
宮崎理枝
生活クラブ生協北海道における社会運動の成果と連帯のゆくえ——動員構造と運動文化の観点から 西城戸誠
日本共産党「22年綱領草案」問題再考 黒川伊織
農村－都市間の労働力流動と中国の都市部における賃金格差（下）——都市部における労働力市場の分断化に関する実証分析 馬 欣欣
- 書評と紹介** 藤本茂著『米国雇用平等法の理念と法理』 山内久史
佐藤幸夫・堀司郎編著『魂の道標へ——池田勇作と郁の軌跡』 吉田健二
- 社会・労働関係文献月録** 法政大学大原社会問題研究所
- 『大原社会問題研究所雑誌』2007年度総目次**
- 月例研究会** 無償労働の評価方法をめぐる研究の経過 橋本美由紀
- 所 報** 2007年11月

【2008年4月号 No.593】

【第20回国際労働問題シンポジウム】持続可能な企業の振興——企業の社会的責任／企業の人材育成と活用

- 特集にあたって 鈴木 玲
2007年のILO第96回総会について 長谷川真一
講演：持続可能な企業の振興をめざして マイケル・エンリケス／鈴木玲訳・ILO駐日事務所監訳
政府の立場から 武田康祐
労働者の立場から 成川秀明
使用者の立場から 高澤滝夫
ILO『レポート』と日本 谷本寛治
質疑応答
参考資料 ILO駐日事務所訳「持続可能な企業の振興に関する決議（Resolution concerning the Promotion of Suitable Enterprises）」
- 証言：日本の社会運動** 日本ジャーナリスト連盟の結成と新聞単一（上）——増山太助氏に聞く 吉田健二
- 書評と紹介** 吉田誠著『査定規制と労使関係の変容——全自の賃金闘争と日産分会の闘い』 遠藤公嗣
楊慶敏・三輪宗弘著『中国のエネルギー構造と課題——石炭に依存する経済成長』 大平佳男
- 社会・労働関係文献月録** 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会** 地域労働運動の日米比較 鈴木 玲
- 所 報** 2007年12月

【2008年5月号 No.594】

【特集】「ワーク・ライフ・バランス」論と家族政策の現状

- 福祉国家と家族政策の「主流」化——「ワーク・ライフ・バランス」の論理とジェンダー平等
原 伸子
アメリカにおける養育費政策の現状とその作用 下夷美幸
ワーク・ライフ・バランスの基本原則——育児と雇用の両立をめぐるスウェーデン法の発展を素材として 両角道代

- 証言：日本の社会運動 日本ジャーナリスト連盟の結成と新聞単一（中）——増山太助氏に聞く 吉田健二
読書ノート 金谷信子著『福祉のパブリック・プライベート・パートナーシップ』を読んで 粕谷信次
書評と紹介 五十嵐仁編『「戦後革新勢力」の源流——占領前期政治・社会運動史論1945～1948』 広川禎秀
脇田滋著『労働法を考える——この国で人間を取り戻すために』 芹沢寿良
松為信雄・菊池恵美子編著『職業リハビリテーション学 [改訂第2版] ——キャリア発達と社会参加に向けた就労支援体系』 山田雅穂

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2008年1月

【2008年6月号 No.595】

【特集】ポスト体制移行期におけるコーポラティズムの可能性

- 特集にあたって 上谷直克
戦略的行動としての「社会的協調」——現代スペインにおける労働政治の変容とその意味
横田正顕
大きな取引と小さな取引——韓国と台湾における新たなコーポラティズム 上村泰裕
国家コーポラティズム（論）の呪縛？——「民主化」後のラテンアメリカにおける政・労・使関係の軌跡 上谷直克
EU-8の社会協議システム——政党政治の視点からの分析 仙石 学

- 書評と紹介 平沼高・佐々木英一・田中萬年編著『熟練工養成の国際比較——先進工業国における現代の徒弟制度』 木下 順
中澤正夫著『ヒバクシャの心の傷を追って』 野田正彰
美馬達哉著『〈病〉のスペクタクル—生権力の政治学』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 鈴木茂三郎文庫整理の現状——目録作成に向けての作業報告 松尾純子
所 報 2008年2月

【2008年7月号 No.596】

- 論 文 労働運動の夜明に——労働者状態論争と横山源之助 立花雄一
史料紹介 在米片山潜が発行した『平民』について——総目次と発見された第13号 田村貞雄
論 文 韓国における大卒ホワイトカラーのキャリア管理と早期退職——財閥系列企業S化学の事例
佐藤静香

- 証言：日本の社会運動 日本ジャーナリスト連盟の結成と新聞単一（下）——増山太助氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 樋口直人・稲葉奈々子・丹野清人・福田友子・岡井宏文著『国境を越える——滞日ムスリム移民の社会学』 小島 宏
石井知章著『中国社会主義国家と労働組合——中国型協商体制の形成過程』 丸川知雄
黒川みどり編著『〈眼差される者〉の近代——部落民・都市下層・ハンセン病・エスニシティ』
與那覇潤

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 新憲法制定期の『夕刊京都』——同志社アカデミアの政論紙 吉田健二
所 報 2008年3月

【2008年8月号 No.597】

- 論文 公的職業紹介におけるマッチング効率の収斂性分析——就職率と充足率に注目して 周 燕飛
非正社員の活用が企業内訓練に与える影響——企業・就業者双方の視点から 安田宏樹
知的障害者の職務遂行能力の向上における企業内援助者の役割 青木律子
年次有給休暇に関する法知識の所在と機能 高橋康二
- 書評と紹介 レジーム分析は否定されたか？ 武川正吾著『連帯と承認——グローバル化と個人化のなかの福祉国家』に寄せて 新川敏光
秋山智久著『社会福祉専門職の研究』 福山和女
木村和世著『路地裏の社会史——大阪毎日新聞記者 村嶋歸之の軌跡』 梅田俊英
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 産業福利協会と協調会産業福利部の活動について 梅田俊英
所 報 2008年4月

【2008年9月号 No.598】

【特集】協調会『産業福利』復刻記念号

- 協調会史における「産業福利部」の位置 高橋彦博
協調会産業福利部と『産業福利』について 梅田俊英
『産業福利』第1巻について——誰が誰に何を書いたか 堀口良一
蒲生俊文の「神国」観と戦時安全運動 横関 至
- 書評と紹介 永野秀雄著『電磁波訴訟の判例と理論——米国の現状と日本の展望』 小幡雅男
上西充子編著『大学のキャリア支援——実践事例と省察』 梅本 裕
飯吉弘子著『戦後日本産業界の大学教育要求——経済団体の教育言説と現代の教養論』
江頭説子
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 非正規労働と労働条件保護 永田 瞬
所 報 2008年5月

【2008年10・11月号 No.599・600】

【特集】非正規労働に関する政策提言

- 全員参加の社会に向けて——ジェンダー平等・公正な処遇の実現のために 堀内光子
人権問題になった非正規労働とその撤廃に向けて 脇田 滋
労働の商取引化に対応した法見直しを——労働者派遣法改正を問う 中野麻美
<非正規>問題と社会変革——19世紀的状况における労働組合の役割 龍井葉二
外国人研修生・実習生制度の抜本改善を 小田川義和
- 講 演 会社共同体のゆくえ 稲上毅
- 書評と紹介 上田眞士著『現代イギリス労使関係の変容と展開——個別管理の発展と労働組合』 小笠原浩一
石塚史樹著『現代ドイツ企業の管理層職員の形成と変容』 久本憲夫
朴貞蘭著『韓国社会事業史——成立と展開』 沈 潔
Bill Fletcher, Jr., Fernando Gapsin, *Solidarity Divided: The Crisis in Organized Labor and A New Path Toward Social Justice* 鈴木 玲
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 社会学の領域・再論——社会学テキストをめぐって 野村一夫
所 報 2008年6・7月
600号記念特別附録 『資料室報』～『大原社会問題研究所雑誌』総目次